

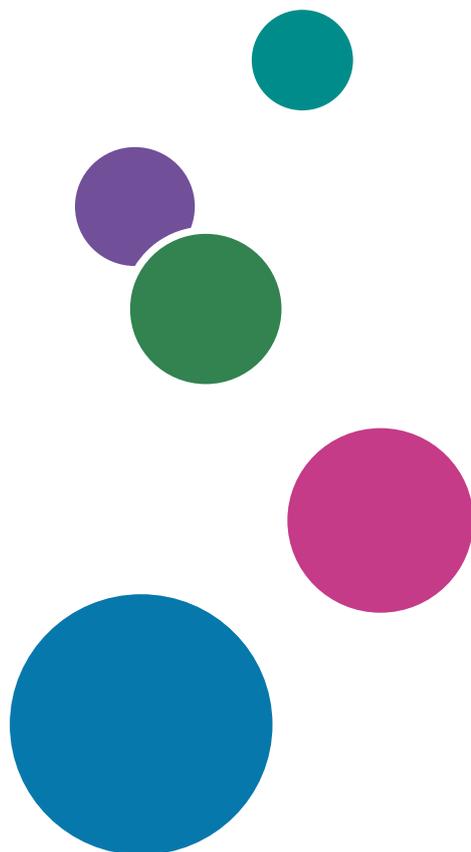


プランニングガイド

Version 4.14.1

InfoPrint Manager for Windowsの導入	1
前提条件を確認する	2
構成を計画する	3
ホストシステムで印刷を計画する	4
AFP リソースを使用する	5
プリンターの共有を計画する	6
InfoPrint Managerを移行する	7
必要な情報を収集する	8
ソフトウェアコンポーネントを確認する	9

本書に記載されていない情報については、製品のヘルプ・システムを参照してください。



目次

はじめに.....	4
重要.....	4
本書に関する注意事項.....	4
使用説明書とヘルプの紹介.....	4
使用説明書とヘルプの読み方.....	5
略語.....	6
商標.....	8
1 InfoPrint Manager for Windowsの導入	
InfoPrint Manager電子ソフトウェア配布	11
プリントリソースの最適化.....	13
InfoPrint Manager サーバーの詳細	14
基本的な印刷フロー.....	15
論理宛先.....	16
キュー.....	16
実宛先.....	17
ホストレシーバー.....	17
文書およびジョブ.....	17
補助シート.....	18
メディア.....	18
リソースコンテキスト.....	18
変換.....	18
InfoPrint Manager環境のサイジング	19
サーバー構成オプションの詳細.....	20
標準サーバー環境.....	21
InfoPrint Managerインターフェース	21
異なるプラットフォームでInfoPrint Manager を比較する	23
共通機能の詳細.....	23
InfoPrint Manager for AIX機能の詳細.....	25
InfoPrint Manager for Linux機能の詳細.....	25
InfoPrint Manager for Windows機能の詳細.....	25
対応プリンター	26
PCLプリンター	26
PostScriptプリンター	26
PPDSプリンター	26
IPDSプリンター	26
DFEプリンター	29

サポートされているデータストリーム.....	29
------------------------	----

2 前提条件を確認する

ハードウェア前提条件を確認する.....	31
印刷負荷が小さい場合のWindowsハードウェア要件.....	31
印刷負荷が大きい場合のWindowsハードウェア要件.....	31
印刷負荷が大きい場合に性能を高めるためのWindowsハードウェア要件.....	31
クライアントハードウェア前提条件.....	32
ソフトウェア前提条件を確認する.....	32
サーバーソフトウェア前提条件.....	32
インターネットプロトコルの前提条件.....	33
AFP Download Plus前提条件.....	33
クライアントソフトウェア前提条件.....	33
サポートされている仮想化システム.....	35
高可用性.....	35

3 構成を計画する

宛先構成モデルの詳細.....	37
デフォルトモデル.....	37
プールモデル.....	38
デスクトップモデル.....	39
ファネルモデル.....	39
砂時計モデル.....	40
推奨分散構成モデル.....	40
クラウドの考慮事項.....	41

4 ホストシステムで印刷を計画する

DPFとDownload for z/OSの比較.....	43
DPFホストレシーバーの制限.....	45
印刷業者のシナリオ.....	45
ブラックボックスショップ.....	46
LANとホストから印刷する：オプション1.....	46
LANとホストから印刷する：オプション2.....	46
後で印刷するジョブをスプールする.....	46
リモートスプールによる分散印刷ショップ.....	47
Download for z/OSでリソースを管理する.....	47
DPFでリソースを管理する.....	48

5 AFP リソースを使用する

6 プリンターの共有を計画する

プリンター共有のための方法.....	53
IPDSプリンターとの通信リンクを共有する.....	54
PostScript、PCL、PPDSプリンターと通信リンクを共有する.....	54
同じ印刷キューにジョブを送信する.....	55
ホストとLANアプリケーションの間でプリンターを共有.....	55
既存のホストアプリケーションから印刷する.....	55
既存のLANアプリケーションから印刷する.....	56

7 InfoPrint Managerを移行する

InfoPrint Manager for Windowsバージョン4.14に移行する場合の考慮事項.....	61
---	----

8 必要な情報を収集する

インストール中に選択する構成オプション.....	63
ソフトウェアに同梱の納品書.....	63
LAN接続を計画する.....	63
プリンターネットワーク接続を計画する.....	65
プリンターを計画する.....	65
ホストレシーバーを計画する.....	65

9 ソフトウェアコンポーネントを確認する

InfoPrint Manager for AIX/Linux/Windowsで使用されるポート

アクセシビリティ

用語集

はじめに

重要

適用される法律で認められる最大限の範囲において、本製品の故障、文書やデータの損失、本製品および付属の使用説明書の使用または不使用に起因するいかなる損害に対しても、メーカーは責任を負いません。

必ず、重要な文書やデータは、常にコピーするか、バックアップを作成してください。お客様の操作ミスや本ソフトウェアの不具合により、文書やデータが消去される場合があります。また、コンピューターウイルス、ワーム、その他の有害なソフトウェアに対する保護対策は、お客様の責任において講じてください。

本製品を使用してお客様が作成した文書や、お客様が実行したデータの結果については、いかなる場合もメーカーは責任を負いません。

本書に関する注意事項

- 本書に掲載されているイラストや説明は、製品の改良や変更により、お客様の製品のものと異なる場合があります。
- 本書の内容は、予告なく変更されることがあります。
- 本書のいかなる部分も、供給者の事前の同意なしに、いかなる形式においても複製、複製、複製、修正、または引用することはできません。
- 本書では、ディレクトリーパスの参照は、デフォルトパスのみが示されています。RICOH InfoPrint Manager™やその一部のコンポーネントを別のドライブなど別の場所にインストールした場合、それに応じてパスを調整する必要があります。
たとえば、Windows®オペレーティングシステムを実行しているコンピューターのD:ドライブにInfoPrint Managerをインストールする場合は、ディレクトリーパスのC:をD:に置き換えてください。

使用説明書とヘルプの紹介

本書には、AIX、Linux、Windows用RICOH InfoPrint Manager™バージョン4.14（プログラム番号5648-F40）に関する情報が記載されています。

本書には、InfoPrint Managerの概要と製品に関するインストールと構成の情報が記載されています。

使用説明書

以下の取扱説明書があります。

InfoPrint Managerについては、以下の文書を参照してください。

- 「RICOH InfoPrint Manager for Windows：プランニングガイド」、G550-1071
- 「RICOH InfoPrint Manager for Windows：スタートガイド」、G550-1072
- 「RICOH InfoPrint Manager for Windows：操作ガイド」、G550-1073
- 「RICOH InfoPrint Manager for Linux：プランニングガイド」、G550-20262
- 「RICOH InfoPrint Manager for Linux：スタートガイド」、G550-20263

-
- 「RICOH InfoPrint Manager for Linux：操作ガイド」、G550-20264
 - 「RICOH InfoPrint Manager for AIX and Linux：構成および調整ガイド」、S550-1062
 - 「RICOH InfoPrint Manager for AIX：プランニングガイド」、G550-1060
 - 「RICOH InfoPrint Manager for AIX：スタートガイド」、G550-1061
 - 「RICOH InfoPrint Manager for AIX：操作ガイド」、G550-1066
 - 「RICOH InfoPrint Manager：高可用性ガイドライン」、G550-20261
 - 「RICOH InfoPrint Manager：Reference」、S550-1052
 - 「RICOH InfoPrint Manager：PSF、サーバー、および変換メッセージ」、G550-1053
 - 「RICOH InfoPrint Manager：安全な印刷：インストールおよび構成する」、G550-20129
 - 「RICOH InfoPrint Manager：SAPプランニングおよび構成ガイド」、S550-1051
 - 「RICOH InfoPrint Manager：キーワードの辞書」、S550-1188
 - 「AFP Conversion and Indexing Facility：ユーザーズガイド」、G550-1342
 - 「Page Printer Formatting Aid for Windows：ユーザーズガイドおよびリファレンス」、S550-0801
 - 「RICOH InfoPrint Manager AFP2PDF Transform機能：インストールと使用方法」、G550-1057
 - 「RICOH InfoPrint Manager：InfoPrint Manager Transform機能をインストールする」、G550-20160

ヘルプ

多くの画面でプロパティヘルプが用意されており、特定の作業や設定に関する情報を提供しています。

また、[ヘルプ]メニューでは、ユーザーインターフェースから直接HTMLバージョンの取扱説明書にアクセスすることができます。

↓ 補足

- PDF文書をご覧いただくには、Adobe® Acrobat® Reader®などのPDFリーダーがインストールされている必要があります。

RICOHの印刷製品については、以下を参照してください。

<https://www.ricoh-usa.com/en/products/commercial-industrial-printing>のRICOH 商業および工業用印刷Webサイト。

<https://help.ricohsoftware.com/swinfocenter>のRICOHソフトウェア情報センター。

使用説明書とヘルプの読み方

使用説明書を表示する

この手順で使用説明書を表示することができます。

PDF形式の使用説明書を表示する

- InfoPrint Managerでは、製品に同梱されるDVD-ROMの中にPDF形式で資料が提供されています。

HTML形式で使用説明書を表示する

- 使用説明書のHTMLバージョンは、ユーザーインターフェースから直接入手できます。アプリケーションを起動して、バナーの右にある  ボタンをクリックして、[ヘルプ] を選択します。

プロパティヘルプを表示する

操作画面上のプロパティの横にある  ボタンをクリックすると、その項目のプロパティヘルプが表示されます。

マークについて

本説明書では、内容を素早く確認するために、以下のような記号を使用しています。

重要

- この記号は、製品を使用する際に注意すべき点を示しています。この説明を必ずお読みください。

補足

- この記号は、タスクを完了するために必須ではないが役立つ補足情報を示します。

太字

[太字] は、ダイアログ、メニュー、メニュー項目、設定、フィールドラベル、ボタン、キーの名称を表します。

斜体

斜体は、各自の情報に置き換える必要があるマニュアルや変数のタイトルを表します。

モノスペース

モノスペース体は、コンピューターの入出力を示します。

略語

ACIF

AFP Conversion and Indexing Facility (AFP変換およびインデックス作成機能)

AFP

Advanced Function Presentation (高機能プレゼンテーション)

AIX®

Advanced Interface Executive (拡張対話式エグゼクティブ)

ANSI®

American National Standards Institute (米国国家規格協会)

ASCII

American National Standard Code for Information Exchange (情報交換用米国標準コード)

BCOCA

Bar Code Object Content Architecture (バーコードオブジェクトコンテンツアーキテクチャー)

CCSID

Coded Character Set Identifier (コード化文字セット ID)

CMR

Color Management Resource (カラー管理リソース)

EBCDIC

Extended Binary Coded Decimal Interchange Code (拡張二進化十進コード)

FOCA

Font Object Content Architecture (フォントオブジェクトコンテンツアーキテクチャー)

GIF

Graphics Interchange Format (グラフィック交換形式)

GOCA

Graphics Object Content Architecture (グラフィックスオブジェクトコンテンツアーキテクチャー)

IOCA

Image Object Content Architecture (イメージオブジェクトコンテンツアーキテクチャー)

IP

Internet Protocol (インターネットプロトコル)

IPDS

Intelligent Printer Data Stream (インテリジェントプリンターデータストリーム)

JCL

Job Control Language (ジョブ制御言語)

JES

Job Entry Subsystem (ジョブ入力サブシステム)

JPEG

Joint Photographic Experts Group (ジョイントフォトグラフィックエクスパートグループ)

MO:DCA

Mixed Object Document Content Architecture (混合オブジェクトドキュメントコンテンツアーキテクチャー)

MO:DCA-P

Mixed Object Document Content Architecture for Presentation (プレゼンテーション用混合オブジェクトドキュメントコンテンツアーキテクチャー)

MVS™

Multiple Virtual Storage (多重仮想記憶)

PCL

Printer Command Language (プリンターコマンド言語)

PDF

Portable Document Format (ポータブル文書形式)

PTOCA

Presentation Text Object Content Architecture (プレゼンテーションテキストオブジェクトコンテンツアーキテクチャー)

RAT

Resource Access Table (リソースアクセステーブル)

TIFF

Tagged Image File Format (タグ付き画像ファイル形式)

XML

Extensible Markup Language (拡張可能なマークアップ言語)

商標

RICOH InfoPrint Manager™およびRICOH ProcessDirector™は、Ricoh Company, Ltd.の米国およびその他の国における商標です。

以下は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- AFP Font Collection for S/390®
- AIX®
- IBM®
- MVS™
- OS/390®
- POWER®
- PowerHA®
- PowerVM®
- S/390®
- Semeru Runtime®

-
- Tivoli®
 - z/OS®

Adobe®, Adobe® Illustrator®, Adobe® PDF, Adobe® PDF Print Engine, Adobe® RGB (1998), Acrobat® Reader®, PostScript®は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

AlmaLinux OS™は、AlmaLinux OS Foundationの商標です。

ANSI®および "ANSI "を含むその他多数の識別子は、米国国家規格協会 (ANSI) の登録商標、サービスマーク、および認定マークです。

Apache®およびTomcat®は、Apache Software Foundationの米国およびその他の国における登録商標です。

Artifex®およびGhostscript® は、Artifex Software, Inc.の登録商標です。

Citrix®およびCitrix Virtual Apps and Desktops™は、Cloud Software Group, Inc.および/またはその子会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

CUPS™およびTrueType®は、Apple, Inc.の米国または他の国における商標または登録商標です。

Docker®は、Docker, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

eDirectory®, NetIQ®, およびNovell®は、Micro Focus International plcおよび/またはそのグループ会社または関連会社の英国、米国、およびその他の国における登録商標または商標です。

Epson®は、セイコーエプソン株式会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Fiery®は、Fiery, LLCの米国およびその他の特定の国における登録商標です。

GNOME®およびGTK®は、GNOME Foundationの登録商標です。

HP®は、HP Inc.の登録商標です。

Intel®は、Intel Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Kodak®は、Eastman Kodak Companyの登録商標です。

Lexmark®は、Lexmark International, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

Linux®は、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標です。

OpenSSL®は、OpenSSL Software Foundationが所有する登録商標です。

Oracle®, Java®, およびOpenJDK®は、Oracleおよび/またはその関連会社の登録商標です。

Microsoft®, Microsoft Edge®, Windows®, Windows Server®, Active Directory®, Hyper-V®, OpenType®, Visual C++®, Visual Studio®は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。

Mozilla®およびFirefox®は、Mozilla Foundationの米国およびその他の国における登録商標です。

Okta®は、Okta, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat®、RHEL®、Red Hat Enterprise Linux® は、Red Hat, Inc. またはその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Rocky® Linux®は、Rocky Enterprise Software Foundationの米国およびその他の国における登録商標です。

Samba®は、Software Freedom Conservancy, Inc.の登録商標です。

SAP®、SAP S/4HANA®、SAP® R/3®、SAP® NetWeaver®、ABAP®は、ドイツおよびその他の国におけるSAP SEまたはその関連会社の登録商標です。

SUSE®、openSUSE®、SUSE Linux Enterprise Server®は、SUSE LLCまたはその子会社もしくは関連会社の登録商標です。

Sentinel®は、Thales DIS CPL USA, Inc.の登録商標です。

Unicode®は、Unicode, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

UNIX®は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

VMware®は、VMware, Inc.の米国およびその他の地域における登録商標です。

Xerox®は、Xerox Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本書に使用されているその他の製品名は、識別を目的としたものであり、各社の商標である可能性があります。当社は、それらの商標に対する一切の権利を放棄します。

1. InfoPrint Manager for Windowsの導入

- InfoPrint Manager電子ソフトウェア配布
- プリントリソースの最適化
- InfoPrint Manager サーバーの詳細
- サーバー構成オプションの詳細
- InfoPrint Managerインターフェース
- 異なるプラットフォームでInfoPrint Manager を比較する
- 対応プリンター
- サポートされているデータストリーム

InfoPrint Manager for Windowsは、柔軟で拡張が容易な印刷管理ソリューションであり、印刷環境を拡張し管理する方法について多くの選択肢を提供します。印刷環境には、単純に同じ場所に高速装置が2、3台置かれている場合や、企業全体に分散されたプリンターを何百台もサポートしている場合があります。どちらの場合でも、InfoPrint Manager は印刷リソースを最大限に利用するのに役立ちます。

↓ 補足

RICOH InfoPrint Manager™ for WindowsおよびRICOH ProcessDirector™を同じサーバーにインストールすることはできません。

InfoPrint Manager電子ソフトウェア配布

InfoPrint Managerは、製品のエンタイトルメントと配布フローを容易し、かつ購入前に製品を試すことができ、不正使用を防止することを目的としたソリューション、Electronic Software Distribution (ESD) を実装しました。電子ソフトウェア配信には、提供の迅速化のほか、InfoPrint Managerライセンスの管理や制御の向上など、さまざまな利点があります。本製品は、体験版と登録版の2つの方法のいずれかで実行できます。

InfoPrint Managerの体験版の入手は、これまで以上に簡単になりました。対応プラットフォーム (AIX、Linux、Windows) 用のインストールキットをダウンロードするには、https://dl.ricohsoftware.com/trial_requestにアクセスしてください。60日間お試しくださいですが、それ以降は機能が停止します。InfoPrint Managerの体験版から登録版への移行はいつでも可能です。評価期間が終了した後でも、製品を再インストールせずに移行できます。

InfoPrint Managerは、同じインストールキットから複数のコンピューターで体験版モードでインストールすることができます。試用期間が終了すると、同じコンピューターに体験版モードでInfoPrint Managerをインストールすることはできません。

InfoPrint Manager ベースサーバーと以下の機能を評価することができます。

- InfoPrint Manager AFP2PDF機能
- InfoPrint Manager プル印刷機能
- InfoPrint Manager SAP 印刷機能
- InfoPrint Transform Manager機能

評価版ライセンスの詳細については、<https://global.ricohsoftware.com/products/ricoh-infoprint-manager/>をご覧ください。

InfoPrint Manager製品を登録することを決定した場合、基本サーバーに固有の有効なライセンスキーと、オプションとして利用可能な別売の機能を購入する必要があります。基本

サーバーと選択したオプション機能に対して、サブスクリプションライセンスまたは無期限ライセンスのいずれかを購入することができます。

登録ライセンスキーは次の複数の種類があります。

サブスクリプション

サブスクリプションライセンスでは、使用期間が定められています。

永久

無期限ライセンスは、使用期間に制限がなく、保守ライセンスの有効期限が切れても、Infoprint Managerソフトウェアが継続して動作することを保証するものです。

保守

保守ライセンスは、購入したライセンスに応じて、1年、2年、3年、4年、または5年で期限切れになります。

↓ 補足

InfoPrint Managerは、実行中に機能メンテナンスキーを確認しません。

コールドバックアップ

コールドバックアップライセンスは、本番ライセンスのバックアップ目的で、使用期間の制限なく利用できる特別な無期限ライセンスです。このライセンスの詳細については、リコー営業担当者にお問い合わせください。

★ 重要

無期限ライセンスキー、保守ライセンスキー、コールドバックアップライセンスキーは、InfoPrint Managerを実行するサーバーの認証文字列（ハードウェア署名）を使用して生成されます。つまり、無期限ライセンスキー、保守ライセンスキー、コールドバックアップライセンスキーは、その目的とは異なるサーバーで使用することはできません。また、ハードウェアコンポーネントやサーバーのホスト名を変更すると認証文字列が変更され、その結果、ライセンスが無効となり、InfoPrint Managerが7日間猶予モードで実行されることとなります。猶予期間内に新しいライセンスキーを受け取るには、各地域の担当者に問い合わせる必要があります。そうしないと、猶予期間が終了したときに、InfoPrint Managerソフトウェアがシステムで実行されなくなります。

エンタープライズ

エンタープライズライセンスでは、サーバーの認証文字列に関係なく、同じ無期限、メンテナンス、コールドバックアップライセンスキーを使用して、別のコンピューターへの複数のインストールを行うことができます。エンタープライズライセンスの対象であるかどうかを確認するには、リコーのセールス担当者に連絡してください。

サブスクリプションライセンスの購入後、RICOH Account Administrationインターフェイスを使用して、RICOH Cloud Connectorを設定し、ライセンスのインストールとInfoPrint Managerソフトウェアの登録を行う必要があります。RICOH Cloud Connectorは、製品とともに自動的にインストールされます。RICOH Account Administrationの詳細およびRICOH Cloud Connectorを設定する方法については、[https://help.ricohsoftware.com/swinfocenter/ricoh-account-administration/en-us/raa_AccountAdminstration_project.ditamap/\\$/raa_HelpTitle](https://help.ricohsoftware.com/swinfocenter/ricoh-account-administration/en-us/raa_AccountAdminstration_project.ditamap/$/raa_HelpTitle)をご覧ください。**サブスクリプションライセンス**のインストールとInfoPrint Managerソフトウェアの登録の詳細については、*RICOH InfoPrint Manager for Windows*：基本操作の「サブスクリプションライセンスを管理する」セクションを参照してください。

無期限、保守、またはコールドバックアップライセンスを購入すると、注文したときに入力したメールアドレスに「EMS - エンタイトルメント証書」という件名でリコーからEメールが送信されます。このEメールには、エンタイトルメントID (EID) が記載されています。InfoPrint Managerを実行するコンピューターのEIDと認証文字列を使用して、セルフサービスWebサイトの<https://dl.ricohsoftware.com>で、製品登録に必要なライセンスキーを生成します。EIDは、購入した製品を識別する目的でのみ使用されます。コンピューターの認証文字列を取得するには、製品のDVD-ROMまたはISOに収録されている`getfingerprint.exe`をダブルクリックすると、システム認証文字列が表示されます。

まだインストールしていない場合、製品を登録するには、InfoPrint Managerソフトウェアのインストールプロセスで、製品を登録するための選択肢「この製品を購入したので、登録します」を選択します。セルフサービスWebサイトからダウンロードしたライセンスキーファイルのパスを指定して、手動で登録することができます。

既存の体験版インストールから製品を登録するには、基本サーバーで利用できるライセンスキー管理アプリケーション (LKMA) を起動し、製品を登録するための選択肢「この製品を購入したので、登録します」を選択します。セルフサービスWebサイトからダウンロードしたライセンスキーファイルのパスを指定して、手動で登録することができます。

ライセンスキー管理アプリケーションの詳細、またはLKMAを使用してInfoPrint Managerソフトウェアを登録する方法については、*RICOH InfoPrint Manager for Windows* : 基本操作を参照してください。

InfoPrint Manager基本サーバーおよび以下の機能は、電子ソフトウェア配布ライセンスキーを使用して購入することができます。

- InfoPrint Manager AFP2PDF機能
- InfoPrint Manager日本語PostScriptフォント機能
- InfoPrint Manager PPFA 機能
- InfoPrint Manager プル印刷機能
- InfoPrint Manager SAP 印刷機能
- InfoPrint Managerワークグループプリンター機能
- InfoPrint Manager低速プリンター機能
- InfoPrint Manager中速プリンター機能
- InfoPrint Manager高速プリンター機能
- InfoPrint Manager超高速プリンター機能
- InfoPrint Manager InfoPrint 4247 機能
- InfoPrint Transform Manager機能

機能の使い方を理解するために、P.67 「ソフトウェアコンポーネントをレビューする」を参照してください。

プリントリソースの最適化

印刷リソースとは、印刷ジョブを生成するアプリケーション、プリンター機器、およびジョブの処理と印刷を制御するInfoPrint Managerオブジェクトのことです。デフォルトのInfoPrint Manager構成には、1つのInfoPrint Managerサーバー、キュー、論理宛先、および

実宛先（物理プリンター）が含まれています。InfoPrint Managerオブジェクトを追加する前に、InfoPrint Managerがどのように役立つかを考えてみてください。

- プリンター機器を管理し、印刷負荷を分散
多くの印刷環境では、プリンター機器に多大な投資をしており、印刷の作業量もかなり大きくなっています。InfoPrint Managerは、プリンターのハードウェアをすべて一元管理する機能を提供します。共通の要件を持つジョブが、その種類のジョブをサポートする特定のプリンターまたはプリンター群にルーティングするように設定できます。これにより、一部のプリンターがアイドル状態である一方、他のプリンターには印刷待ちのジョブが滞留しているような状況を軽減することができます。それぞれのプリンターを最適に使用することで、利用可能なすべてのプリンターに印刷要求を分散させることができます。
- Windowsシステムの使用状況の分散：
印刷作業の負荷を分散させることで、印刷をサポートするWindowsシステムの使用も最適化できます。これらのシステムは、ジョブの許可、スケジュール、処理、および制御するプリンターの管理に、相当量のリソースを使用することができます。システム使用量には、処理時間、メモリー、固定ディスク容量が含まれています。複数のWindowsまたはAIXシステム上で動作する複数のInfoPrint Managerサーバーを使用すれば、組織内の印刷需要を分散し、より効率的に出力を印刷できます。
- 印刷ジョブの制御：
InfoPrint Managerは、印刷ジョブのデフォルトを柔軟に指定することができます。特定の出力機器や特定の種類のジョブに対して、異なるジョブデフォルトを使用したい場合があります。システムを構成するときに、いつ、どのようにデフォルトを使用する予定なのか、また、最も効果的に使用する方法は何かを検討する必要があります。デフォルトの効果的な使用は、他の構成上の決定に影響を与えることができます。
- 重要なイベントが発生したときに確認する：
InfoPrint Managerは、ジョブ送信者、オペレーター、管理者に注意を要する状況を知覚するイベント通知をサポートしています。たとえば、InfoPrint Managerは、キューにジョブが滞留しているときや、オペレーターが操作するプリンターが用紙切れになったときに、オペレーターに通知することができます。InfoPrint Managerが要求された宛先でジョブをスケジュールできない場合、ジョブ送信者は通知を受け取ることができません。通知には、担当者の診断と、問題の原因の切り分けに役立つイベントメッセージが含まれます。InfoPrint Managerを設定するときに、必要な通知の種類を選択することで、重要なイベントが発生したときに適切な人にアラートが送られるようにします。最も一般的な通知形態は、ジョブが正常に完了したことです。たとえば、給与明細の印刷が終了したら、給与計算部門の担当者に印刷完了を通知することができます。

P. 14 「InfoPrint Manager サーバーの詳細」セクションでは、さまざまなInfoPrint Managerオブジェクトと、それぞれの基本的な構成の考慮事項について説明します。

InfoPrint Manager サーバーの詳細

InfoPrint Managerサーバーは、Windows 上のサービスとして動作します。サーバーは、クライアントアプリケーション（印刷機能をサポートするInfoPrint Select およびWindowsアプリケーションを含む）から送信されたジョブを管理します。InfoPrint Managerサーバーには、実行依頼されたジョブの処理の制御に使用される「オブジェクト」がいくつかあります。オブジェクトには、キュー、論理宛先、実宛先、およびジョブや文書の特性に関するデフォルト値が含まれます。サーバー管理者は、これらのソフトウェアオブジェクトを

作成、削除、および変更して、InfoPrint Manager環境の管理とパフォーマンスを最適化します。

InfoPrint Managerサーバーは、補助シート、メディア、resource-contextオブジェクト、変換オブジェクトを含むこともできます。補助シートを使ってジョブを区切ったり、ジョブの識別情報を印刷したりすることができます。Resource-contextオブジェクトは、一部のジョブが必要とするフォントやオーバーレイなどのAFP (Advanced Function Presentation) リソースのディレクトリの場所を示します。

基本的な印刷フロー

InfoPrint Managerサーバーへの印刷ジョブの送信は、さまざまな方法で行うことができます。各種印刷送信方法については、P.43 「[ホストシステムで印刷を計画する](#)」およびP.53 「[プリンターの共有を計画する](#)」を参照してください。どの方法を使っても、ジョブがサーバーに到着するまでの経路は同じようなものになります。

最も一般的な構成では、InfoPrint論理宛先 (LD) にジョブを送信します。LDはジョブを印刷キューに転送し、印刷キューはジョブをInfoPrint実宛先に転送します。その後、ADがプリンターにジョブを送信します。P.15 「[図 1.のジョブ B を参照してください。図解については、InfoPrint Managerの印刷フロー](#)」を参照してください。この構成は、複数のプリンターがあり、プリンターで作業負荷を分散したい場合に、特に有効です。

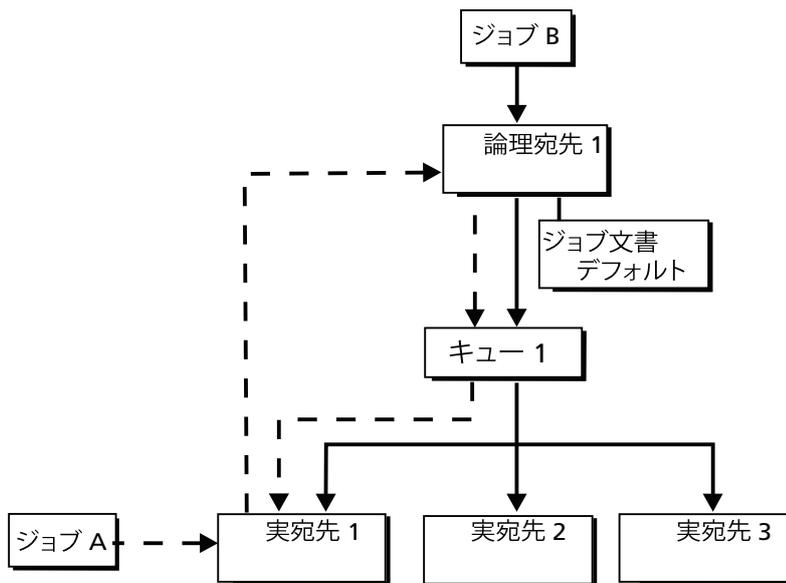
また、ADに直接ジョブを送信する構成も一般的です。その後、ADはジョブを関連付けられたLDに転送します。LDはジョブを印刷キューに送り、印刷キューはジョブを開始したADに送り返します。その後、ADはジョブをプリンターに送信します。P.15 「[図 1.のジョブ A を参照してください。図解については、InfoPrint Managerの印刷フロー](#)」を参照してください。この構成は、特定のプリンターに確実にジョブを送信する必要がある場合に、特に有効です。

↓ 補足

1. ADに直接ジョブを送信する場合、ADとそれに関連付けるLDは同じサーバーに存在する必要があります。
2. ホストシステムから分散印刷ファシリティ (DPF) を使って印刷する場合は、ADに直接送信する必要があります。

InfoPrint Manager印刷フロー。

ジョブBは論理宛先に直接送信され、ジョブAは実宛先に送信されます



これらのセクションでは、異なる種類のInfoPrintオブジェクトと、プロセスの各ステップで印刷ジョブに何が起こるかについて、詳しく説明します。

論理宛先

論理宛先とは、ジョブを送信できるInfoPrint Managerシステムのオブジェクトのことです。InfoPrint Managerの初期環境には、デフォルトの論理宛先が1つあります。特定の種類のジョブや特定のジョブ送信者グループをサポートするために、別の論理宛先を追加することができます。追加の論理宛先を作成する場合、論理宛先の名前を指定し、特定のキューに関連付けます。論理宛先とキューは、同じInfoPrint Manager サーバーに存在する必要があります。

論理宛先のデフォルトジョブと文書属性を指定すると、その論理宛先に送信されるすべてのジョブに、特定のデフォルト値が自動的に割り当てられます。これにより、ジョブ送信者の時間を節約し、リソースの不足が原因でジョブが失敗することがないようにすることができます。必要であれば、送信時に明示的に属性を設定することで、送信者はデフォルト値を上書きできます。

プリンタープーリング（またはクラスタリング）は、InfoPrint Managerの強力な機能です。プーリングにより、ジョブは一つの論理宛先に送信され、その後、適切な物理デバイスにルーティングされます。この機能により、利用可能な印刷装置間で作業負荷を均等に分散させ、プリンターの利用率を最適化することができます。そのため、数台のプリンターのキューに大量のジョブが登録され、他のプリンターがアイドル状態になっているというボトルネックを防ぐことができます。つまり、プリンタープールを利用することで、出力を高速化できます。また、論理宛先によってプリンタープールが可能になります。

キュー

キューは論理宛先からジョブを受け取り、実宛先にジョブをルーティングします。キューは、ジョブを処理できる実宛先が利用可能になるまで、ジョブを保留にします。InfoPrint

Managerの初期環境には、デフォルトのキューが1つあります。キューと、ジョブが送信される宛先は同じサーバーでなくてもかまいません。宛先は、別のAIXまたはWindowsシステム上のInfoPrint Managerサーバーでもかまいません。

宛先

宛先は、プリンターなどの出力デバイスを表します。一般に、InfoPrint Managerで使用する物理的な出力機器ごとに、1つの宛先を作成します。1つの機器に複数の宛先を作成することも可能ですが、そのような構成は一般的ではありません。プリンターの出力解像度などの出力装置の拡張機能および機能を反映させるようにプリンターを構成します。またジョブのサイズや実行依頼時間などでジョブを処理する順序を制御するようにも宛先を構成してください。

宛先の作成時にすべての属性の値を指定しなかった場合、InfoPrint Managerではほとんどの属性にデフォルト値が指定されます。必要に応じて、後で修正することができます。

ホストレシーバー

ホストレシーバーは、InfoPrint Managerとホストシステムとの接続ポイントを提供します。ホストシステムは、ホストレシーバーと接続し、印刷ジョブをダウンロードします。

ホストレシーバーには2種類あります。DPFホストレシーバーとMVS Downloadレシーバーです。選択したホスト印刷方法に応じて、必要なタイプのホストレシーバーを作成します。両方のホストレシーバーは、MVSシステムから印刷ジョブを受信し、InfoPrint Managerに送信します。

↓ 補足

InfoPrint Managerでは、Download for z/OSという用語は、PSF for z/OSのDownload for z/OS機能とPSF for z/OSのAFP Download Plus for z/OS機能を指します。

ホスト印刷の詳細については、[P. 43 「ホストシステムで印刷を計画する」](#)を参照してください。

文書およびジョブ

ジョブとは、処理のためにInfoPrint Managerに送信される作業の単位です。ジョブは、1つのファイルまたは複数のファイルから構成されます。（1つのジョブで複数のファイルを実行依頼するには、**pdpr**コマンド、InfoPrint Submit Expressを使用する必要があります。）InfoPrint Manager用語では、ジョブ内の各ファイルとそれに付随する属性は文書と呼ばれます。（ジョブと文書の両方には、それぞれの要件を定義する属性が含まれません。）

ジョブ妥当性検査とは、ジョブの要件を処理可能な宛先があることを確認するプロセスのことです。ジョブ属性と文書属性の値は、そのジョブを印刷する宛先がサポートする必要がある要件（両面印刷やカードストックメディアなど）を決定します。

ジョブにはその要件の完全な説明を含めることができ、デフォルトを使用することでジョブ送信プロセスを合理化できます。詳しくは、P.16 「論理宛先」を参照してください。

補助シート

補助シートとは、ジョブ中にこれらのいずれか、またはすべてのポイントで印刷できる用紙のことです。

- 先頭
- 最後
- セクション間

補助シートには情報を印刷することも、白紙にすることもできます。InfoPrint Managerはデフォルトで5種類の補助シートを提供していますが、必要に応じて独自のシートをカスタマイズすることができます。また、*user-exit*プログラムを適用して、補助シートに印刷する情報を制御することができます。

メディア

メディアとは、実宛先が印刷するメディアの種類、すなわち紙、封筒、透明、多面付けのフォームを表します。メディアの寸法、色、目的、その他有用な情報を記述するために、メディアを設定することができます。

InfoPrint Manager は、**media-supported** などの実宛先属性の値として、メディアの名前を使用します。メディアを参照する実宛先属性は、構文の上限内であれば、任意の名前を使用することができます。

リソースコンテキスト

正しく設定されている場合、InfoPrint Managerは、印刷ジョブが必要とする AFP リソース（フォント、オーバーレイ、フォーム定義、ページ定義、ページセグメント）を自動的に検索します。リソースを一元的に利用可能な場所に保存し、InfoPrint Manager リソースコンテキストを使用して場所を特定することができます。リソースコンテキストを設定すると、ジョブが必要とするAFPリソースがInfoPrint Managerで自動的に検出され、処理に使用されます。

変換

変換はInfoPrintで作成して構成するInfoPrint Managerオブジェクト（キューや宛先など）です。変換は、ある特定のフォーマットでデータを受け取り、データを処理し、変更されたデータを出力します。変換を作成したときは、操作の対象であるデータのフォーマットおよび処理のタイプを完全に制御できます。変換で実行される処理には、ディスク上の別の場所にデータをコピーしたり、変換対象の入力データストリームをフィルターに掛けたり

(特定のPostScriptオーダーの削除など)、データを完全に異なるフォーマットに変換 (PCLからAFPへの変換など) するなどがあります。

また、変換が作成したファイルを印刷するかを指定できます。変換によって、印刷されるファイルが送信されない場合は (変換が処理を完了してファイルを別の場所に保管する場合など)、変換終了と呼ばれます。

InfoPrint Manager環境のサイジング

InfoPrint Managerサーバーの必要数は、多くの要因によって異なります。このセクションでは、サーバーの購入計画に影響を与える可能性のある、最も重要なパフォーマンス問題の概要のみを説明します。そもそも、各サーバーシステム (InfoPrint Manager) の特徴や構成は非常に重要です。印刷システムの性能に影響を与える重要なサーバー要因には、以下のようなものがあります。

- プロセッサ速度
- プロセッサ数
- 空きRAM容量
- 空きハードディスク領域
- ハードディスク速度
- ハードディスクドライブ数
- 空きディスクドライブ全体でのInfoPrint Managerデータセットのバランス
- ハードディスクドライバーのチューニング仕様
- ページングスペースの割り当て (ドライブの位置とサイズ)
- データパス数(シングルまたはデュアル)

InfoPrint Managerが実行する出力機器も重要です。

- プリンターなどの出力機器の速度と解像度
- 出力機器の同時動作台数
- 実際の出力先ごとの出力機器数

最後に、各InfoPrint Managerサーバーにどのように印刷ジョブを送信するかが重要です。

- ジョブを送信したクライアントシステムの数
- クライアントシステムからのジョブの送信頻度
- ネットワークデータ転送速度
- 印刷するジョブのサイズ (密度)
- 印刷するジョブの複雑さ
- 入力データストリームの数および種類
- 全体的なネットワークトラフィック

InfoPrint Manager 環境のサイジングは、複雑な作業です。印刷ニーズに十分対応できる AIX、Linux、Windows システムの規模を事前に正確に判断することは不可能な場合もあります。

↓ 補足

Windows システムでは、InfoPrint Manager サーバーを1つだけ実行することができます。

最小推奨ハードウェア要件（ハードウェア構成の詳細については、P.31 「**ハードウェア前提条件を確認する**」を参照）を満たす専用のInfoPrint Manager for Windows システムでは、単純なテキストデータで定格速度（1002 ページ/分）の InfoPrint 4000 ID3/ID4 プリンターを1台実行できます。これは非常に具体的なベンチマークです。サーバーに機器を接続するたびに、ネットワークの負荷とプロセッサの負荷が大きくなります。

お客様の印刷ニーズに対応するために十分な物理的印刷機器があるかどうかは、リコーの営業担当者が判断できます。基本的には、何ページ分が何時間で印刷される必要があるかという問題です。印刷出力量の見積もりと印刷機器の定格速度の組み合わせは、プリンター購入の指針となる情報です。

ただし、印刷機器を動かすために必要なサーバーの数を決めるには、実験と忍耐が必要です。リコー営業担当者と相談して、まずは妥当な数値を合意してください。サーバーとプリンターを1台ずつセットアップしていくことをお勧めします。（P.37 「**宛先構成モデルの詳細**」のような図を描きますが、これらの図は変更される可能性があります。）各プリンターをサーバーに追加した後に、ストレステストを行います。ピーク時に予想されるジョブの種類と数で、プリンターを定格速度で実行してみます。また、ジョブを処理している間に、サーバーシステムに必要な他のすべての活動を実行させます。要するに、ストレステストはできるだけ現実的な内容にしてください。サーバーシステムで問題なく負荷を処理できる場合は、プリンターの増設を検討します。プリンターの追加によりパフォーマンスが許容できないレベルまで低下した場合、このプリンターを実行するためにネットワークにサーバーを追加します。また、システムやネットワークのハードウェアのアップグレードも検討する必要があります。

最後に、印刷環境のパフォーマンスを定期的に監視し、実際の使用状況やビジネスニーズの変化に対するシステムの反応を確認することが重要です。InfoPrint Managerは、このような監視を簡単に行うための便利なツールを提供しています。標準的なアカウントティングログと監査ログを使用して、環境内のどの印刷機器でも処理されたジョブの統計データを収集することができます。また、これらのログ活動は、お客様のビジネスのニーズに合わせてカスタマイズすることも可能です。これらのログは、ワークロードバランスに関する貴重な情報が出力されます。また、これらのログは、課金方法を決定するため、または単にインストールでリソースがどのように使用されているかを確認するために使用することができます。

↓ 補足

InfoPrint Managerサーバーは、標準のアカウントティングログを提供します。また、PSF DSSを使用するプリンターでは、カスタマイズしたアカウントティングログと監査ログを取得することができます。

サーバー構成オプションの詳細

InfoPrint Manager for Windowsは、さまざまな環境の印刷管理を提供するため、InfoPrint サーバーに標準インストールと基本インストールの2種類のインストールを提供します。InfoPrint Managerを使用することを決めたら、次に標準サーバー環境と基本サーバーオブ

シヨンのどちらを使用するかを決める必要があります。これらのトピックでは、各サーバーの実行方法について説明しており、どのインストールが必要なかがわかります。

↓ 補足

これらの情報を読んでも、どのサーバー構成が最適かわからない場合は、InfoPrintの担当者に相談し、お客様のニーズに合った環境を構築してください。

標準サーバー環境

InfoPrint Manager Serverをインストールすると、標準の印刷環境が作成されます。この環境は一般的に、データセンターでの印刷や、多くの異なる種類のデータ（ASCII、行データ、GIF、JPEG、PCL、PDF、PostScript、XML、TIFFデータを含む）の分散印刷に適しています。多くの場合、標準環境での印刷ジョブは、請求書、給与明細、申請書などです。ユーザーは、コマンドライン、ワークステーションアプリケーション（ワープロなど）、またはInfoPrintクライアント（InfoPrint Selectなど）からこれらのジョブを送信します。

標準印刷環境では、InfoPrint Managerは遅延バインディングによってジョブをプリンターに割り当てます。遅延バインディングは、混雑したレストランで次の空席を待つようなもので、空席ができるまで特定のテーブルに「拘束」されるわけではありません。たとえば、禁煙席を6卓（文書の仕上げ機能や特定の用紙サイズ要求される印刷ジョブ）という特別な条件がある場合、接客係（InfoPrintサーバー上のスケジューラー）がこれらの条件を処理してくれます。

基本サーバーオプション

基本印刷環境は、一般にイメージデータ（通常PostScriptやTIFF形式）を大量印刷する商業印刷ショップに適しています。ユーザーは、WindowsクライアントのコンピューターからInfoPrint Submit Expressを使用して、これらのジョブを送信します。

基本印刷環境では、InfoPrint Managerは事前バインディングによってジョブをプリンターに割り当てます。事前バインディングは、スーパーマーケットでレジの順番を待つことに似ています。並ぶ列を決めると、何が起ころうとも、その列で待つ（自分自身をバインディングする）必要があります。レジ係がレジに関して問題を抱えていても（プリンターで発生した紙詰まり）、自分の前にいる人が値段の確認をいくつか頼んでも（サーバーに新しい用紙を追加する）、状況を変えるには、物理的に別の列に移動する（1つの印刷キューから別のキューにジョブを手動で移動する）しかありません。

↓ 補足

標準表示ではなく、GUIの基本表示を使用する場合は、「RICOH InfoPrint Manager for Windows：スタートガイドの「GUIの基本表示を使用する」を参照してください。」

InfoPrint Managerインターフェース

主なInfoPrint Managerインターフェースは、InfoPrint Manager アドミニストレーション GUI、InfoPrint Manager オペレーション GUI、InfoPrint Manager Web アドミニストレーションインターフェース、およびInfoPrint Manager Web管理インターフェースです。これらを総称してInfoPrint Manager GUIと呼びます。InfoPrint Manager 環境を管理するには、主にInfoPrint Manager アドミニストレーション GUI またはWeb アドミニスト

レーションインターフェースを使用します。InfoPrint Manager Web アドミニストレーションインターフェースには、InfoPrint Manager アドミニストレーション GUI で利用可能なすべての機能(管理および操作)が含まれています。このJavaベースのインターフェースを使うと、ほとんどのInfoPrint Manager のオブジェクトを作成、削除、変更することができます。プリンター作成ウィザードを使えば、InfoPrint Manager 実宛先を簡単に作成することができます。

InfoPrint Manager 環境の日々の運用を監視するには、InfoPrint Manager オペレーション GUI を使用します。このインターフェースには、InfoPrint Manager アドミニストレーション GUI で利用可能な機能のサブセットが含まれています。InfoPrint Manager オペレーション GUI では、印刷のためのジョブをリリースし、実宛先を無効にすることができます。ただし、InfoPrint Manager 環境の基本構成を変更することはできません。たとえば、論理宛先の削除や追加を行うことはできません。

InfoPrint Manager Web アドミニストレーションインターフェースは、InfoPrint アドミニストレーション GUI やオペレーション GUI と同じセキュリティー機能をサポートし、すべての既存のFSTセキュリティー設定がWeb アドミニストレーションインターフェースにも適用されます。ただし、InfoPrint Manager Web アドミニストレーションインターフェース Webアプリケーションでオブジェクトの表示に必要な読み取り操作は、特別なユーザーであるwsClientによって実行されます。このユーザーは、WebServicesグループのメンバーである必要があります。WebServicesグループには、InfoPrint Manager Web アドミニストレーションインターフェースが接続する各InfoPrint Manager InfoPrint Manager システムのリスト/照会(pdl)操作に対する読み取りアクセス権限が必要です。他の操作は、Webアプリケーションに接続する特定のuser@hostnameユーザーを使用して実行されます。FSTセキュリティーについては、*RICOH InfoPrint Manager for Windows : 操作ガイド*を参照してください。

InfoPrint Manager Web マネージメントインターフェースを使用すると、サーバーの管理タスクの一部を実行できます。InfoPrint Manager Web マネージメントインターフェースを使用すると、印刷環境を構成、管理できます。InfoPrint Manager Web マネージメントインターフェースは、LDAPセキュリティーの有効化、フェデレーション認証の構成、またはWebサーバー、Web アドミニストレーションインターフェース、プル印刷環境の管理など、さまざまなタスクをサポートします。

すべてのInfoPrint Manager GUIは、InfoPrint Manager サーバーがインストールされているWindowsシステムにインストールされています。さらに、これらはすべてリモートシステムにインストールすることができます。その結果、管理者やオペレーターは、InfoPrint ManagerがインストールされているWindowsシステムまで行かずに、InfoPrint Manager システムを管理することができます。

↓ 補足

インターフェース、サーバー、またはその両方に異なるレベルのものを混在させると、プリンター詳細で予期せぬ結果を引き起こす可能性があります。クライアントとサーバーはすべて同じレベルの名前空間に配置してください。

InfoPrint Manager Web アドミニストレーションインターフェースは、InfoPrint Manager サーバーがインストールされているWindowsシステムにインストールされます。InfoPrint Manager Web アドミニストレーションインターフェースは、他のコンピューターからブラウザでアクセスすることができます。

いくつかの管理作業に使用する3番目のインターフェイスはInfoPrint Manager マネージメントコンソールです。

★重要

ユーザーアカウント制御 (UAC) がオンになっている場合、管理者として実行オプションを使用したときのみ、InfoPrint Manager マネージメントコンソールを使用して次の作業を行うことができます。これを行うには、アプリケーションアイコンを右クリックし、**【管理者として実行】** を選択します。

これらの作業は以下の通りです。

- InfoPrint Manager サーバーを停止および再起動する
- テストジョブを実行依頼する
- DPFホストレシーバーを管理する
- MVS Downloadレシーバーを管理する
- DPFリソースデータベースのリソースを表示および削除する
- セキュリティーを管理する
- フェデレーション認証を管理する
- サーバー構成を管理する
- サーバーと宛先のログを表示する
- トレースを制御する
- プル印刷アプリケーションを設定する

InfoPrint Manager マネージメントコンソールは、InfoPrint Manager サーバーがインストールされている Windows システムでのみ実行されます。リモートシステムでInfoPrint Manager マネージメントコンソールを使用できるようにするには、内蔵のターミナルサーバー機能を使用し、InfoPrint Manager サーバーをそのサポートシステムのいずれかにインストールする必要があります。詳細については、[P.32 「サーバーソフトウェア前提条件」](#) を参照してください。

異なるプラットフォームでInfoPrint Manager を比較する

InfoPrint Manager サーバーを実行するためのプラットフォーム (AIX、Linux、または Windows) を選択する際には、InfoPrint Manager for AIX、InfoPrint Manager for Linux、およびInfoPrint Manager for Windowsは多くの機能を共有していますが、各製品には他の製品にはない独自の機能が備わっている点に注意してください。

共通機能の詳細

次のInfoPrint Manager機能はすべてのプラットフォームで利用できます。

- 完全機能版InfoPrint Managerサーバー
- 面付けとは、プレスシートを折り畳み、製本した後、ページが正しい順序で表示されるように配置することです。
- 他のInfoPrint Managerサーバー (AIX、Linux、またはWindows) との相互運用性
- BSDおよびPSF機器のサポートシステム
- 次の入力文書形式をサポートします。

- AFP
- ASCII
- DBCS ASCII
- GIF
- JPEG
- 行データ (EBCDIC)
- PCL (PCL 6以前)
- PDF (1.7以前)
- PostScriptレベル3以前
- TIFF
- SAP ABAPおよびOTF
- XML
- DITROFF
- Adobe PostScript変換
- PCL変換
- XML変換
- 完全イベント通知
- クライアントシステムでInfoPrint Manager サーバシステムからのメッセージの受信を可能にするInfoPrint Manager通知
- ほとんどの管理タスクを行うためのInfoPrint Manager アドミニストレーション GUI
- オペレータタスクを行うためのInfoPrint Manager オペレーション GUI
- InfoPrint Manager Web アドミニストレーションインターフェースおよびInfoPrint Manager Webマネージメントインターフェース
- ジョブ実行依頼のためのInfoPrint Selectクライアント
- すべてのInfoPrint Managerインターフェースへの強力なコマンドライン
- シンプルネットワーク管理プロトコル (SNMP) サポート
- z/OS、OS/390、MVSホストシステムからのジョブ実行依頼のためのMVS Download
- InfoPrint Page Printer Formatting Aid (PPFA)
- **pdaccount** コマンドは、印刷サーバデータのカンマ区切りレポートを作成し、スプレッドシートに入力するために使用します。
- 設定可能な変換のサポート (変換オブジェクトを使用)
- SAP Output Management Support (OMS) と **sap2afp** 変換を含むInfoPrint Manager: SAP印刷拡張機能。
- Internet Print Protocol (IPP) クライアントシステムからIPP非対応のプリンターに印刷するためのIPPゲートウェイ
- InfoPrint ManagerがUniform Resource Indicator (URI) 文字列を使用してプリンターにアクセスするためのIPPのサポート

InfoPrint Manager for AIX機能の詳細

次の機能は、現在、**InfoPrint Manager for AIXでのみ利用可能**です。

- 標準AIXプリンターバックエンドプログラム：piobeおよびrembakの一部バージョンを使用するプリンターのサポート
- PPOやセキュリティー管理など、InfoPrint Manager アドミニストレーション GUIでサポートされていないタスクを実行するためのSMITインターフェース
- PSF アップロードTCP/IP（この機能はInfoPrint Manager for Linuxでも利用できますが、InfoPrint Manager for Windowsでは利用できません。）

現在InfoPrint Manager for AIXでのみ使用可能な機能が必要で、LinuxまたはWindowsプラットフォームを使用したい場合は、AIX、Linux、Windowsの各システムの混合環境を検討してください。多くの場合、混合環境では、InfoPrint Manager のすべての機能をすぐに利用することができます。

InfoPrint Manager for Linux機能の詳細

次の機能は、現在、**InfoPrint Manager for Linuxでのみ利用可能**です。

- CUPSのプリンターバックエンドプログラム（InfoPrint Manager piointfo、Ricohプリンター向けInfoPrint Manager piordpd、socket、ipp、lpdなど）を使用するプリンターのサポート
- セキュリティー管理など、InfoPrint Manager アドミニストレーション GUIでサポートされていないタスクを実行するためのInfoPrint Manager マネージメントインターフェース
- ホスト印刷用の分散印刷機能 (DPF)（この機能はInfoPrint Manager for Windowsでも利用できますが、InfoPrint Manager for AIXでは利用できません）
- PSF アップロードTCP/IP（この機能はInfoPrint Manager for AIXでも利用できますが、InfoPrint Manager for Windowsでは利用できません。）

現在InfoPrint Manager for Linuxでのみ使用可能な機能が必要で、AIXまたはWindowsプラットフォームを使用したい場合は、AIX、Linux、Windowsの各システムの混合環境を検討してください。多くの場合、混合環境では、InfoPrint Manager のすべての機能をすぐに利用することができます。

InfoPrint Manager for Windows機能の詳細

次の機能は、現在、**InfoPrint Manager for Windowsでのみ利用可能**です。

- InfoPrint Manager アドミニストレーション GUIでサポートされていない管理タスクを実行するためのInfoPrint Manager マネージメントコンソールインターフェース。InfoPrint Manager マネージメントコンソールは、セキュリティーグループとアクセス制御リスト (ACL) のグラフィカルな管理機能も備えています。
- InfoPrint ManagerとWindows印刷プールの連携によるInfoPrint Manager機能の拡張

- Windows ゲートウェイプリンターでは、InfoPrint Managerクライアントを使用せずに、ジョブをInfoPrint Managerに送信できます。宛先は、Windowsネットワーク上の共有プリンターとして表示されます。
- MVS Downloadをプログラミングせずにカスタマイズ
- ホスト印刷用の分散印刷機能 (DPF) (この機能はInfoPrint Manager for Linuxでも利用できますが、InfoPrint Manager for AIXでは利用できません)

対応プリンター

InfoPrint Manager for Windowsは、リコーをはじめとするさまざまなベンダーのプリンターをサポートしています。

PCLプリンター

InfoPrint Manager for Windowsは、Hewlett-Packard (HP) Printer Control Languages (PCL4、PCL5、PCL5c、PCL5e、PCLXL、PCL6)を解釈できるすべての互換プリンターをサポートしています。InfoPrint Managerは、全種のデータストリームをPCL4、PCL5、PCL5c、PCL6に変換し、PCLのどのバージョンでもPCLプリンターに渡せる機能があります。

PostScriptプリンター

InfoPrint Manager for Windowsは、PostScriptを直接PostScriptプリンターに渡すことで、PostScriptプリンターへの印刷をサポートしています。

PPDSプリンター

また、InfoPrint Manager for Windowsでは、PPDS (Personal Printer Data Stream) に対応したすべてのプリンターを起動することができます。InfoPrint Managerでは、書式設定されたASCIIを除くすべての種類のデータストリームをPPDSに変換したり、任意のバージョンのPPDSを介してPPDSプリンターに渡したりすることができます。

↓ 補足

InfoPrint Manager は、PSF Other-driverおよびPSFコマンド機器して、非インパクトPPDSプリンターのみをサポートします。

IPDSプリンター

InfoPrint Manager for Windowsは、IPDSプリンターをサポートしていますが、これに限定されません。

- InfoPrint 4000

- InfoPrint 4000モデルID5/ID6
- InfoPrint 4000モデルIR3/IR4
- InfoPrint 4100 MD1/MD2
- InfoPrint 4100モデルHD1/HD2
- InfoPrint 4100モデルHD3/HD4
- InfoPrint 4100モデルHD5/HD6
- InfoPrint 4100モデルHS1
- InfoPrint 4100モデルHS2
- InfoPrint 4100モデルHS3
- InfoPrint 4100モデルPD1/PD2
- InfoPrint 4100 モデル PS1
- InfoPrint 4100 モデル TS1
- InfoPrint 4100 モデル TS2
- InfoPrint 4100 モデル TS3
- InfoPrint 4100 モデル TD1/TD2
- InfoPrint 4100 モデル TD3/TD4
- InfoPrint 4100 モデル TD5/TD6
- InfoPrint 4100 MS1
- InfoPrint 5000モデル AD1/AD2
- InfoPrint 5000モデル AD3/AD4
- InfoPrint 5000 モデル AD3/AD4-XR3
- InfoPrint 5000 モデル AS1
- InfoPrint 5000 モデル AS3
- InfoPrint 5000 モデル KM3
- InfoPrint 5000 モデル KM3/MD4
- InfoPrint 5000 モデル MP MC1/MC2
- InfoPrint 5000 モデル MP MD1/MD2
- InfoPrint 5000 モデル MP MD3/MD4
- InfoPrint 6500
- RICOH Pro 8100S
- RICOH Pro 8110S
- RICOH Pro 8120S
- RICOH Pro 8200S
- RICOH Pro 8210S
- RICOH Pro 8220S
- RICOH Pro 8210

- RICOH Pro 8220
- RICOH Pro 8300S
- RICOH Pro 8310
- RICOH Pro 8310S
- RICOH Pro 8320
- RICOH Pro 8320S
- RICOH Pro 8400S
- RICOH Pro 8410
- RICOH Pro 8410S
- RICOH Pro 8420
- RICOH Pro 8420S
- RICOH Pro C5100S
- RICOH Pro C5110S
- RICOH Pro C5200S
- RICOH Pro C5210S
- RICOH Pro C5300S
- RICOH Pro C5310S
- RICOH Pro C7100
- RICOH Pro C7100X
- RICOH Pro C7110
- RICOH Pro C7110X
- RICOH Pro C7100S
- RICOH Pro C7100SX
- RICOH Pro C7110S
- RICOH Pro C7110SX
- RICOH Pro C7200
- RICOH Pro C7200S
- RICOH Pro C7200SL
- RICOH Pro C7200SX
- RICOH Pro C7200X
- RICOH Pro C7210
- RICOH Pro C7210S
- RICOH Pro C7210SX
- RICOH Pro C7210X
- RICOH Pro C7500
- RICOH Pro C9200

- RICOH Pro C9210
- RICOH Pro C9500
- RICOH Pro F2120
- RICOH Pro F2120Y
- RICOH Pro F2130
- RICOH Pro F2130Y
- RICOH Pro VC40000
- RICOH Pro VC60000
- RICOH Pro VC70000
- RICOH Pro VC80000

DFEプリンター

InfoPrint Manager for Windowsは以下のDFEプリンタをサポートしています。

- RICOH Pro C7500用FieryカラーコントローラーN-50A
- RICOH Pro C7510用FieryカラーコントローラーN-70A
- RICOH Pro C9500用FieryカラーコントローラーN-50
- RICOH Pro C9510用FieryカラーコントローラーN-70
- RICOH Pro Z75用FieryカラーコントローラーN-500

Fieryカラーコントローラーに関するテクニカルサポートについては、Fiery販売店にお問い合わせください。Fieryソフトウェアに関するその他のヘルプについては、[Fiery](#)にWebサイトを参照してください。

サポートされているデータストリーム

InfoPrint Manager for Windowsは、これらのデータストリームをIPDS、PCL4、PCL5、PCL5c、PCL6、またはPPDSに変換できます。

- AFP (Advanced Function Presentation)
- ASCII
- DBCS ASCII
- CompuServe Graphics Interchange 形式 (GIF)
- EBCDIC
- Joint Photographic Experts Group 画像 (JPEG)
- PCL (PCL 6以前)
- PDF (1.7以前)
- PostScript (レベル3以前)
- SAP ABAPおよびOTF (InfoPrint Manager: SAP 印刷機能の購入が必要)

- Tagged Image File Format (TIFF)
- eXtensible Markup Language (XML)

また、InfoPrint Managerは、PostScript、PCL5e、PCLXL、PCL6（PCL5eとPCL XLの組み合わせ）、PPDSなど、どのデータストリームでも渡すことができます。

最適なシステムパフォーマンスを提供するため、InfoPrint Manager サーバーは入力データの変換とプリンターの駆動を同時に行うことができます。InfoPrint Manager は、同じプリンターで複数の文書形式をサポートします。

2. 前提条件を確認する

- ハードウェア前提条件を確認する
- ソフトウェア前提条件を確認する

InfoPrint Manager for Windowsをインストールする前に、本章のハードウェアおよびソフトウェアの要件を満たしていることを確認する必要があります。

ハードウェア前提条件を確認する

InfoPrint Managerは、パフォーマンスに影響はありますが、比較的低速または低速のシステムにインストールし、実行することができます。

InfoPrint Manager for Windows は、さまざまなメーカーの一般的なコンピューターシステムで動作します。

TCP/IP接続のプリンターを使用したり、LANを介して他のシステムと通信するために、適切なイーサネット、またはFDDI (Fiber Distributed Data Interface) アダプターカードをインストールし、適切なケーブルを接続する必要があります。

印刷負荷が小さい場合のWindowsハードウェア要件

最小構成：

- 1つのデュアルコアプロセッサ
- 8 GBのメモリ
- 100 GBのハードディスク空き容量

印刷負荷が大きい場合のWindowsハードウェア要件

最小構成：

- 2つのクアッドコアプロセッサ
- 32 GBのメモリ
- 150 GBのハードディスク空き容量

印刷負荷が大きい場合に性能を高めるためのWindowsハードウェア要件

最小構成：

- 4つのクアッドコアプロセッサ
- 32 GBのメモリ
- 200 GBのソリッドステートドライブ (SSD) 空き容量

↓ 補足

本製品をインストールするには、お使いのシステムに標準以上のVGAドライバーがインストールされている必要があります。

クライアントハードウェア前提条件

2

すべてのInfoPrintクライアントに、次のWindowsの最小構成を推奨します。

- 1.0 GHz Pentium 4 プロセッサ
- 2GB以上のRAM
- 500MB以上の空きハードディスク領域
- LAN接続（イーサネット）
- 少なくとも1つのInfoPrint Managerサーバーへのアクセス（ローカルシステムまたはLAN経由のリモートアクセスのいずれか）

LANの他のシステム（InfoPrint Managerサーバーシステムを含む）と通信するには、適切なイーサネットアダプターカードをインストールし、適切なケーブルを接続する必要があります。使用可能なネットワークハードウェアは、他のベンダーから入手可能です。

ソフトウェア前提条件を確認する

サーバーソフトウェア前提条件

InfoPrint Manager for Windowsサーバーソフトウェアは64ビットオペレーティングシステムしか使用できません。

対応する64ビットオペレーティングシステムは次のとおりです。

- Windows Server 2016 Standard
- Windows Server 2019 Standard
- Windows Server 2022 Standard
- Windows Server 2025 Standard

↓ 補足

InfoPrint Managerは、必要なバージョンのJavaをインストールし、そのJavaバージョンはInfoPrint Managerだけが使用できます。Javaのアップデートは、すべてInfoPrint Managerのインストーラーによって行われます。

★ 重要

- InfoPrint Manager サーバーで、接続要件を満たす適切なバージョンのWindowsが使用されていることを確認してください。
- WindowsシステムにInfoPrint Managerをインストールするには、管理者である必要があります。

次のWindowsコンポーネントがシステムにインストールされている必要があります。

- 汎用テキスト/専用プリンタードライバー（パススルーDSSを使用するため）

インターネットプロトコルの前提条件

InfoPrint ManagerはIPv4とIPv6の両方の通信プロトコルをサポートしています。InfoPrint Managerサーバーインスタンス間、サーバーとクライアント間、サーバーと出力デバイス間のインバウンド接続およびアウトバウンド接続がサポートされています。

AFP Download Plus前提条件

AFP Download Plusを利用するための前提条件は次のとおりです。

- AFP Download Plus複数データセット機能については、AFP Download Plus APAR OA 15317をインストールする必要があります。
- AFP Download PlusとInfoPrint Managerの間で圧縮を行うには、AFP Download Plus APAR OA 16693をインストールする必要があります。
- AFP Download Plus for z/OS バージョン 4.1 または 4.2 の場合、AFP Download Plus for z/OS で APAR OA28035 をインストールする必要があります。インストールしないと、複数データセット機能を使用しない場合でも、システムはInfoPrint Managerと連動しません。

クライアントソフトウェア前提条件

WindowsクライアントシステムでInfoPrint Selectを実行するには、64ビットのオペレーティングシステムがインストールされている必要があります。

対応する64ビットオペレーティングシステムは次のとおりです。

- Windows 10 Pro
- Windows 10 Enterprise
- Windows 11
- Windows Server 2016 Standard
- Windows Server 2019 Standard
- Windows Server 2022 Standard
- Windows Server 2025 Standard

LinuxクライアントシステムでInfoPrint Selectを実行するには、AlmaLinux 8.6以降、AlmaLinux 9、Red Hat Enterprise Linux 8、Red Hat Enterprise Linux 9、Rocky Linux 9、SUSE Linux Enterprise Server 15がインストールされていることを確認します。

これらは、InfoPrint Managerコマンドラインクライアントを実行するために必要なサポートされているオペレーティングシステムです。

InfoPrint Manager Windows クライアント	64ビットOS
	Windows 10 Pro
	Windows 10 Enterprise
	Windows 11
	Windows Server 2016 Standard
	Windows Server 2019 Standard
	Windows Server 2022 Standard
	Windows Server 2025 Standard
InfoPrint Manager AIXクライアント	AIX 7.2 TL3
	AIX 7.3 TL0 SP1
InfoPrint Manager Linuxクライアント	AlmaLinux 8 x86_64 (バージョン8.6それ以降)
	AlmaLinux 9 x86_64
	Red Hat Enterprise Linux 8 x86_64
	Red Hat Enterprise Linux 9 x86_64
	Rocky Linux 9 x86_64
	SUSE Linux Enterprise Server 15 x86_64

クライアントシステムでInfoPrint Manager GUIおよびInfoPrint Manager通知クライアントを実行するには、64ビットのオペレーティングシステムがインストールされている必要があります。

対応する64ビットオペレーティングシステムは次のとおりです。

- Windows 10 Pro
- Windows 10 Enterprise
- Windows 11
- Windows Server 2016 Standard
- Windows Server 2019 Standard
- Windows Server 2022 Standard
- Windows Server 2025 Standard

LinuxクライアントシステムでInfoPrint Manager GUIおよびInfoPrint Manager通知クライアントを実行するには、AlmaLinux 8.6以降、AlmaLinux 9、Red Hat Enterprise Linux 8、Red Hat Enterprise Linux 9、Rocky Linux 9、SUSE Linux Enterprise Server 15がインストールされていることを確認します。

サポートされているブラウザおよびWebインターフェースクライアントに必要なプラグインは、次のとおりです。

- 最新バージョンのMozilla Firefox
- 最新バージョンのMicrosoft Edge

Webインターフェースクライアントの最小ディスプレイ解像度は、1280x760ピクセルです。

WebブラウザでJavaScriptを使用可能にする必要があります。別のバージョンまたは以前のバージョンのブラウザを使用する場合、ページが異なる方法で書式設定されたり、一部の機能が適切に作動しなかったりする可能性があります。

InfoPrint Submit Expressソフトウェアの前提条件

Windowsシステム要件

InfoPrint Submit Expressを実行するには、64ビットのオペレーティングシステムがインストールされている必要があります。

対応するWindows 64ビットオペレーティングシステムは次のとおりです。

- Windows 10 Pro
- Windows 10 Enterprise
- Windows 11
- Windows Server 2016 Standard
- Windows Server 2019 Standard
- Windows Server 2022 Standard
- Windows Server 2025 Standard

サポートされている仮想化システム

InfoPrint Manager for WindowsはVMware System ESXi 3.5以上でサポートされています。

次のVMwareのWebサイトの情報を参考に、お客様の環境にあったサーバーのサイズを選択してください。<https://www.vmware.com/products/cloud-infrastructure/esxi-and-esx>

InfoPrint Manager for Windows は、Microsoft Hyper-V 環境でサポートされています。Microsoft Hyper-Vに関連する詳細については、<https://www.microsoft.com/ja-jp/evalcenter/evaluate-hyper-v-server-2019>をご覧ください。

InfoPrint Managerアドミニストレーションおよび操作GUI、InfoPrint Select、コマンドラインクライアントのWindowsクライアントがCitrix Virtual Apps and Desktopsでサポートされるようになりました。Citrix Virtual Apps and Desktopsに関する詳細は、<https://www.citrix.com/products/citrix-daas/citrix-virtual-apps-and-desktops.html>を参照してください。

高可用性

InfoPrint Manager for Windowsは、Microsoft Windowsシステムの高可用性クラスターをサポートしています。

高可用性は、ハードウェアやソフトウェアの障害から重要なアプリケーションを迅速かつ確実に回復するための環境を提供します。Windows高可用性の詳細については、[https://msdn.microsoft.com/en-us/library/aa373130\(v=vs.85\).aspx](https://msdn.microsoft.com/en-us/library/aa373130(v=vs.85).aspx)または「RICOH InfoPrint Manager：高可用性ガイドライン」、G550-20261を参照してください。

3. 構成を計画する

- 宛先構成モデルの詳細
- クラウドの考慮事項

この章では、InfoPrint Manager 環境を設計するときに重要となる可能性のある宛先構成モデルについて説明します。

宛先構成モデルの詳細

宛先構成モデルは、論理宛先、ジョブおよび文書属性のデフォルト、キュー、実宛先間の関係を示します。デフォルトのInfoPrint Manager宛先構成では、論理宛先と実宛先が1対1の関係にあり、最小限のジョブおよび文書属性のデフォルト設定を提供します。印刷ニーズをサポートするためにInfoPrint Manager環境をカスタマイズするときには、より高度な宛先設定モデルを検討することがあります。

↓ 補足

複数のInfoPrint Managerサーバー環境では、論理宛先とジョブを送信するキューが同じInfoPrint Managerサーバーに存在する必要があります。ただし、直接ジョブを送信しない場合は、実宛先を別のInfoPrint Managerサーバーに設定できます。直接送信の場合、実宛先は、論理宛先およびキューと同じサーバーに存在する必要があります。

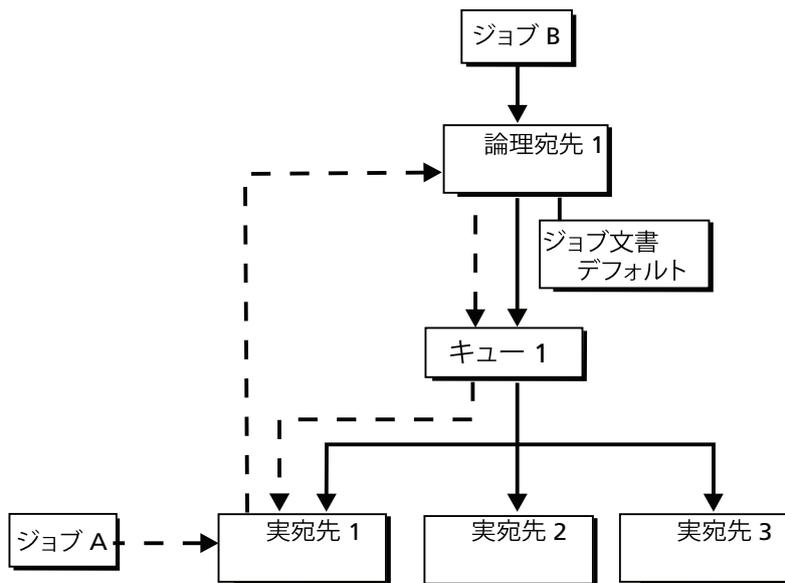
デフォルトモデル

デフォルトモデルは、1つの論理宛先と2つ以上の実宛先では一対多の関係です。また、適切に設定された実宛先に直接ジョブを送信することも可能です。（このように、デフォルトモデルはP. 39「[図4と同様です。以下で説明するデスクトップモデル](#)」。ただし、作成、管理するオブジェクトの数は少なくなります。）実宛先への直接送信をサポートするために、デフォルトモデルでは、実宛先が論理宛先に関連付けられている必要があります。実宛先に実行依頼されたジョブは、関連付けられた論理宛先に再ルーティングされません。論理宛先では、ジョブはそのジョブおよび文書のデフォルトを導出します。その後、ジョブは関連するキューを経由して、実宛先にルーティングされます。

InfoPrint Manager は、デフォルトでこの宛先構成モデルを使用します。（InfoPrint Manager をインストールすると、1つのキューと1つの論理宛先が自動的に作成されます。）直接送信を有効にするには、実宛先を設定する必要があります。

デフォルト宛先構成モデル

ジョブA（実宛先に実行依頼）は実宛先で印刷されます。ジョブB（論理宛先に実行依頼）は、ジョブをサポートできる最初の実宛先で印刷されます。

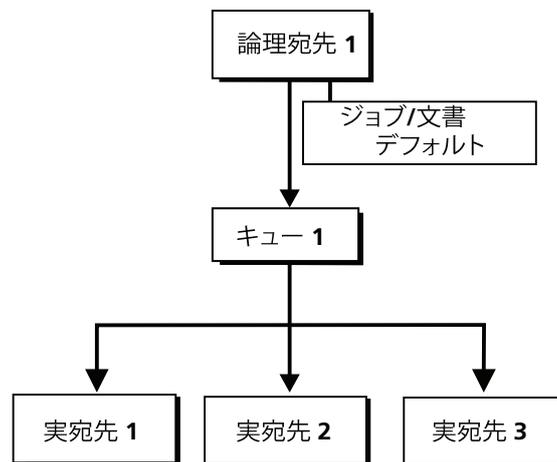


プリンタープールの利点を生かしながら、特定のジョブの印刷場所を完全に制御できる、非常に柔軟性の高いモデルです。

プールモデル

デフォルト宛先構成モデルのように、プール宛先構成モデルは、1つの論理宛先と2つ以上の実宛先では一対多の関係です。

プールファネル宛先構成モデル



このモデルは、場所、能力、速度、容量などの要素でグループ化したい出力機器がある場合に非常に効果的です。また、誰が使うか、誰が生成した出力を管理するかによってグループ分けをすることもできます。たとえば、特定のプリンターグループへのアクセスを請求部門のメンバーに制限することができます。さらに、異なるタイプのステートメントジョブは、印刷するフォームや必要とするオーバーレイなど、異なるジョブおよび文書属性のデフォルトのセットを使用する場合があります。プールモデルでは、これらの異なるジョブを1つの論理宛先に送信することができます。そして、各ジョブを処理することが

できる最初の利用可能なプリンターに自動的にルーティングします。このように、プールモデルではワークロードのバランスがとれます。

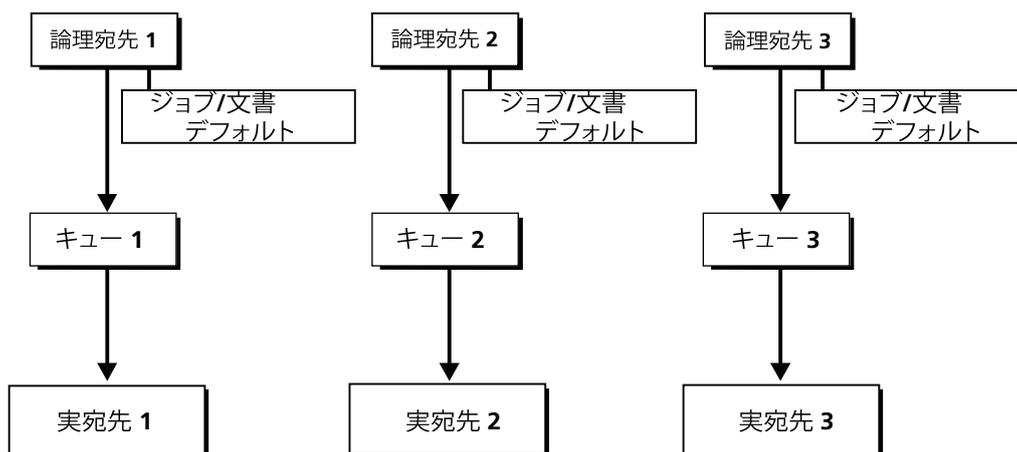
↓ 補足

プール宛先構成モデルを使用して、実宛先に直接ジョブを実行依頼することもできますが、プール効果は得られません。ジョブは、実行依頼された実宛先のみスケジュールされます。

デスクトップモデル

デスクトップ宛先構成モデルでは、1対1の論理宛先と実宛先の間があります。デスクトップモデルは、一般的なワークステーションプリンターの管理方法と使用方法を表しています。このモデルは、InfoPrint Managerを追加する既存の印刷システムをお持ちの方には馴染みがあるはずです。実宛先の機能は、この宛先構成でユーザーが正常に送信できるジョブのタイプを直接制御します。

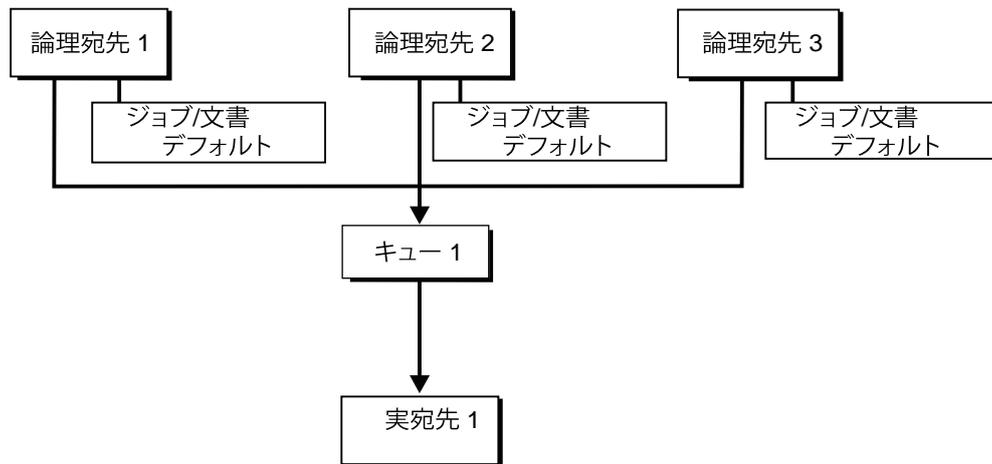
デスクトップ宛先構成モデル



ファネルモデル

ファネル宛先構成モデルでは、2つ以上の論理宛先と1つの実宛先という多対1の論理宛先と実宛先の間があります。

ファネル宛先構成モデル

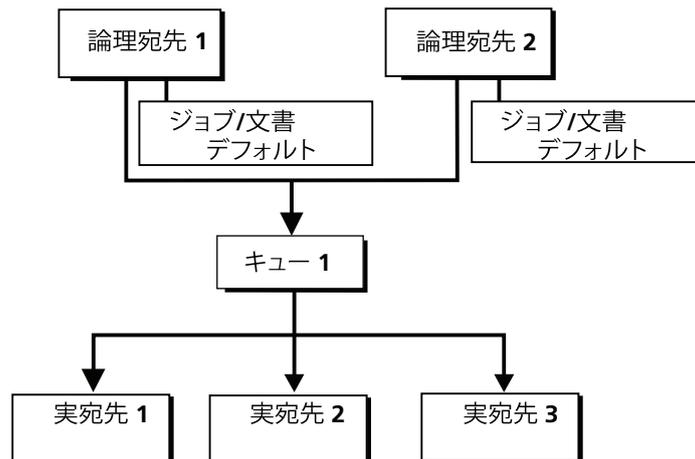


ファネルモデルは、ジョブや文書のデフォルト設定をより細かく制御できる柔軟な設定モデルです。たとえば、1つの論理宛先はトレイ2に格納されているピンク色の用紙に印刷し、別の論理宛先はトレイ1からオーバーレイで両面印刷するように設定することが可能です。

砂時計モデル

砂時計宛先構成モデルでは、論理宛先と実宛先の間が多対多の関係があります。砂時計モデルは、プールモデルによる負荷分散の利点と、ファネルモデルによるジョブおよび文書デフォルトの自動割り当ての利点の両方を提供します。砂時計モデルは、宛先構成モデルの中で最も柔軟性の高いモデルです。

砂時計宛先構成モデル



推奨分散構成モデル

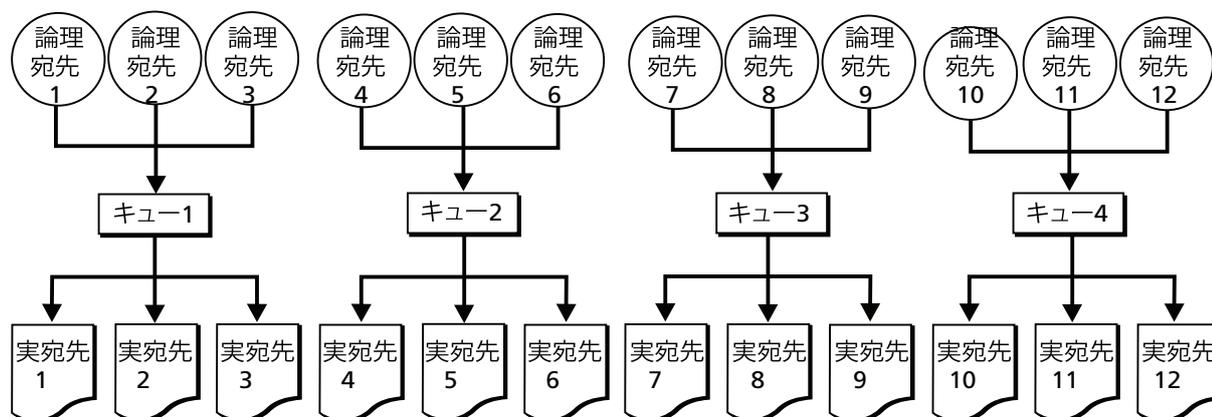
分散環境の印刷環境を効率的に管理する（P.41 「[図7. 分散構成モデル](#)」を参照）には、砂時計構成モデルを使用して目的地を整理し、複数のキューとデフォルトジョブを使用し

て、InfoPrint Manager for Windowsサーバーを經由でワークフローを制御することをお勧めします。インストール時に定義されたデバイスの数ではなく、オペレーターに基づいてキューを定義します。プリンター10台に対してオペレーターが1人、あるいは特定のフロアのプリンターすべてをオペレーターが管理している場合でも、プリンターをキューごとにグループ化すれば、1人が1つのキューを監視できるため、すべてのプリンターと印刷ジョブの管理が非常に簡単になります。

1人の人間が1つのキューを監視することは、非常に効率的です。オペレーターは、**InfoPrint Manager管理GUI**を使用して、特定のキューを表示することができます。InfoPrintでは、印刷ジョブのセキュリティ設定を管理するためにキュー認可を使用しているため、オペレーターはキューを切り替えることなく、このサポートを監督する作業が非常に容易になりました。デフォルトのジョブを作成し、それらを異なる論理宛先に関連付けることで、キューがこれらのジョブを正しい実宛先にスケジュールすることを確認できます。たとえば、LogDest1に関連付けられたinitial-value-jobは、LogDest1に送信されたジョブがActDest1にスケジュールされるように、**actual-destination-requested**のデフォルトがActDest1です。**actual-destination-requested**は複数值属性なので、初期値ジョブの**actual-destination-requested**属性で複数の実宛先を指定し、どの実宛先を選択するかは他のジョブや文書属性（**document-format**など）で決めることも可能です。

分散構成モデル

このモデルでは、指定したジョブや文書のデフォルトによって、異なる論理宛先と関連付けられた異なる実宛先を設定できます。



クラウドの考慮事項

クラウドで仮想OSを構成する場合、オンプレミスで構成する場合と同じ考慮事項に必ず従ってください。

推奨事項：

- InfoPrint Manager レベルで SSL/TLS 暗号化を有効にし、InfoPrint Manager コンポーネント間の通信セキュリティを向上させます。
- InfoPrint Manager インフラストラクチャのパブリック部分には、必ず静的 IP アドレスを使用してください。
- InfoPrint Manager インスタンスに使用するネットワークカードの永続的な MAC アドレスをクラウドソリューションに設定します。

- データを永続的なストレージに保存し、オペレーティングシステムのリブート時にデータが失われないようにします。
- インターネットから通信やデータにアクセスできないように、InfoPrint Manager システムがクラウド上の安全な仮想ネットワークで動作していることを確認します。
- データの整合性を保つため、定期的にバックアップを実行します。
- 複数の仮想システムを同じ構成にし、同じストレージ領域を使用することで、高可用性を確保することができます。
- InfoPrint Manager アーキテクチャにより、お客様はクラウドとオンプレミスで作業を分担することができます。InfoPrint Manager スーパーバイザーはオンプレミスで、コマンドプロセッサとスプーラーはクラウドで動作させることができます。InfoPrint Manager アーキテクチャの詳細については、*RICOH InfoPrint Manager for AIX and Linux：構成および調整ガイド*の「「サーバーの部分」」セクションを参照してください。

★重要

- 印刷速度要件のため、トランザクションのお客様のみにお勧めします。分散印刷のお客様は、クラウドから直接印刷することができます。
- 十分な印刷速度を得るには、InfoPrint Manager supervisor pdserver を実行するプリンターサーバをプリンターと同じ場所に設置し、ローカル LAN を経由でプリンターと接続する必要があります。
- クラウドからオンプレミスへの高速・低遅延の専用チャンネルがない限り、クラウド+オンプレミスというモデルは連続帳票印刷には不向きです。
- 連続帳票プリンターの実行に関するその他の推奨事項。
 - ◆ 可能な限りギガビットの直接接続を使用してください。
 - ◆ ネットワークをバイパスして、InfoPrint Managerを使用して、ローカルでジョブを実行します。
 - ◆ ネットワーク遅延（ACK時間間隔）は、印刷性能に大きく影響することがあります。長時間にわたってデータを送信する場合、プリンター側でデータをバッファリングします。
 - ◆ 連続帳票プリンター専用のネットワーク配管があったとしても、ネットワークは単一障害点になる可能性があることを考慮してください。冗長な高速経路を利用できるようにします。
 - ◆ リコープリンターが対応している**optimize-for-multiple-copies**属性を有効にすることで実行される、**ページの保存モード**を使用することができます。そのため、印刷を開始する前に、ジョブをプリンターにスプールすることができます。

InfoPrint Manager を実行し、オンプレミス機器と通信するために、どのポートを開く必要があるかを確認するには、[P. 71 「InfoPrint Manager for AIX/Linux/Windowsで使用されるポート」](#) にアクセスしてください。

セキュリティの観点から、クラウドとオンプレミスのネットワークの間でVPNを使い始める必要があります。クライアントやプリンターとのInfoPrint Managerの通信は暗号化されていません。

4. ホストシステムで印刷を計画する

- DPFとDownload for z/OSの比較
- DPFホストレシーバーの制限
- 印刷業者のシナリオ
- Download for z/OSでリソースを管理する
- DPFでリソースを管理する

InfoPrint Manager は、必要な機能の数や印刷を制御する場所（ホストシステムまたは InfoPrint Manager）に応じて、ホストシステムとの間で使用する印刷オプションをいくつか提供します。すべてのオプションで、ホストとLANアプリケーション間のプリンターを共有することができますが、構成を多く必要とするものもあります。利用可能なホスト印刷オプションは以下の通りです。

- **分散印刷ファシリティ (DPF)**

z/OS または i5/OS を使用している場合、DPF を使用して IPDS 印刷ジョブとそのリソースを受信してから、InfoPrint Manager を使用してそれらを管理することができます。

- **Download for z/OS**

InfoPrint Manager の MVS Download レシーバーデーモンは、Download for z/OS または AFP Download Plus for z/OS の両方をサポートしています。PSF for z/OS の Download for z/OS 機能または PSF for z/OS の AFP Download Plus 機能を使用すると、ジョブをリモートセッションにスプールし、リモート印刷オペレーターに印刷を制御させることができます。

↓ 補足

InfoPrint Manager では、Download for z/OS という用語は、PSF for z/OS の Download for z/OS 機能と PSF for z/OS の AFP Download Plus for z/OS 機能を指します。

- **IPP**

ホストシステム上に IPP クライアントがある場合は、それを使って IPP ゲートウェイ経由で InfoPrint Manager にジョブを実行依頼できます。

- **z/OS の InfoPrint Server**

z/OS で InfoPrint Server を使用する場合は、スプーリングのホストでジョブをリモート InfoPrint Manager サーバーに送信できます。InfoPrint Server の IP PrintWay コンポーネント (LPR を含む) と InfoPrint Manager LPD を実行する必要があります。(InfoPrint Manager Server を Windows システムで実行する場合、InfoPrint Manager LPD は Windows 版 Microsoft LPD を置き換えます)。ホストでジョブを送信するときには、フォーム定義やページ定義などの詳細 InfoPrint オプションを指定することができます。InfoPrint Manager がジョブを受信した後、リモート印刷オペレーターが印刷を制御します。

DPF と Download for z/OS はホスト印刷オプションです。ホストシステムで PSF を使用する場合は、本章の情報を参考にして、どちらを使用するのが最適かを判断してください。

どちらの方式を使用するかを決めたら、「RICOH InfoPrint Manager for Windows：基本操作」を参照して設定を行ってください。

DPF と Download for z/OS の比較

この表は、InfoPrint Manager for Windows が提供する 2 つの主要なホスト印刷オプションの主な違いの概要を示しています。この情報を使用して、お客様の印刷設定のニーズに最も適したオプションを決定してください。

DPFとDownload for z/OSの比較

DPF	Download for z/OS
InfoPrint Manager for Windows は、IPDS (Intelligent Printer Data Stream) 入力、あるいはIPDSからPCLまたはPPDSデータストリームに変換するための完全印刷スプールシステムとして機能します。	InfoPrint Manager for Windows は、完全印刷スプールシステムとして機能します。MVSは、JESスプールからInfoPrint Managerスプールへジョブを転送するメカニズムを提供します。
この機能は、PSF for z/OS、PSF/MVS、PSF/400で使用します。	この機能は、PSF for z/OSまたはPSF/MVSでのみ使用します。
ホストシステムで印刷サービスファシリティ (PSF) ソフトウェアプログラムが必要です。	PSFのMVS Download機能またはAFP Download Plus機能の購入と設定が必要です。
PSFホストからWindowsへの通信にはTCP/IPを使用します。	PSFホストからWindowsへの通信にはTCP/IPを使用します。
リソース管理はPSFホストで行い、リソースはジョブとともに自動的にダウンロードされます。詳しくは、P.48 「DPFでリソースを管理する」を参照してください。	Download for z/OSの場合、リソース管理はInfoPrint Managerで行われます。すべての印刷リソースは、ジョブが印刷されるInfoPrint Managerサーバーに存在するか、AFP (Advanced Function Presentation) ジョブでインライン送信される必要があります。詳しくは、P.47 「Download for z/OSでリソースを管理する」を参照してください。 AFP Download Plusの場合、リソース管理は、ホスト、InfoPrint Manager、またはその2つの組み合わせで行うことができます。詳しくは、P.47 「Download for z/OSでリソースを管理する」を参照してください。
ホストプリントスプールはホストPSFシステムで管理されます。InfoPrint ManagerスプールとプリンターはInfoPrint Manager から管理されます。ジョブはダウンロードされるまでホストで管理され、その後InfoPrint Managerから管理されます。	ホストプリントスプールはホストPSFシステムで管理されます。InfoPrint ManagerスプールとプリンターはInfoPrint Manager から管理されます。ジョブはダウンロードされるまでホストで管理され、その後InfoPrint Managerから管理されます。
ホストPSFとInfoPrint Managerの両方でサポートされているすべてのプリンター、および6400シリーズプリンターを除くホストでサポートされていないPCLとPPDSデバイスをサポートします。	InfoPrint Manager for Windowsがサポートするすべてのプリンターをサポートします。
ジョブをスプールするために、InfoPrint Managerの追加ディスク領域が必要です。	ジョブをスプールするために、InfoPrint Managerの追加ディスク領域が必要です。
ジョブ全体がInfoPrint Managerで受信され、InfoPrint Managerのスプールによって印刷がスケジューリングされた後にのみ、ジョブを印刷します。	ジョブ全体がInfoPrint Managerで受信され、InfoPrint Managerのスプールによって印刷がスケジューリングされた後にのみ、ジョブを印刷します。
ホスト (たとえばSMF/6) とInfoPrint Managerの両方のアカウントングを使用します。	InfoPrint Managerアカウントング情報を使用します。
ホストシステムおよびInfoPrint Manager経由のプリンター共有を提供します。	InfoPrint Managerによって、プリンター共有とプリンターサポートを提供します。
複数のデータセットジョブを1つの印刷ジョブとして印刷できます。	複数のデータセットジョブを1つの印刷ジョブとして印刷できます。
ホストPSFからIPDSデータをスプールし、後で印刷できます。	JESスプールからAFPまたは行データをInfoPrint Managerにダウンロードし、後で印刷できます。
ジョブはInfoPrint Managerに保存され、後で印刷のために再送信することができます。	ジョブはInfoPrint Managerに保存され、後で印刷のために再送信することができます。

DPFホストレシーバーの制限

DPFホストレシーバーには次の制限があります。

- 入力ビンの選択。
- 論理ページとオブジェクト領域の色。
- IPDSダイアログの管理 - IPDS以外のダイアログやセッションに切り替える。
- 仕上げ処理。
- UP3I仕上げ。
- 信頼性の問題と、例外が報告された場合のアクション制御。
- CMRサポート。
- オブジェクトを前処理してキャッシュし、文書内の後続のinclude構造化フィールドに含まれるときに表示可能な形式にします。
- 保存されたページ。
- Nアップ。
- カットシートエミュレーション。
- ページの向き。
- データオブジェクトのフォントサポート。
- アウトラインフォントサポート。
- プリンター常駐フォント。
- 2値カラーサポートの拡張。
- IOCA Tile-Set-Colorサポートの拡張。
- BCOCA Desired-symbol-widthのサポート。
- BCOCA BCD2 データはサポートされていません。
- GOCA GRS3データはサポートされていません。
- 一度に有効化できるオーバーレイの最大数は254です。
- 一度に有効化されるページ数は最大127です。
- オブジェクトコンテナー。
- 自動解像度。
- 終了ページ範囲選択。

印刷業者のシナリオ

InfoPrint Managerがどのようにして最適な方法で印刷環境を管理するかを確認するために、以下のサンプルシナリオを検討してください。

ブラックボックスショップ

米国の東海岸にあるデータセンターは、全米の5つの地域事業所に請求明細書を提供し、IPDS出力をあるグループのプリンターに送信しています。これらのユーザーはすべてのリソース管理をMVSシステムで行いたいため、InfoPrint ManagerのMVS Downloadレシーバーとz/OS向けのAFP Download Plusをブラックボックスソリューションとして使用できます。リソースを移動させる必要がなく、リモートオフィスにもジョブを送信してすぐに印刷することができます。印刷ジョブとリソース管理はすべて中央ホストで行われます。

LANとホストから印刷する：オプション1

4

印刷業者が、ローカルLANからInfoPrint 4100プリンターにスタッフレポートを送信したいと考えています。夜間シフトでは、同じInfoPrint 4100プリンターを使用して、iSeriesサーバーから請求書を印刷したいと考えています。マネージメントコンソールではなく、InfoPrint Manager アドミニストレーション GUIで宛先を作成することで、印刷管理者は、同じ宛先でLAN とホストの両方からジョブを印刷できることを確認できます。

LANとホストから印刷する：オプション2

中堅企業が、iSeriesシステムとローカルLANの両方から、3台のRicohプリンターのプールで印刷したいと考えています。印刷ジョブは、いつでもどちらの場所からでも送信できます。実際、ホストシステムと印刷キューとの接続は常にオープンにしておきたいと考えています。ホストレシーバーは、プリンターを完全に引き継ぐことなく、InfoPrint Manager に常時接続できるため、ホストプリントジョブの実行依頼にDPFを使用することに決めました。InfoPrint Manager キューは、LANとホストの両方の印刷ジョブが到着すると許可され、優先度の高い順に印刷することができます。

後で印刷するジョブをスプールする

ある大企業の給与計算部門は、2週間ごとに1万人の従業員の給与小切手を作成しています。小切手はサンノゼのホストシステムで作成され、オークランドの印刷センターで印刷する必要があります。その日のネットワーク帯域幅を節約するために、小切手は夜間にダウンロードされます。しかし、セキュリティの理由から、朝、印刷オペレーターが出勤するまで印刷することはできません。印刷管理者は、DPFを使用してIPDSの印刷ジョブと、それに使用されるリソースをInfoPrint Managerにダウンロードし、印刷オペレーターが到着するまでそこで保留にすることを決定しました。使用するリソースの安全性（署名）を確保する必要があるため、ホストレシーバーではリソースの保存をオフにしています。リソースはジョブが印刷された後、削除されます。

リモートスプールによる分散印刷ジョブ

あるデータセンターでは、一連の月次社内レポートを印刷しています。出力を生成するジョブは、（日中の他の作業を妨げないように）夕方のシフト終了時に実行され、その後システムで保持されます。印刷ファイルを一度送信すれば、あとは何度でも定格速度で印刷できるため、ジョブは帯域幅のコストを削減することができます。このデータセンターは56KBの回線しかありませんが、MVS Downloadレシーバーが回線速度の非効率性によるパフォーマンスの問題を防いでいます。MVS Downloadレシーバーは、ジョブ全体のスプールを待たずに、高速連続帳票プリンターでの印刷を開始します。このジョブでは、ジョブを一度送信すれば何度でも印刷できる機能を維持しながら、すべての印刷サーバーを統合したいと考えているため、InfoPrint ManagerのMVS Downloadレシーバー機能は、すべてのジョブをローカルで制御できるようにすることでニーズに最も適したものとなっています。

Download for z/OSでリソースを管理する

InfoPrint ManagerでMVS Downloadレシーバー機能とAFP Download Plus for z/OSと使用する場合は、すべての印刷リソースがInfoPrint ManagerサーバーがあるWindowsシステムにインストールされている必要があります。これらのリソースは、次のいずれかの方法で管理することができます。

- これらのリソースをバイナリ形式で標準的なファイル転送プロトコル（FTP）でInfoPrint Managerにダウンロードします。この方法は、リソースが頻繁に変更されない場合に最も効果的です。
- ネットワークファイルシステム（NFS）マウントコマンドを使用して、リソースを含むOS/390システムを、InfoPrint Managerが稼働しているWindowsサーバーにアクセスできるようにします。このソリューションは、ネットワークトラフィックを大量に発生させる可能性があるため、リソースが頻繁に変更される場合は、このソリューションの選択に注意が必要です。
- Download for z/OSを使用して、印刷ジョブの代わりにリソースを送信し、InfoPrint Managerサーバーに定義されているすべての印刷リソースライブラリに送信します。この方法は、MVS Downloadレシーバーの終了と設定をカスタマイズする必要があります。

InfoPrint ManagerでMVS Downloadレシーバー機能とAFP Download Plus for z/OSを使用する場合は、印刷ジョブのリソースは通常そのジョブで使用するインラインリソースとして印刷ジョブとともに送信され、リソースはサーバーにInfoPrint Managerインストールされる必要はありません。ただし、すべてのリソースをインラインリソースとして送信しないようにAFP Download Plusが設定されている場合、インラインで送信されないリソースはInfoPrint Managerサーバーにインストールされ、サーバーによって管理される必要があります。

これらの方法の詳細については、「RICOH InfoPrint Manager for Windows：手順」の「MVS Downloadを使用するように設定する」、または<https://help.ricohsoftware.com/swinfocenter>のRICOHソフトウェア情報センターを参照してください。

DPFでリソースを管理する

DPFを使用して印刷ジョブを送信すると、ジョブファイルと必要なIPDSリソースの両方が、InfoPrint Manager システムに送信されます。ただし、DPFホストレシーバーのリソースの**保存機能**を使用することで、ネットワーク上のトラフィックを軽減することができます。

↓ 補足

リソースの保存機能は、PSF for VSE、MVS、およびz/OSシステムでのみ動作します。DPFを使用してVMまたはi5/OSシステムから印刷する場合、**リソースの保存**を使用することはできません。

ジョブとともにダウンロードされたすべてのDPFリソースは、DPFリソースデータベースに格納されます。ただし、再利用のためにデータベースに残るリソースもあれば、不要になった時点で削除されるリソースもあります。リソースがどうなるかは、ホストシステムでリソースをどのように設定したのかと、DPFホストレシーバーで**リソースの保存オプション**をどのように設定したのかによって異なります。

ホストシステムでは、PSFリソースマーキングユーティリティ（MVSではAPSRMARK、VSEではAPTRMARK）を使用して、リソースを**プライベート**または**パブリック**に設定することができます。プライベートリソースは、ジョブとともにDPFリソースデータベースにダウンロードされ、そのジョブで使用されます。ホストレシーバーがInfoPrint Manager から切断され、リソースを使用するジョブが印刷キューから消去されると、リソースはデータベースから削除されます。パブリックリソースは、ジョブとともにDPFリソースデータベースにダウンロードされ、そのジョブで使用された後、後から再利用できるようにデータベースに保存されます。リソースを設定しない場合は、プライベートリソースと同様に扱われます。

DPFホストレシーバーの作成時に、**リソースの保存**を選択するか、未選択のままにしておきます。

- **リソースの保存**が選択された場合は、DPFホストレシーバーはリソースでパブリック/プライベート設定を確認します。パブリックリソースはダウンロードしてデータベースに保存され、後で再利用できます。プライベートリソースはダウンロードされ、1回のジョブでだけ使用され、その後削除されます。設定されていないリソースはプライベートリソースとして処理されます。
- **リソースの保存**を選択しない場合、すべてのDPFリソース（フォント、オーバーレイ、ページセグメント）は、ホストでパブリックに設定されていても、プライベートリソースとして扱われます。

ジョブがダウンロードを開始すると、DPFホストレシーバーは、内部IDとパブリック/プライベートの指定（いずれもホスト側で設定）を確認しながら、要求するリソースを確認します。

- 内部IDのないリソースはダウンロードされ、プライベートリソースとして扱われます。
- リソースに内部IDがある場合、レシーバーはそのIDがパブリックかプライベートかどうかを確認します。
 - リソースがプライベートに設定されている場合は、ダウンロードされ、ジョブで使用された後、削除されます。

- パブリックに指定されている場合、ホストレシーバーはそのリソースが既にデータベースに保存されているかどうかを確認します。保存されている場合は、InfoPrint Managerはジョブを処理するときそこから使用します。保存されていない場合は、ホストレシーバーからホストに対してダウンロードするように指示されます。リソースはデータベースに保存され、現在のジョブに使用された後、将来使用するためにデータベースに残ります。

5. AFP リソースを使用する

文書用のテキストを作成した後、より読みやすく、興味を引く内容にするために書式を設定したいときがあります。チャート、グラフ、ロゴ、ボックス、ラインなどの画像を使用すると、さまざまなセクションを説明したり、区切ったりすることができます。また、フォントを使用すると、テキストのさまざまな部分を強調することもできます。企業向けに作成された定義済みのグラフィックやテキスト要素のカタログを利用すると便利です。テキストやグラフィックをセグメント（フッター、ヘッダー、サイドバーなど）にまとめ、ページ上で1つのユニットとして配置することもできます。一貫性を保つために、同じ種類の文書には共通の要素やレイアウトを指定することができます。

Advanced Function Presentation (AFP) リソースは、文書の外観を制御するための強力なツールです。InfoPrint Managerには、多数の AFP リソースが含まれています。AFPリソースのタイプは以下の通りです。

Color management resource (カラー管理リソース)

カラー管理リソース(CMR)は設計されたリソースであり、印刷ファイル、文書、ページかシートのグループ、ページ、またはカラーの正確性を持つデータオブジェクトのレンダリングに必要なカラー管理情報をすべて保持するために使用されます。

データオブジェクトリソース

データオブジェクトリソースはAFPリソースのタイプです。IOCAファイル、または特定モデルのプリンターによって最初からサポートされているファイルのタイプがあります。また、InfoPrint Managerに付属の変換を使用してオブジェクトをまずAFPに変換する場合は、ネイティブではないタイプのファイルをデータオブジェクトリソースとしても使用できます。InfoPrint Managerでは、データオブジェクトリソースがBCOCA/GOCAオブジェクトでグループ化されており、表示オブジェクトコンテナと呼ばれます。

書式定義

書式定義は、出力装置がページ上でデータをどのように配置するかについての説明を提供します。書式定義は、オーバーレイ、カットシートプリンター用の給紙ユニット、両面印刷、テキスト抑止、データ位置、およびページの番号と変更を指定できます。

ページ定義

ページ定義には、行データのフォーマット制御機構が含まれています。ページ定義には、論理ページごとの行数、フォント選択、印刷方向、および、論理ページ上の位置への個々のフィールドのマッピングを含めることができます。

ページセグメント

ページセグメントには、ページまたは電子オーバーレイ上の任意のアドレス可能点に組み込むことができるテキストとイメージが含まれています。

オーバーレイ

オーバーレイは、線、網掛け、テキストボックス、またはロゴなど、印刷中または送信中にページまたは用紙上の可変データと合併できる事前定義データの集合です。

フォント

フォントとは、特定の字体(文字、数字、句読点、特殊文字、およびリガチャーを含む)に入っている単一のサイズと書体です。

また、追加のリソースを購入したり、カスタムリソースを作成できます。ページ定義と書式定義を作成するには、Page Printer Formatting Aid (PPFA) for Windowsを購入します。ページ定義およびフォーム定義を作成するには、Page Printer Formatting Aid (PPFA) for Windowsを購入できます。これは、InfoPrint Manager for Windowsのオプション機能です。P. 70 「InfoPrint Manager for Windowsで提供されている別価格の機能」には、InfoPrint Manager for Windowsで利用可能な別売の機能が一覧で示されています。

↓ 補足

InfoPrint Manager の DPF 機能は、AFP のリソースではなく、IPDS のリソースを使用します。その結果、DPFリソースはDPFを使用して実行依頼されたジョブにのみ使用することができます。ただし、これらのリソースのAFPバージョンは、ホストシステムに存在する必要があります。DPFリソースを別のジョブ実行依頼方法 (MVS Downloadなど) で使用する場合は、AFPバージョンをホストからInfoPrint Managerサーバーに転送します。

InfoPrint Manager は、AFPのリソースにアクセスするためのいくつかの方法を提供します。利用可能なAFPリソースがInfoPrint Managerに付属しているものだけであれば、ジョブがそれらを必要とするときに自動的にアクセスされます。ただし、他のAFPリソースを使用する場合は、そのリソースの場所を指定する必要があります。また、ジョブ実行依頼パラメーターや環境変数でリソースの場所を指定する方法もあります。最後に、ジョブ内の各文書は、それが必要とする各AFPリソースタイプへのパスを指定することができます。これらの仕様は、論理宛先に関連付けられたデフォルトの文書で処理することを選択できます。

★ 重要

カスタムAFPリソースは、InfoPrint Manager に含まれるAFPリソースと同じディレクトリに保存しないでください。InfoPrint Manager を再インストールまたはアップデートする必要がある場合、カスタムリソースファイルが破損または削除される可能性があります。

リソースコンテキストオブジェクトを使用して、AFPのリソースにアクセスすることができます。リソースコンテキストオブジェクトは、PSFの実宛先に送られるジョブが参照できる、さまざまなタイプのAFPリソースの場所を特定します。リソースコンテキストオブジェクトでは、ディレクトリーパス名を1つの場所にカプセル化できます。そして、リソースを検索する場所を指定するときに、ディレクトリ名ではなく、リソースコンテキストオブジェクト名を指定します。その後、リソースの場所が変更しても、該当するリソースコンテキストオブジェクト内で指定されたパス名を変更するだけで済みます。

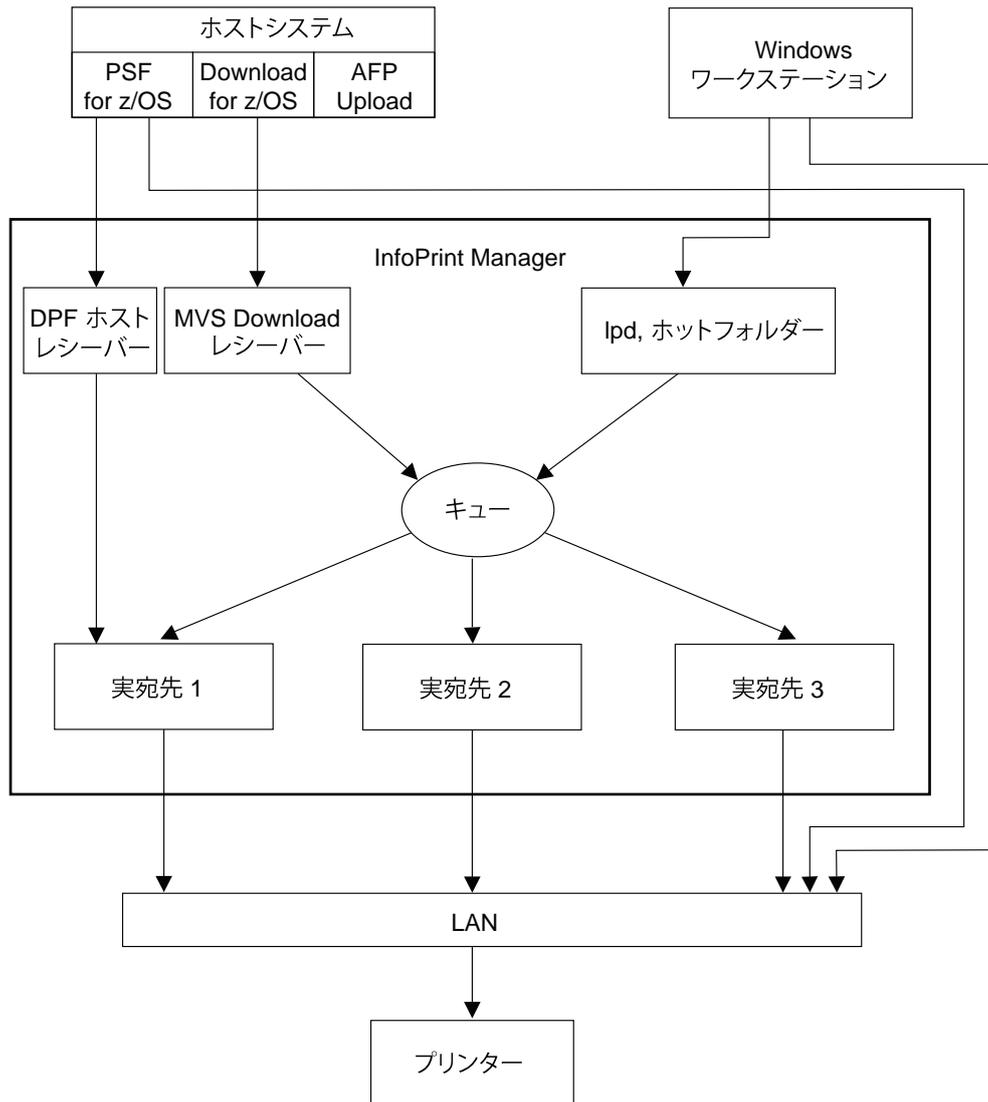
リソースコンテキストオブジェクトを作成するには、**pdcreate**コマンド (DOSコマンドプロンプトで) を使用する必要があります。このオブジェクトは、InfoPrint Manager アドミニストレーション GUI または Web Interface で PSF の実宛先を作成または変更するときに参照します。ジョブは含まれる文書経由でもリソースコンテキストオブジェクトを参照できます。実宛先と参照されるリソースコンテキストオブジェクトは両方とも、同じInfoPrint Managerサーバーに配置してください。

6. プリンターの共有を計画する

- プリンター共有のための方法
- ホストとLANアプリケーションの間でプリンターを共有

多くの環境では、プリンターを共有することで、プリンターから最大限の利益を得ることができます。InfoPrint Manager を使用する主な利点の1つは、さまざまなホストとクライアントシステムがさまざまなレベルで印刷リソースを共有できることです。使用する共有のレベルは、環境の要件によって異なります。

プリンターを共有する



プリンター共有のための方法

印刷ドライバーがプリンターとの通信リンクを共有したり、異なるクライアントが同じ印刷キューにジョブを送信することで、プリンターを共有することができます。印刷ドライバーは、プリンターと直接通信します。印刷ドライバーには、ホストPSFプリンターとInfoPrint Manager実宛先が含まれます。

IPDSプリンターとの通信リンクを共有する

IPDSプリンターと同時に通信できる印刷ドライバーは1つだけなので、複数の印刷ドライバーを管理する必要があります。これには、次の2つの方法があります。

- InfoPrint Manager 実宛先とホストPSFプリンターを手動で起動、停止し、プリンターを操作する印刷ドライバーを制御します。
- プリンターが利用可能になるのを待ち、印刷ドライバーが何も印刷するものがないときに通信リンクをリリースするように設定します。

接続タイマーは、プリンターが使用可能になるまでの待ち時間を指定します。**リリースタイマー**または**非アクティブタイマー**は、印刷ドライバーが何も処理を実行していないときに、通信リンクを維持する時間を指定します。印刷ドライバーがアクティブにジョブを投入している場合、ジョブ送信の間隔が指定されたリリース時間または非アクティブ時間を超えないかぎり、印刷ドライバーはジョブを送信し続けます。印刷ドライバーは、ジョブのフローが十分に遅くなるまで、プリンターを制御します。リリース時間または非アクティブ時間の値は、プリンタードライバー間で宛先を均等に共有することを保証します。これは重要な点です。

1つ以上の印刷ドライバーが同じプリンターを実行するように設定されている場合、印刷ドライバーの設定を行う必要があります。

- InfoPrint Manager実宛先
- ホストPSFプリンター

印刷ドライバーを設定する場合、以下が適用されます。

- 印刷されるすべてのジョブを一元的に管理、監査することはできません。プリンターのすべての一時停止中のジョブを決定するために、複数のインターフェースを使用する必要があります。
- 異なる印刷ドライバーからのジョブの間では、ジョブの自動優先順位付けは行われません。待機している他の印刷ドライバーにプリンターを使用させるために、アクティブな印刷ドライバーで強制的にプリンターをリリースするためには、手動の操作が必要です。
- プリンターとネットワーク以外には、単一障害点はありません。

プリンターがInfoPrint Managerサーバーに S/390 チャンネル接続されている場合、同じサーバー上の1つまたは複数のInfoPrint Manager実宛先間で自動プリンター共有を使用することができます。ホストシステムとのプリンター共有は、プリンター接続を切り替えるための手動操作が必要です。

PostScript、PCL、PPDSプリンターと通信リンクを共有する

InfoPrint Manager が PostScript、PCL、PPDS をプリンターに送信する場合、次の間の印刷共有を許可するための設定は必要ありません。

- InfoPrint Manager実宛先
- Windowsワークステーション

- LPRクライアントからプリンターへの直接送信

ほとんどのプリンターは、ジョブを受信した順に自動的に印刷します。一部のプリンターでは、設定オプションが利用できない場合があります。

同じ印刷キューにジョブを送信する

同じ印刷キューにジョブを送信すると、宛先は1つだけプリンターと通信し、すべてのジョブは1つのInfoPrint Managerキューで管理されます。これらの方法を使用して、1つのInfoPrint Manager キューにジョブを送信することができます。

- ホストPSF印刷ドライバーからジョブを受信したときのDPFレシーバー
- ホストMVS Download印刷ドライバーからジョブを受信したときのMVS Downloadレシーバー
- Windows共有プリンターからジョブを受信したときのWindowsゲートウェイ
- 任意のプラットフォームでLPRクライアントからジョブを受信したときのLPD
- 任意のプラットフォームでIPPクライアントからジョブを受信したときのIPP
- Windows共有フォルダ-からジョブを受信した場合のホットフォルダー
- Windowsクライアントから直接ジョブを受信したときのInfoPrint Manager Selectクライアント

同じキューに印刷ジョブを送信する場合、以下が適用されます。

- 印刷されるすべてのジョブを一元的に管理、監査します。一つのインターフェースから、プリンターの一時停止中のすべてのジョブを判別できます。
- ジョブの間では、ジョブの自動優先順位付けが行われます。優先順位の付け方にはいくつかの方法があります。
- 単一障害点があります。

ホストとLANアプリケーションの間でプリンターを共有

統合されたホストとLAN印刷を最大限に活用するために、ホストおよびLANアプリケーション全体で共有することができます。

既存のホストアプリケーションから印刷する

複数の方法でホストアプリケーションからInfoPrint Managerにジョブを送信できます。

- ホストPSFからDPFレシーバーにジョブを送信します。
- Download for z/OSからMVS Downloadレシーバーにジョブを送信します。
- LPRクライアントからInfoPrint ManagerサーバーのLPDユーティリティにジョブを送信します。

- z/OSでInfoprint Serverを使用する場合は、スプーリングのホストでジョブをリモート InfoPrint Managerサーバーに送信できます。Infoprint ServerのIP PrintWayコンポーネント（LPRを含む）とInfoPrint Manager LPDを実行する必要があります。（InfoPrint Manager ServerをWindows システムで実行する場合、InfoPrint Manager LPD は Windows版Microsoft LPD を置き換えます）。ホストでジョブを送信するときには、フォーム定義やページ定義などの詳細InfoPrint オプションを指定することができます。InfoPrint Manager がジョブを受信した後、リモート印刷オペレーターが印刷を制御します。

↓ 補足

P.53 「[プリンター共有のための方法](#)」で説明されているように、使用方法はプリンターがどのように共有されるかに影響します。

詳しくは、P.43 「[ホストシステムで印刷を計画する](#)」を参照してください。

既存のLANアプリケーションから印刷する

多くのネットワーク環境では、既存のアプリケーションから印刷ジョブを送信できるようにすることが非常に重要です。PCユーザーは、印刷出力を作成するときに、**ファイルメニューから印刷**を選択することを期待しています。ユーザーは、複数の方法でジョブをワークステーションからInfoPrint Manager for Windows宛先に送信できます。環境に最適ないずれかの方法を選択します。

- WindowsまたはLinuxのすべてのワークステーションでP.56 「[InfoPrint Select](#)」を使用する
- WindowsワークステーションでP.57 「[InfoPrint Submit Express](#)」を使用する
- P.57 「[InfoPrint Manager サーバーでWindows ゲートウェイプリンターを使用して](#)」クライアントのワークステーションから接続する
- P.58 「[InfoPrint Manager サーバーでInternet Protocol Printer \(IPP\) ゲートウェイを使用](#)」し、クライアントのワークステーションに IPP クライアントプリンターを作成する
- 保存されたファイルを自動的にInfoPrint Manager宛先に送信するP.58 「[InfoPrint Managerホットフォルダーを使用する](#)」

InfoPrint Selectを使用する

InfoPrint Select（WindowsおよびLinux版）を使用して、アプリケーションからのジョブ送信を可能にするには、ワークステーションにInfoPrint Selectをインストールし、設定する必要があります。この設定時に、InfoPrint Managerで制御される宛先をクライアントシステムに認識させる必要があります。

Windows クライアントでは、Windows **プリンターの追加ウィザード**を使用してローカルプリンターを追加し、適切なドライバーを読み込んで、各InfoPrint Managerの宛先に一意のポートを割り当てます。

Linuxクライアントで、CUPSの**プリンター追加ウィザード**を使用してInfoPrint Selectプリンターを追加し、適切なPPDを読み込んで、各InfoPrint Manager宛先に一意の機器URIを割

り当てます。機器URIの形式は、`se1pms://server_hostname[:port]/destination`となります。

↓ 補足

ポートを指定しない場合は、デフォルトのポート番号は6874になります。

InfoPrint Selectクライアントは、「RICOH InfoPrint Manager: Common Clients」のDVD-ROM、LCD4-5642に収録されています。LDAP Selectは、InfoPrint Managerのソケット認証に対応しています。インストールと構成については、「RICOH InfoPrint Manager for Windows：スタートガイド」を参照してください。

InfoPrint Selectを設定すると、ユーザーはInfoPrint Managerが生成する関連イベント通知を受信します。通常、この通知は、ジョブが正常に完了したことをユーザーに通知するだけです。ただし、ジョブの処理中にエラーが発生した場合は、問題の診断に役立つ情報がイベント通知に含まれています。InfoPrint Selectでは、**pdpr**コマンドを含むInfoPrint Managerコマンドラインインターフェースへのアクセスも提供されます。これにより、クライアントアプリケーションは、ジョブを制御するすべてのAFP印刷属性にアクセスできます。最後に、InfoPrint Selectユーザーは、InfoPrint Manager for AIX、InfoPrint Manager for Linux、またはInfoPrint Manager for Windowsのいずれかが制御する宛先にジョブを実行依頼することができます。

拡張版のInfoPrint Selectクライアントでは、次のことを行うことができます。

- ジョブをサーバーに実行依頼するときにInfoPrint Managerジョブ属性を指定する
- キュー内のジョブの取り消し、保留、およびリリースをサポートする

これらの特定の機能強化については、ヘルプシステム参照してください。

InfoPrint Submit Expressを使用する

InfoPrint Submit Expressを使用するには、ワークステーションにInfoPrint Submit Expressをインストールし、構成する必要があります。InfoPrint Submit ExpressクライアントはCommonクライアント DVDと共に提供されます。

InfoPrint Submit Expressを導入することで、印刷業者はジョブチケットの作成、InfoPrint Manager サーバーへの印刷ジョブの実行依頼、およびジョブの進捗状況の確認を行うことができます。ジョブチケットには、ジョブの仕様（レイアウトや仕上げオプションなど）と、そのジョブに関連するファイルがすべて含まれています。ジョブチケットは、お客様のジョブデータを参照し、それらをジョブバンドルにまとめます。InfoPrint Submit Expressを使用すると、クライアントユーザーは、InfoPrint Manager サーバーから利用可能なすべてのデータストリーム変換（PCL、PostScript、TIFF、GIF、JPEG）を利用できます。最後に、InfoPrint Submit Expressユーザーは、InfoPrint Managerが制御する宛先にジョブを実行依頼することができます。

Windows ゲートウェイプリンターを使用する

Windows ゲートウェイプリンターでは、クライアントシステムにソフトウェアをインストールする必要がなく、設定作業の大部分をサーバー側で行います。まず、InfoPrint Manager アドミニストレーション GUIを使用して、InfoPrint宛先（論理宛先または実宛先）を作成します。次に、マネージメントコンソールを使用して、それらの宛先のいずれかを参照するWindows ゲートウェイプリンターを作成します。

↓ 補足

InfoPrint Manager アドミニストレーション GUIを使用して宛先を作成する場合、関連する Windows ゲートウェイプリンターを同時に作成するオプションがあります。

Windows ゲートウェイプリンターを作成すると、ユーザーは共有ネットワークプリンターにアクセスするのと同じように、Windows **プリンターの追加ウィザード**を使用して、リモートプリンターサーバーが管理するプリンターをデスクトップに追加するだけで済みます。必要な情報は、InfoPrint Manager サーバーシステムの名前と、ゲートウェイプリンターの共有名だけです。

Windows ゲートウェイプリンターにより、InfoPrint Manager管理者は、アプリケーションからアクセス可能な宛先を簡単に制御することができます。このため、展開の容易さと相まって、Windows ゲートウェイプリンターは魅力的な選択肢となっています。この機能では、InfoPrint Managerから詳細なイベント通知を受けることはできませんが、ユーザーがワークステーションにInfoPrint Manager 通知をインストールすれば、詳細な通知を受けることができます。

IPPゲートウェイを使用する

InfoPrint ManagerにはIPPゲートウェイが含まれています。IPPゲートウェイを使用すると、ユーザーは、ネットワークの任意の場所でIPP対応でないプリンターにもInfoPrint Managerを使用してジョブを実行依頼できます。InfoPrint Manager管理者は、管理コンソールでIPPゲートウェイを有効にし、宛先と関連付けます。ユーザーはワークステーションにIPPクライアントソフトウェアをインストールし、IPPクライアントに付属の指示に従って、リモート印刷サーバーで管理されているプリンターにアクセスします。

IPPゲートウェイにより、InfoPrint Manager管理者は、アプリケーションからアクセス可能な宛先を簡単に制御することができます。この機能では、InfoPrint Managerから詳細なイベント通知を受けることはできませんが、ユーザーがワークステーションにInfoPrint Manager通知をインストールすれば、詳細な通知を受けることができます。

InfoPrint Managerホットフォルダーを使用する

InfoPrint Manager ホットフォルダーは、論理宛先と関連付けられたディレクトリーです。ファイルをホットフォルダーにコピーまたは移動すると、InfoPrint Managerは、その論理宛先にこのジョブを自動的に実行依頼します。ホットフォルダーディレクトリーは、InfoPrint Manager サーバーとすべてのジョブ送信者がアクセスできる任意のシステム（InfoPrint Manager サーバーがインストールされているシステムを含む）で作成することができます。そして、そのディレクトリーにファイルをコピーする必要があるすべてのユーザーがアクセスできるように、そのディレクトリーを共有する必要があります。ホットフォルダーにファイルを送信するには、ユーザーがローカルシステムからそのディレクトリーにファイルをコピーします。

属性ファイルで**notification-profile**属性を設定し、そのファイルを印刷ファイルと一緒に送信すると、ホットフォルダーを使って送信した印刷ジョブに関する通知メッセージを受信できます。

↓ 補足

属性ファイルの作成など、ホットフォルダーの使用に関する詳細は、「RICOH InfoPrint Manager for Windows : スタートガイド」および「RICOH InfoPrint Manager for Windows : 操作ガイド」を参照してください。

設定しないと、この機能は、InfoPrint Managerからの詳細なイベント通知は行われません。

7. InfoPrint Managerを移行する

- InfoPrint Manager for Windowsバージョン4.14に移行する場合の考慮事項

旧バージョンのInfoPrint Manager for WindowsからInfoPrint Manager for Windowsバージョン4.14に移行するには、「RICOH InfoPrint Manager for Windows：基本サーバー」、LCD4-5659のDVD-ROMをDVD-ROMドライブに挿入し、画面の指示に従ってください。

↓ 補足

1. InfoPrint Manager for Windowsシステムのバックアップや移行後の構成ファイルの復元については、「RICOH InfoPrint Manager for Windows：スタートガイド」を参照してください。
2. InfoPrint Manager for Windowsは、テキスト文字列をASCIIからEBCDICに変換するときのためのICONVをUCONVに置き換えました。UCONVでも、UTF16文字を変換に使用できます。ICONVを使用している独自のacif (line2afp) 終了コードを書いた場合、代わりにUCONVを使用するようにその終了プログラムを変更する必要があります。

InfoPrint Manager for Windowsバージョン4.14に移行する場合の考慮事項

Windows オペレーティングシステムをアップグレードする前に、バックアップソフトウェアを使用して、コンピューター全体をバックアップします。

InfoPrint Manager for Windowsに対応させるため、Windows オペレーティングシステムをサポート対象レベルのWindows にアップグレードします。対応するWindows オペレーティングシステムの一覧は、「前提条件を確認する」の章のP.32「[サーバーソフトウェア前提条件](#)」を参照してください。

バージョン4.14に移行するときに、sap2afp機能がInfoPrint Manager for Windowsにインストールされている場合、sap2afp機能がコントロールパネル → プログラムの追加と削除から削除されていない可能性があります。したがって、sap2afp 機能をインストールした後、sap2afp の2つのインスタンスがコントロールパネル → プログラムの追加と削除に表示される可能性があります。この重複エントリでは問題は発生しません。無視してもかまいません。

8. 必要な情報を収集する

- インストール中に選択する構成オプション
- ソフトウェアに同梱の納品書
- LAN接続を計画する
- プリンターネットワーク接続を計画する
- プリンターを計画する
- ホストレシーバーを計画する

InfoPrint Manager環境を適切に設定するためには、環境の個々のコンポーネントについて設定情報を収集する必要があります。この情報収集を容易にするために、いくつかのワークシートが用意されています。

インストール中に選択する構成オプション

インストール処理中に、InfoPrint Manager for Windowsを構成する方法について、次の点を決定する必要があります。

- 複数のコンピューター（AIXまたはWindows）の間で相互運用性をサポートするか、1台以上のAIXおよびWindowsサーバーの間で相互運用性をサポートするようにInfoPrint Managerを構成するかどうか
- サーバーの言語は何か
- ファイルシステムの容量と、処理する印刷ジョブのサイズ
- InfoPrint Manager Pull Print機能をインストールするか

ソフトウェアに同梱の納品書

納品書の情報が必要です。

- 購入した機能の名称
- 購入したプリンターライセンスの数および種類

LAN接続を計画する

まず、Windowsシステムをローカルエリアネットワーク(LAN)に接続します。このタスクは、Windowsのインストール時またはインストールの終了後に実行できます。いずれの場合でも、LANに新たに接続するシステムごとに、事前に以下のワークシート完成させておくことを推奨します。

LAN TCP/IP 構成ワークシート

コントロール パネルの指示	説明	値
コンピューター名	Windows ネットワークのコンピューターの (NetBIOS) 名	
ドメイン/ワークグループ	このコンピューターが属するWindowsコンピューターのグループです。	
アダプター	このシステムをネットワークに接続するために使用される物理カード。このカード用の該当するドライバーを追加する必要があります。	
IP アドレスを DHCP サーバーから入手?	動的ホスト構成プロトコル (DHCP) は、再始動されるたびに、このシステムに新しい IP アドレスを提供しま	<u> </u> はい <u> </u> いいえ

コントロールパネルの指示	説明	値
	す。DHCP が使用されていない場合は、静的 IP アドレスを割り当てる必要があります。	<input type="checkbox"/> 補足 [いいえ] を指定することをお勧めします。
IP アドレス	<p>このシステムに静的に割り当てられるIPv4アドレス（例：9.99.178.17）。DHCPが使用されている場合は必要ありません。</p> <p>IPv6アドレスは16進数4桁のグループが8個あり、各グループは16ビットです。グループは、コロン（:）で区切られています。IPv6アドレスの例： 2001:0ce8:58a3:0000:0000:6a2e:0370:3734 使用する場所によっては、IPv6アドレスを角括弧で囲みます。例： [2001:0ce8:58a3:0000:0000:6a2e:0370:3734]</p>	
サブネットマスク	IPアドレスのネットワークとシステムの部分を識別する数値です（例：255.255.255.0）。DHCPが使用されている場合は必要ありません。	
デフォルトゲートウェイ	このネットワークが他のネットワークと通信できるようにする、デフォルトで使用されるシステム。DHCP が使用されている場合は、必要ありません。	
DNS ホスト名	ドメインネームシステム (DNS) によって認識される、このシステムの (インターネット) 名。可能ならば、この名前は Windows コンピューター名と同じにする必要があります。	
DNSドメイン	このコンピューターが属するインターネットドメインです。	
DNSサービス検索順序	DNS サーバーの IP アドレスの配列リスト。これらのシステムは、インターネット名を IP アドレスに変換するために照会されます。	
ドメイン接尾部検索順序	所定のホスト名を検索するための TCP/IP ドメインの配列リスト	
1 次 WINS サーバー	Windows (NetBIOS) システム名を IP アドレスに変換するために照会する最初の Windows Internet Name Service (WINS) システム	
2 次 WINS サーバー	照会する 2 番目の WINS システム	
DNS を Windows の変換に使用可能にする?	DNS を使用して、Windows (NetBIOS) 名を IP アドレスに変換できます。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
LMHOSTS ルックアップを使用可能にしますか?	LMHOSTS ファイルは、Windows システム名を IP アドレスに静的に関連付けます。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
スコープ ID	Windows ドメインに割り当て可能なこの一連の IP アドレスは、スコープと呼ばれます。	
IP 転送を使用可能にしますか?	IP 転送は、データをマルチホームシステムに転送できるようにします。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

プリンターネットワーク接続を計画する

より高い帯域幅の接続性を持つ、別のプリンターネットワークを作成することもあります。この場合、独立したプリンターネットワークでプリンターを制御するInfoPrint Manager for Windowsサーバーシステムごとに追加のネットワークアダプターを構成してください。以下のワークシートをこの構成に利用してください。別のプリンターネットワークをセットアップする方法については、管理者手順の複数のネットワークアダプターカードを使用するを参照してください。

プリンターネットワークTCP/IP構成ワークシート

【コントロールパネル】の指示	説明	値
アダプター	このシステムをプリンターネットワークに接続するのに使用される物理カード。このカード用の該当するドライバーを追加する必要があります。	
IPアドレス	プリンターネットワーク上のこのシステムに静的に割り当てられるアドレスです（例: 9.99.178.17）。プリンターネットワークが関係する場合に必要です。	
サブネットマスク	IPアドレスのネットワークとシステムの部分を識別する数値です（例: 255.255.255.0）。プリンターネットワークが関係する場合に必要です。	
デフォルトゲートウェイ	プリンターネットワークは、別のネットワークと通信する必要はありません。プリンターとのすべての通信には、InfoPrint Manager が介在します。	なし

プリンターを計画する

InfoPrint Manager 環境の実宛先は、それぞれ設定する必要があります。各構成を実行するために必要な特定の情報は、宛先サポートシステム（DSS）と使用されるアタッチメントタイプによって異なります。適切なDSSとアタッチメントタイプを決定するには、*RICOH InfoPrint Manager for Windows：基本操作の「宛先サポートシステム（DSS）の詳細」*を参照してください。

RICOH InfoPrint Manager for Windows：基本操作に、各タイプのプリンターを作成するための準備としてワークシートが用意されています。

ホストレシーバーを計画する

ホストレシーバーは、メインフレームホストシステム（MVS、z/OS、i5/OS など）から送信される印刷ジョブを許可するために使用されます。InfoPrint Managerでは、ホストレシーバーには2種類あります。DPFホストレシーバーとMVS Downloadレシーバーです。レシーバーを作成する準備ができたなら、InfoPrint Manager マネージメントコンソールを使用します。

RICOH InfoPrint Manager for Windows：基本操作に、各タイプのホストレシーバーを作成するための準備としてワークシートが用意されています。

9. ソフトウェアコンポーネントを確認する

InfoPrint Managerは、多くの異なるハードウェアとソフトウェアのコンポーネントで構成されています。基本コンポーネントは、InfoPrint Manager for Windowsの購入時に含まれています。オプションコンポーネントは基本製品への追加機能であり、追加の製品メディアを通じて購入して設置できます。

「InfoPrint Manager for Windows: Base Server」 DVD-ROM、LCD4-5659には、WindowsシステムにInfoPrint Managerサーバーをインストールするためのすべてのソフトウェアが含まれています。これらのコンポーネントはすべてサーバーと一緒にインストールされるため、どれかを除外することはできません。

- **InfoPrint Manager サーバー**
- **InfoPrint Manager アドミニストレーション/オペレーション (GUI)**
サーバーがインストールされているシステムから、印刷操作を管理できるようにします。
- **InfoPrint Manager 通知サーバー**
InfoPrint ManagerサーバーがInfoPrintオブジェクトに関するステータスメッセージをInfoPrint Manager通知クライアントに送信できるようにします。
- **InfoPrint Manager 通知クライアント**
InfoPrint Manager サーバーがインストールされているシステムでメッセージを表示できます。
- **InfoPrint Manager Internet Printing Protocol (IPP) Gateway**
ユーザーがIPP プロトコルを使用して、InfoPrint Manager を通じてプリンターに印刷ジョブを実行依頼できるようにします。
- **InfoPrint ラインプリンターデーモン (LPD) ゲートウェイ**
ユーザーがLPD ゲートウェイを通じて InfoPrint Manager サーバーにジョブを実行依頼できるようにします。
- **InfoPrint Manager MVS Download Receiver**
InfoPrint ManagerプリンターでIBM Download for z/OS または AFP Download Plus for z/OSを使用して、MVSシステムから送信されたMVSジョブを印刷できます。
- **InfoPrint Manager Transforms**
ユーザーが、db2afp、d2afp、gif2afp、img2afp、jpeg2afp、line2afp、pcl2afp、pdf2afp、ps2afp、tiff2afp、xml2afp、および xml2pdf などのさまざまな変換を実行できるようにします。
- **InfoPrint Manager Web Server**
ユーザーはプル印刷、またはWebインターフェースなどのWebアプリケーションを実行および管理できます。Webサーバーは基本サーバーと一緒にインストールされていますが、MMCから起動しない限り、動作していません。
- **InfoPrint Manager Webアドミニストレーションインターフェースおよび InfoPrint Manager Web管理インターフェース**
InfoPrint Managerを使用すると、Webブラウザユーザーインターフェースで管理と操作を実行できます。
- **InfoPrint Manager : 公開**

InfoPrint Manager for Windows: Base Server DVD-ROM、LCD4-5659には、次のオプションの価格が設定された機能も含まれています。

「AFP2PDF 機能 (LCD4-5674)」	afp2pdf変換は、AFP文書とも呼ばれるMO:DCA-P (Mixed Object Document Content Architecture)文書を、表示、アーカイブ、電子メール、印刷などに使用できるPDF (Adobe Portable Document Format)文書に変換します。
「プル印刷機能 (LCD2-20001-00) 」	InfoPrint Manager プル印刷機能は、既存のInfoPrint Managerサーバーと外部のStreamline NXまたはEquitracサーバーで機能します。この機能は、認証された所有者がプリンターから印刷を要求したときに、ジョブをスケジュールするものです。これを利用すれば、不要な印刷出力を減らすことができ、その分経費を削減できます。ヘッダーシートをオフすることで、さらに用紙を節約することができます。所有者がプリンターコンソールからジョブを要求するまで印刷しないことで、セキュアな印刷環境を提供する機能です。
「SAP 印刷機能 (LCD4-5646) 」	企業では、SAP 印刷機能を使用してInfoPrint Manager for Windowsに印刷することができます。SAP 印刷機能には、ABAP (Advanced Business Application Programming) データと OTF (Output Text Format) データの両方を印刷用の AFP に変換する sap2afp 変換と、印刷ジョブに関する拡張ステータスを取得する SAP OMS (Output Management Support) のサポートが含まれています。
「ワークグループプリンターエンジン」	0～80ページ/分の範囲で印刷するInfoPrint駆動プリンターを設置し、使用するために必要です。
「低速プリンターエンジン」	81～150ページ/分の範囲で印刷するInfoPrint駆動プリンターを設置し、使用するために必要です。
「中速プリンターエンジン」	151～400ページ/分の範囲で印刷するInfoPrint駆動プリンターを設置し、使用するために必要です。
「高速プリンターエンジン」	401～1999ページ/分の範囲で印刷するInfoPrint駆動プリンターを設置し、使用するために必要です。
「超高速プリンターエンジン」	2000ページ/分以上で印刷するInfoPrint駆動プリンターを設置し、使用するために必要です。

次のオプションのInfoPrint Font Collection DVDが提供されています。

- **AFPクラシックフォント** : LCD2-20029
- **AFPアウトラインフォント** : LCD4-5683
- **WorldTypeフォント** : LCD4-5684-06
- **AFPラスタフォント** : LCD4-5700-02
- **AFP Asian Classic TrueType CollectionとOpenTypeフォント** : LCD2-20055-01

P. 69 「InfoPrint Manager サーバーに同梱されているCommon Clients DVD-ROMの目次」には、Common Clients DVD-ROM (LCD4-5642) に収録されているコンポーネントの一覧が記載されています。各クライアントにはそれぞれインストーラーがあり、別々にインストールする必要があります。すべてのコンポーネントは、複数のシステムにインストールすることができます。

InfoPrint Manager サーバーに同梱されているCommon Clients DVD-ROMの内容

共通クライアント	説明
InfoPrint Select for WindowsおよびLinux	InfoPrint Selectでは、ワードプロセッサ、スプレッドシート、他のデスクトップアプリケーションがInfoPrint Managerにジョブを実行依頼できます。InfoPrint Managerに印刷オプションや属性を付けてジョブを送信したり、ジョブの保留、解除、キャンセルができます。InfoPrint Selectは強力なコマンドラインも備えています。
Windows版AFPプリンタードライバー	AFPプリントドライバーは、デスクトップアプリケーションからAFP (Advanced Function Presentation) 出力を作成することができます。AFP印刷ドライバーとInfoPrint Selectを使用すると、印刷された文書の表示を高度に制御することができます。
InfoPrint Manager GUI	InfoPrint Managerには、以下のGUIがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • InfoPrint ManagerアドミニストレーションGUI • Infoprint ManagerオペレーションGUI これらのGUIは日常のInfoPrint Managerのタスクの大半に使用されています。
InfoPrint Manager 通知	InfoPrint Manager通知クライアントを使用すると、InfoPrint Manager AIXサーバー、InfoPrint Manager Linuxサーバー、またはInfoPrint Manager Windowsサーバーのいずれかが生成するメッセージをリモートシステムで受信できます。
SAPクライアント (AIX、Linux、Windows)	SAPクライアントコードはSAPシステムにインストールされ、InfoPrint Manager AIXサーバー、InfoPrint Manager Linuxサーバー、またはInfoPrint Manager WindowsサーバーのいずれかでSAPシステムを使用できるようにします。 https://help.riohsoftware.com/swinfocenter でRICOHソフトウェア情報センターの最新版「RICOH InfoPrint Manager：SAPプランニングおよび構成ガイド」をご覧ください。
InfoPrint Managerコマンドラインクライアント (AIX版)	AIXクライアントでは、InfoPrint ManagerがインストールされていないAIXシステムのInfoPrint Managerコマンド (<code>pdpr</code> など)を入力したり、AIXコマンドラインからリモートInfoPrint Manager AIXサーバー、InfoPrint Manager Linuxサーバー、またはInfoPrint Manager Windowsサーバーに <code>lp</code> 、 <code>lpr</code> 、 <code>qprt</code> などのAIXプリントコマンドを入力することができます。
InfoPrint Managerコマンドラインクライアント (Linux版)	Linuxクライアントは、LinuxシステムでInfoPrint Managerコマンドをインストールし、IntelベースのコンピューターのLinuxユーザーがTCP/IP接続されたネットワークでInfoPrint Manager AIXサーバー、InfoPrint Manager Linuxサーバー、またはInfoPrint Manager WindowsサーバーのいずれかにInfoPrintコマンドを発行できるようにします。
InfoPrint Managerコマンドラインクライアント (Windows版)	InfoPrint Managerコマンドラインクライアントは、WindowsシステムでInfoPrint Managerコマンドをインストールし、ユーザーがTCP/IP接続されたネットワークでInfoPrint Manager AIXサーバー、InfoPrint Manager Linuxサーバー、またはInfoPrint Manager WindowsサーバーにInfoPrintコマンドを発行できるようにします。
AFP Workbench	AFPファイルを表示できるユーティリティ。
InfoPrint Submit Express	InfoPrint Submit Expressクライアントを使用すると、TCP/IP接続されたネットワークを介して、InfoPrint Manager AIXサーバー、InfoPrint Manager Linuxサーバー、またはInfoPrint Manager Windowsサーバーにチケット付きジョブを送信することができます。

P. 70 「表 InfoPrint Manager for Windowsで利用できる別価格の機能」 一覧は、InfoPrint Manager for Windowsで利用できる別売の機能です。

InfoPrint Manager for Windowsで提供されている別価格の機能

InfoPrint Manager機能	説明
「Page Printer Formatting Aid (PPFA) 機能」	PPFAは、AFP (Advanced Function Presentation) 製品のユーザーが、さまざまな異なるオペレーティングシステム上でフォーム定義やページ定義を作成することを可能にします。これらの定義は、印刷された出力のページがどのようにフォーマットされ、プリンターが物理的な紙のシートをどのように扱うべきかを指定します。PPFAを使用すると、アプリケーションプログラムを変更することなく、書式設定されていないz/OSやASCIIの行データを効果の高い文書に変換することができます。
「InfoPrint 4247機能 (LCD2-20041)」	InfoPrint 4247 IPDSプリンターへの印刷を可能にします。
「InfoPrint Transform Manager機能 (LCD2-20015)」	この機能により、InfoPrint Managerはリモートサーバー上の文書を変換し、リッピングのパフォーマンスを向上させることができます。この機能は、InfoPrint Manager製品のすべてのバリエーション (AIX、Linux x86_64、またはWindows) で購入できますが、LinuxまたはWindowsにのみインストールできます。詳しくは、「InfoPrint Manager Transform機能をインストールする、G550-20160」を参照してください。

InfoPrint Manager for AIX/Linux/Windowsで使用されるポート

通常使用されるポート

ポート IPM/ AIX	ポート IPM/ Linux	ポート IPM/ WIN	説明	ポートタイプ I/O
25	25	25	SMTP (簡易メール転送プロトコル)	OUT
67	67	67	bootpサーバー (一部のプリンター)	IN
68	68	68	bootpクライアント (一部のプリンター)	OUT
80	80	80	HTTP (ハイパーテキスト転送プロトコル) (一部のプリンターのWebサーバー)	OUT
92	92	92	NPP (Network Printing Protocol)	OUT
161	161	161	SNMP要求 (簡易ネットワーク管理プロトコル)	OUT
162	162	162	SNMP監視トラップポート (プリンターの監視と管理)	OUT
389	389	389	LDAPサーバーのポート (非SSL)	OUT
515	515	515	lpr/lpdプリンタースプーラー	BOTH
544	544	544	RSHD	IN
631	631	631	IPP (インターネットプリンティングプロトコル) : IPP ゲートウェイ	BOTH
636	636	636	LDAPサーバーのポート (SSL)	OUT
2192	2192	2192	ライセンスデーモン/サーバー	BOTH ローカルのみ
N/A	N/A	2193	InfoPrint Manager DPF	IN
2194	2194	2194	InfoPrint Manager LDAPキャッシングサービス	IN
5001	5001	5001	IPDSプリンターポート (PSF TCP/IPプリンターのデフォルト)	OUT
5002	5002	5002	IPDSプリンターポート (デュアルエンジンプリンターの最初のエンジン用)	OUT
5003	5003	5003	IPDSプリンターポート (デュアルエンジンプリンターの2番目のエンジン用)	OUT
5157	5157	5157	Selectの通知ウィンドウ	OUT
5511-5520	5511-5520	5511-5520	InfoPrint Managerサーバー間通信ポート (pdinitportsによって生成、fstshow -oで表示される)	BOTH
6874	6874	6874	InfoPrint Managerサーバー通信のデフォルト (PD_SOCKET)	IN
		6876-6877		

ポート IPM/ AIX	ポート IPM/ Linux	ポート IPM/ WIN	説明	ポートタイプ I/O
			 <p>1. ユーザー固有の値を使用してポートを設定できます。 2. 初期ポート。同じマシン上でpdserverを追加するには、一連のポートを追加する必要があります。</p>	
6875	6875	6875	GUI通知ポート	OUT
8200	8200	8200	通知サーバー	OUT
8250	8250	8250	apped変換デーモン (PDF変換デーモン)	BOTH
8251	8251	8251	ps2afpd変換デーモン (PostScriptおよびPDF変換デーモン)	BOTH
8252	8252	8252	ps2afpd変換デーモン (PostScriptおよびPDF変換デーモン)	BOTH
8253	8253	8253	pc12afpd変換デーモン	BOTH
8254	8254	8254	agspd1d変換デーモン	BOTH
9100	9100	9100	RAWプリンターPCL/PS (pioinfo、piorpdmのデフォルト)	OUT
9600	9600	9600	プリンター制御のプリンター共有 (非IPDSとも共有されているIPDSプリンター)	OUT
14080	14080	14080	Webアプリケーション用のHTTPポート (IPMNX、WEB GUI)	IN
14443	14443	14443	Webアプリケーション用のHTTPSポート (IPMNX、WEB GUI)	IN
14005	14005	14005	Webサーバーシャットダウンポート	BOTH ローカルのみ

InfoPrint Manager 変換機能ポート

ポート IPM/ AIX	ポート IPM/ Linux	ポート IPM/ WIN	説明	ポートタイプ I/O
NA	6984	6984	InfoPrint Manager変換機能	BOTH
NA	6985	6985	InfoPrint Manager変換機能	BOTH ローカルのみ
NA	6986	6986	InfoPrint Manager変換機能	BOTH

ポート IPM/ AIX	ポート IPM/ Linux	ポート IPM/ WIN	説明	ポートタイプ I/O
NA	6988- 6990	6988- 6990	InfoPrint Manager変換機能 計算ノード<N>はポート6988+<N>を使用します。	BOTH ローカルのみ
16080	16080	16080	InfoPrint Manager変換機能Webアプリケーション	IN

アクセシビリティ

リコーは、年齢や能力に関係なく、誰もが利用できる製品を提供することを目指しています。アクセシビリティの取り組みについては、次を参照してください。<http://jp.ricoh.com/accessibility/>

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能は、運動障害または視覚障害などの障害を持つユーザーが情報技術製品を快適に使用できるようにサポートします。

この製品のアクセシビリティ機能は、主に次のことを目標としています。

- スクリーンリーダーや画面拡大機能などの支援技術を使用できるようにする。
- マウスの代わりにキーボードを使用できるようにする。
- 音量、色、コントラスト、フォントサイズなどの属性を変更できるようにする。

また、製品のインフォメーションセンターおよび資料は、アクセシビリティに対応した形式で作られています。

キーボードナビゲーション

本製品は、Microsoft Windows標準のナビゲーションキーを使用しています。

用語集

この用語集では、InfoPrint Managerで使用される専門用語と略語を定義しています。

特殊文字

.Guidefaultsファイル

InfoPrint Manager GUIを使用している場合、InfoPrint Managerによってユーザーのホームディレクトリーに作成されるファイルです。InfoPrint Managerは、このファイルを使用し、モニター対象のサーバーと作業対象のウィンドウに関する情報の保存と参照を行います。

A

Access Control List (アクセス制御リスト)

コンピューターセキュリティで、1つのオブジェクトに対するすべてのアクセス権の集合です。

ACL

Access Control List (アクセス制御リスト) の略です。

ACLエディター

コマンド行インターフェースを使用すると、ACLのアクセス可能なレコードの表示、追加、更新、削除ができます。

Action (アクション)

InfoPrint Manager GUIでは、InfoPrint Managerオブジェクトに対して実行できる操作を表すアイコンです。アクションをオブジェクト上でドラッグアンドドロップすると、そのオブジェクトの操作を開始できます。例えば、使用可能アクションを使って使用不可の実宛先を使用可能にできます。

Actual destination (実宛先)

InfoPrint Managerで、印刷または転送機能を実行する出力装置を表すオブジェクトです。「*Email destination (Eメール宛先)*」、「*Physical printer (物理プリンター)*」、「*Printer device (プリンター)*」も参照してください。「*Logical destination (論理宛先)*」と対比します。

Additive color system (加色混合)

適切な量の赤、緑、青の光 (加色混合の原色) を混合 (追加) することにより、イメージを再生するシステムです。これらの3色を使用して直接光や透過光などの他のすべての色を生成します。これらの原色を互いに重ね合わせると、白色の光になります。*Subtractive color system (減色混合システム)* と対比します。

Administrator (管理者)

InfoPrint Managerで、印刷システムのコンポーネント (サーバーや実宛先など) を作成および管理する人です。デフォルトでは、InfoPrint Managerは、InfoPrint Managerの一部の操作を実行する権限と、オペレーターやジョブの実行依頼者が使用できない特定の情報にアクセスする権限を管理者に付与します。

Adobe Acrobat

Adobe社のソフトウェアプログラムです。これを利用することで、コンピューターのプラットフォームに依存せずに、Adobe社専用形式の文書に簡単にアクセスできます。Adobe Acrobat Readerを使用し、すべてのPortable Document Format (.pdf) ファイルの表示、ナビゲート、印刷、提供ができます。

Adobe PostScript Raster to Image Transform (RIP)

Raster image processor / RIP (ラスターイメージプロセッサ) を参照してください。

ADSM/6000

Advanced Distributed Storage Managerの略です。

Advanced Distributed Storage Manager (ADSM/6000)

アーカイブしたファイルの記憶管理を行うプログラムです。

Advanced Function Common Control Unit (AFCCU) の略です。

RISCベース制御装置で、AFCCUを使用するすべてのプリンターに共通のコードを持ちます。

Advanced Function Presentation (AFP)

ユーザーアプリケーションとともに、全点アドレス可能概念を使用して多様なプリンターでデータを印刷、または多様なディスプレイ装置上にデータを表示する1組のライセンスプログラムです。AFPには、情報の作成、形式、アーカイブ、検索、表示、配布、印刷が含まれます。

Advanced Function Presentationデータストリーム (AFPデータストリーム)

AFPデータの印刷に使用されるプリンターデータストリームです。AFPデータストリームには、オペレーティングシステムからプリンターにダウンロードされる合成テキスト、ページセグメント、電子オーバーレイ、書式定義、フォントが含まれます。

AFP環境で処理される印刷環境データストリームです。AFPデータストリームには、MO:DCA-Pベースのデータストリームがあります。

Advanced Interface Exective (拡張対話式エグゼクティブ)

pSeriesコンピューターで使用されるオペレーティングシステム。AIXオペレーティングシステムは、UNIXオペレーティングシステムをIBMが導入したものです。

AFCCU

Advanced Function Common Control Unitの略です。

AFP

Advanced Function Presentationの略です。

AFPデータストリーム

Advanced Function Presentationデータストリームです。

ainbe

プリンターにジョブを送信するためにPSF DSSが使用するプリンター入出力バックエンドプログラムです。ジョブの入力データストリームによって、バックエンドプログラムがジョブをプリンターに送信する前に、PSF DSSによってジョブのデータストリームが変換される場合があります。

AIX

Advanced Interface Exective (拡張対話式エグゼクティブ) の略です。

AIX 接続プリンター

ネットワークを使用して、またはシリアルポートかパラレルポートを使用してpSeriesコンピューターに接続されたプリンターです。AIX印刷キューからジョブを受け取りません。

InfoPrint Manager では、AIX 接続プリンターを表す PSF 物理プリンター。「直接接続 Printer (プリンター)」、「TCP/IP 接続Printer (プリンター)」、「Upload-TCP/IP-attached printer (アップロードTCP/IP接続プリンター)」も参照してください。

AIX 宛先サポートシステム

InfoPrint Managerでは、ジョブを印刷するために、標準AIX印刷バックエンド(piobe)、またはrembak印刷バックエンドが変化したものと通信する宛先サポートシステムです。

AIX physical printer (AIX物理プリンター)

InfoPrint Managerでは、AIX宛先サポートシステムを使用するプリンターを表すオブジェクトです。

Aliasing (エイリアシング)

デジタル化したイメージで、細かく区切った水平線と垂直線を組み合わせることにより、必要とする線に最も近い対角線を作成することです。

All-points-addressability (全点アドレス可能)

紙面または表示メディアの印刷可能域で定義された任意のポイントに、テキストや、オーバーレイ、イメージなどのアドレッシングや、参照、位置決めを行う機能です。

Alphameric (英数文字)

alphanumeric (英数字) の同義語です。

Alphanumeric (英数字)

文字や、数字、その他の記号 (句読記号など) を含む文字のセットです。
Alphameric (英数文字) の同義語です。

AMPV

Average monthly print volume (1か月当たりの平均印刷ボリューム) の略です。

Analog (アナログ)

写真素材を一様で、スムーズに変換する2点間の情報の連続的な変数サンプリングです。

Analog color proof (アナログカラー校正)

分離フィルムから作成された、印刷機を使用しないカラー校正です。

Anti-aliasing (アンチエイリアシング)

輪郭のはっきりしたオブジェクトのレンダリングを実行し、背景がそれに透けて見えるようにすることです。

エイリアシングによってコンピューターの画面上に作成された対角線の、のこぎり状になった「階段」品質を削除することです。この削除処理は、対角線に平行して濃度の低い陰影フィールドが作成されていると影響を受けます。

APA

all-points-addressability (全点アドレス可能) の略です。

API

Application Program Interface (アプリケーションプログラムインターフェース) の略です。

Application Program Interface (アプリケーションプログラムインターフェース)

クライアントプログラムと、仕様の定義どおりに印刷システムを使用する手順との間の呼び出しインターフェースです。クライアントはAPIを使用してサーバーへアクセスします。(P)

Architecture (アーキテクチャー)

テキスト、イメージ、グラフィックス、フォント、カラー、オーディオ、バーコード、マルチメディアなどのデータタイプの作成と制御を規定する一連のルールと規則です。

Archiving (アーカイブ)

デジタル情報をオンラインシステムからオフライン記憶用のさまざまなメディアに転送することです。転送元のコピーは、オンラインシステムから削除されます。取得も参照してください。

Array inkjet (アレイインクジェット)

インクジェットプリンターで使用される印刷ヘッドを複数個並べた集合です。

ASCII

American National Standard Code for Information Exchange (情報交換用米国標準コード) の略です。7ビット (パリティチェックを含めると8ビット) のコード化文字セットを使用した標準文字コードです。ASCIIコードは、データ処理システム、データ通信システム、および関連機器間の情報交換に使用されます。ASCII文字セットは、制御キャラクターとグラフィックキャラクターを組み込んでいます。

Asynchronous (非同期)

通常のタイミング信号などの特定のイベント発生に依存しない複数のプロセスがある場合は、このようなプロセスを「非同期」と言います。(T)

InfoPrint Managerでは、特定のアクションとの間の規則的または予測可能な時間的關係なしに発生する性質を指します。「*Synchronous* (同期)」と対比します。

Attachment type (接続タイプ)

プリンターがデータを受信するAIXシステムに接続される方式を定義します。*AIX-attached printer* (AIX接続プリンター)、*Direct-attached printer* (直接接続プリンター)、*TCP/IP 接続Printer* (プリンター)、*Upload-TCP/IP-attached printer* (アップロードTCP/IP接続プリンター) も参照してください。

Attribute (属性)

ジョブに必要な部数や宛先が使用できる文書形式など、1つのオブジェクトについて定義された特性です。

Attribute name (属性名)

属性を識別する文字列です。通常、InfoPrint Managerの属性名はハイフンで区切った複数の文字から構成されます。

Attribute value (属性値)

属性と関連した特性を指定するその属性の要素です。

Authorization (認証)

コンピューターセキュリティーで、オブジェクトにアクセスするユーザーが適格かどうかを確認する作業です。

Authorized user (許可ユーザー)

オブジェクトにアクセス、またはコマンドを実行する適切な許可を持っている担当者です。

Automatic recovery (自動リカバリー)

ジョブが誤植または損傷したり、コンポーネントが故障した場合に、プリンターがそのジョブを再印刷できるようにするためのプリンターのロジックの1つの機能です。

Auxiliary sheet (補助シート)

InfoPrint Managerでは、ジョブの前、ジョブ内の文書の間、ジョブの後に置くことができる特定の用紙（空白または空白でない用紙）を表すオブジェクトです。

Auxiliary-sheet selections (補助シートの選択)

特定のプリンター上でジョブとともに印刷されるスタートシート、セパレーターシート、エンドシートの特定の組み合わせです。

B

Backend (バックエンド)

AIXまたはLinuxにおいて、印刷ジョブまたはバッチジョブを実行するために、`qdaemon`プロセス(AIX)またはCUPS印刷システム(Linux)によって呼び出されるプログラムです。「*Backend program* (バックエンドプログラム)」の同義語です。

Backend program (バックエンドプログラム)

Backend (バックエンド) の同義語です。

Backlog (バックログ)

InfoPrint Managerでは、現在キューに入っているすべてのジョブの印刷に必要な時間をInfoPrint Managerが計算したものです。

Backspace (後送り)

InfoPrint Managerでは、前に戻ってジョブにあるページを再印刷するアクションです。

Barcode (バーコード)

太さと間隔が多様な平行な棒の集合で文字を表すコードです。光学的方法で横断的にスキャンして読み取ります。

並列に配置された長方形のバーやスペースの配列で、これらが合わさって特定の記号論でデータ要素や文字を表現します。バーとスペースは、記号論によって定義された明確な規則に従い、あらかじめ定められたパターンに配列されます。

BCOCA

Bar Code Object Content Architecture (バーコードオブジェクトコンテンツアーキテクチャ) の略です。

Bezier curves (ベジェ曲線)

アンカーポイント、制御ハンドル、接線を使って曲線を定義する方法です。PostScriptの経路はアンカーポイントを通して移動します。アンカーポイントの進む方向は、制御ハンドルによって制御される接線に沿ったものになります。多くのPCプログラムではこの描画方式が使用されています。Type 1のPostScriptフォントはベジェ曲線を使用して定義されます。

Binding (バインディング)

本をとじる表紙と材料を指します。版とじ、無線とじ、ら旋とじ、二重ら旋とじを参照してください。

製本を提供するための処理です。

InfoPrint Managerでは、実宛先にジョブを割り当てることです。早期バインディング、実行時バインディングを参照してください。

Bitmapped (ビットマップ)

ピクセルの長方形格子で形成されるイメージです。各ピクセルには、そのカラーを表示するための値が割り当てられます。1ビットイメージはモノクロ、8ビットイメージは256色（またはグレースケール）、24ビットイメージはフルカラーになります。CMYKイメージは32ビット/ピクセルとなっており、4つのチャンネルのそれぞれを256階調にコード化します。ビットマップイメージはラスターイメージとも呼ばれます。

Bleed (ブリード)

印刷したイメージの断裁端からはみ出た余分の部分です。ブリードがあると、用紙の端に白いすき間が生じなくなります。

Boot (ブート)

オペレーティングシステムをロードし、コンピューター操作の準備を行うことです。

BSD

Berkeley Software Distribution (バークレーソフトウェアディストリビューション) の略です。

BSD destination support system (BSD宛先サポートシステム)

InfoPrint Managerでは、シェルが印刷ジョブに対して実行する、印刷コマンド文字列を生成する宛先サポートシステムです。

BSD physical printer (BSD物理プリンター)

InfoPrint Managerでは、BSD宛先サポートシステムが使用するプリンターを表すオブジェクトです。

Burn (焼き付け)

製版においては、露光または露出を意味します。「焼き付け」という用語は、フィルムから原版へのイメージ転写に使用する高輝度なランプに由来します。

写真術においては、印画の最終的な濃度を上げるために、露光時間を長くすることです。

C

CDE

Common Desktop Environment (共通デスクトップ環境) の略です。

Child (子)

Parent/child relationship (親子関係) を参照してください。

Choke (チョーク)

カラー印刷において、別のカラーのオーバーラップを避けるために大きさが削減された領域です。*Spread* (スプレッド) と対比します。

Class (クラス)

Object class (オブジェクトクラス) の同義語です。

Clean (クリーン)

InfoPrint Managerでは、指定されたサーバー、実宛先、またはキューからすべてのジョブを削除するか、指定された論理宛先へ渡されたすべてのジョブを削除するために使用されるアクションです。

CLI

Command Line Interface (コマンド行インターフェース) の略です。

Client (クライアント)

InfoPrint Manager において、印刷要求を作成してサーバーへ要求を実行依頼する印刷システムのコンポーネントです。クライアントは、ジョブのローカルID番号を生成してジョブをサーバーへ渡し、ユーザーのジョブが渡された場所を記録します。

CMR

Color Management Resource (カラー管理リソース) の略です。

CMY

Cyan (シアン)、Magenta (マゼンタ)、Yellow (イエロー) を指します。

CMYK

Cyan (シアン)、Magenta (マゼンタ)、Yellow (イエロー)、Black (ブラック) を指します。

Collator (コレクター)

一部のプリンターで、RIP処理済みファイルを保存し、その後でそれをイメージ用LED印刷ヘッドの変換に使用される、特殊な目的のハードディスクのディスクアレイです。

Color balance (カラーバランス)

元のイメージの正確なカラー表現をつくり出すために、イメージにおけるシアン、マゼンタ、イエローのチャンネルの相対レベルを指します。

Color correction (カラー補正)

オリジナルのイメージを正確なカラーで演出するためにイメージ内でカラーバランスを調整することです。カラー補正は、2色または3色のスポットカラーによるジョブで使用します。

Color key (カラーキー)

Cromalinに類似していますがラミネート処理されておらず、色も正確である必要はない色校正です。カラーキーを使用し、切れ目がないかどうかや、色の割り当てやトランプが正しく処理されているかを確認します。

Color management resource (カラー管理リソース)

カラー管理リソース(CMR)は設計されたリソースであり、印刷ファイル、文書、ページかシートのグループ、ページ、またはカラーの正確性を持つデータオブジェクトのレンダリングに必要なカラー管理情報をすべて保持するために使用されます。

Command Line Interface (コマンド行インターフェース)

コマンドがコマンド行で指定されるタイプのユーザーインターフェースです。
Graphical User Interface (グラフィカルユーザーインターフェース) と対比します。

Common Desktop Environment (共通デスクトップ環境)

UNIXオペレーティングシステムで稼働するグラフィカルユーザーインターフェースです。

Complex attribute (複合属性)

InfoPrint Managerでは、複数の値を持つことができる属性です。各値には複数のコンポーネントが含まれます。

Constant data (定数データ)

文書のコピー間で変化せず、カスタム設定の文書を作成するために変数データと組み合わせられるデータです。たとえば、定形文のレター (定数データ) をお客様の名前や住所などの変数データと組み合わせることができます。

Contextual help (コンテキストヘルプ)

オンラインヘルプの一種で、ウィンドウ内の選択可能なオブジェクト、メニュー項目、タブ、フィールド、コントロール、プッシュボタンに関する詳しい情報を提供します。

Control strip (コントロールストリップ)

印刷ジョブに追加でき、登録数と濃度の測定に使用されるストリップ情報です。

Cromalin

Dupont社の色校正システムです。4層(CMYK)の感光材を最終ハーフトーンネガフィルムに通して露光させた後、半透明バックイングのラミネート加工することで、色とトランプの制度が高い最終校正刷りを製造して実際のハーフトーンドット構造を示します。Cromalinはアナログ校正刷りとも呼ばれます。

Crop (トリミング)

画像から不要な部分を取り除くこと。通常、オリジナルにはクロップマークが表示されます。

CTS

Cutter-trimmer-stacker (カッター、トリマー、スタッカー) の略です。

CUPS

Common Unix Printing Systemは、コンピューターを印刷サーバーとして動作させることができるUnix系コンピューターオペレーティングシステム用のモジュール式印刷システムです。CUPSが動作するコンピューターは、クライアントコンピューターから印刷ジョブを受け取り、それを処理し、適切なプリンターに送信することができるホストとなります。

CUPS destination support system (CUPS宛先サポートシステム)

InfoPrint Managerでは、Linux標準の印刷システム (CUPS) と通信し、**pioinfo**バックエンド、Ricoh製プリンター用の InfoPrint Manager **pioinfo** backend、InfoPrint Manager **pioipdm**バックエンド、またはその他の印刷バックエンドを使用してジョブを印刷する宛先サポートシステムです。

Cutter-trimmer-stacker (CTS) (カッター、トリマー、スタッカー)

プリンター装置に接続される後処理装置で、用紙の処理に使用されます。

Cyan, magenta, yellow (シアン、マゼンタ、イエロー)

減法原色です。

Cyan, magenta, yellow, black (シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック)

光の3つの基本色 (赤色、緑色、青色) に対し、オフセット印刷に使用する4つの基本色です。マゼンタ、イエロー、シアンは減色される基本色です。ブラックは濃度を高めたり、純粋な黒色を生成するために追加されます。

D

Daemon (デーモン)

標準サービスを実行するためにユーザーの操作なしに実行されるプログラムです。自動的に起動されてタスクを実行するデーモンと、定期的に実行されるデーモンがあります。一般に、デーモンプロセスはプリンターへのデータを送るなどの常時使用可能になっているべきサービスを複数のタスクまたはユーザーに提供する。

Data stream (データストリーム)

データリンクを経由で送信されるすべての情報 (データと制御コマンド) です。

定義済みの形式を持つ連続したデータの流れです。

InfoPrint Manager では、ジョブの入力形式とプリンターが必要とする出力形式に関連して使われます。InfoPrint Manager は、必要に応じて入力形式を出力形式に変換します。文書形式も参照してください。

Deadline (締切)

InfoPrint Managerでは、キューイング技法の1つです。締切が最も近いジョブがキューの先頭に割り当てられます。「*FIFO* (先入れ先出し)」、「*Job-priority* (ジョブ優先順位)」、「*Longest-job-first* (最大ジョブ先出し)」、「*Shortest-job-first* (最小ジョブ先出し)」と対比します。

Default document (デフォルト文書)

InfoPrint Managerでは、ジョブ内の文書のデフォルト属性値を表すオブジェクトです。「*Initial value document* (初期値文書)」の同義語です。

Default job (デフォルトジョブ)

InfoPrint Managerでは、ジョブのデフォルト属性値を表すオブジェクトです。「*Initial value job* (初期値ジョブ)」の同義語です。

Default object (デフォルトオブジェクト)

InfoPrint Managerでは、「デフォルト文書」または「デフォルトジョブ」を指す一般的な用語です。「*Initial value object* (初期値オブジェクト)」の同義語です。

Default value (デフォルト値)

システム内に保存されている値で、他の値が指定されなかった場合に使用されます。

Delete (削除)

InfoPrint Managerでは、デフォルトのオブジェクト、ジョブ、論理宛先、実宛先、またはキューをサーバーから削除するアクションです。

Desktop publishing (デスクトップパブリッシング)

印刷関連の作業をパーソナルコンピュータで行うことを表す一般用語です。この種の作業には、限定されるわけではありませんが、レイアウト、デザイン、写真の操作、フォントの作成、テキストの編集、色分解、スキャン、アニメーションが含まれます。

Destination (宛先)

Actual destination (実宛先)、*Logical destination* (論理宛先) を参照してください。

Destination support system (宛先サポートシステム) (**DSS**)

InfoPrint Managerでは、出力装置と通信するために実宛先が使用するプログラムです。「*Device support system* (装置サポートシステム)」の同義語です。「*AIX destination support system* (AIX宛先サポートシステム)」、「*BSD destination support system* (BSD宛先サポートシステム)」、「*Email destination support system* (Eメール宛先サポートシステム)」、「*PSF destination support system* (PSF宛先サポートシステム)」を参照してください。

Device (装置)

プリンター装置など、コンピューターに接続される機器 (ハードウェア) の個別の部分を指します。

Device address (装置アドレス)

チャンネルと装置番号による入力または出力装置の識別に使用します。

Device driver (デバイスドライバー)

プリンター、ディスクドライブ、ディスプレイなど、特定のデバイスと通信するファイルです。デバイスへ出力を送るアプリケーションは、デバイスドライバーを使用してデバイスのアクションを制御します。*Printer driver* (プリンタードライバー) を参照してください。

Device support system (装置サポートシステム)

Destination support システム (宛先サポートシステム) の同義語です。

DFE

Digital Front End (デジタルフロントエンド)

DFE宛先サポートシステム

InfoPrint Managerでは、Ricohプリンターを駆動するDFEプリントサーバーと通信する宛先サポートシステムです。

DFEプリンター

InfoPrint Managerでは、Ricohプリンターを駆動するDFEプリントサーバーを表すオブジェクトです。

Digital (デジタル)

数字で表されるデータで、特殊文字や空白文字を含むこともあります。

Digital color proof (デジタルカラー校正)

コンピューターに接続したカラープリンターによる印刷機を使用しない色校正です。

Digital printing (デジタル印刷)

フィルムや原板を使用しない印刷処理です。この処理では、各ページのデジタルデータが感光ドラムに直接転送された後、最終イメージが用紙に転写されます。

Direct-attached printer (直接接続プリンター)

ネットワークを使用し、またはシリアルポートかパラレルポートを使用してpSeriesコンピューターに接続されたプリンターです。

InfoPrint Managerでは、チャンネル接続プリンターを表すPSF物理プリンターです。

「AIX-attached printer (AIX接続プリンター)」、「TCP/IP 接続Printer (プリンター)」、「Upload-TCP/IP-attached printer (アップロードTCP/IP接続プリンター)」も参照してください。

Disable (使用不可)

InfoPrint Managerでは、宛先、キュー、またはサーバーで印刷ジョブの受信を停止するか、ログへの情報の書き込みを停止するアクションです。

Distributed print system (分散印刷システム)

印刷要求を出したシステムから別システムでデータを印刷する目的で、異なるコンピューター環境間で印刷データとその制御を交換する機能を持つコンピューターシステムです。たとえば、ホストからLANへの分散印刷では、ホスト上にあるデータがローカルエリアネットワークに接続されたプリンターで印刷されます。

Dithering (ディザリング)

2つのピクセルの間を、その2つの平均値を持つ別のピクセルで満たしていく技法です。違いを最小化、または細部を追加して、結果の平滑化に使用されます。

Document (文書)

InfoPrint Managerでは、ジョブのデータグループを表すオブジェクトです。1つのジョブに複数の文書を組み込むことができます。ジョブ内の文書はそれぞれ違いを持たせることができます。たとえば、文書に異なるデータを入れたり、異なる文書形式を設定できます。ジョブ内にある文書には、印刷可能データのほか、それ自体は印刷可能でないリソースを含めることができます。*File-reference document* (ファイル参照文書)、*Printable document* (印刷可能文書)、*Resource document* (リソース文書)を参照してください。

Document element (文書要素)

サイズが1ページ以上の文書の部分を指します。

Document format (文書形式)

InfoPrint Managerでは、文書形式とは、行データやPostScriptなど、文書内のデータ文字と制御文字のタイプを記述したものです。データの形式によって、どのプリンターがその文書を印刷できるか、InfoPrint Managerがその形式を変換する必要があるかどうか決定されます。

Document identifier (文書ID)

ジョブの文書を識別する文字列です。ジョブIDの後にピリオド(.)と文書順序番号を続けたもので構成されます。たとえば、12.2。文書順序番号は1から始まる整数です。

Document Printing Application (DPA)

分散オープンシステム環境のユーザーが、地理的に分散した共用プリンターへ電子文書を送ることができるような文書処理に関するISO/IEC 10175規格です。InfoPrint ManagerはDPA規格をサポートしています。

Document transfer method (文書転送方式)

InfoPrint Managerでは、転送方式とは、文書をサーバーとの間で送受信する方法を記述したものです。*pipe-pull*および*with-request*を参照してください。

Document type (文書タイプ)

InfoPrint Managerでは、文書タイプとは、文書内のデータの種別を記述したものです。「*Printable document (印刷可能文書)*」には、印刷可能データのみを含めることができます。「*Resource document (印刷リソース文書)*」には、フォント定義や書式定義など、印刷可能でないデータのみを含めることができます。「*File reference document (ファイル参照文書)*」には別々の行に入力されたファイル名のみを含めることができます。

Dot (ドット)

ハーフトーンの個別要素です。

Dot gain (ドットゲイン)

インクの拡散が原因で、ハーフトーンドットのサイズが印刷時に大きくなることを指します。一般に、この値は正確に知ることができるので、スキャンとフィルム作成の工程で、補正するための調整が行われます。Cromalin色校正システムはこの影響をシミュレートします。

Dots per inch (ドット/インチ)

距離単体あたりのデータ密度の単位です。デスクトップパブリッシング用の代表的な値の範囲は、200～300 dpiです。

DPA

Document Printing Application (文書印刷アプリケーション) の略です。

DPF

Distributed Print Facility (分散型印刷設備) の略です。

dpi

Dots per inch (ドット/インチ) の略です。

Drag and drop (ドラッグアンドドロップ)

グラフィカルユーザーインターフェースでは、アクションとタスクを実行する手順の1つです。マウスを使用し、アクションアイコンまたはオブジェクトアイコンをそのアクションまたはタスクを実行する新しい位置までドラッグ (移動) することです。

DSS

Destination support system (宛先サポートシステム) の略です。

Dummy (ダミー)

予想される最終印刷物を大まかな貼り込み紙や手書きで表現したものです。ダミーは、基本デザインやページ編集に使用されます。

Duplex printing (両面印刷)

用紙の両面に印刷することです。*Simplex printing* (片面印刷) (1)と対比します。

用紙の両面に印刷し、先頭と先頭が合うように出力イメージを配置します。このためイメージの先頭の位置は、どのページでも同じになります。*Tumble duplex printing* (反転両面印刷)とも対比します。*Simplex printing* (片面印刷) (2)も参照してください。

E

Early binding (早期バインディング)

InfoPrint Managerでは、ジョブを受け取るとすぐに宛先にジョブを割り当てることです。早期バインディングにより、InfoPrint Managerがジョブ完了の時刻を予測できます。「*Late binding* (実行時バインディング)」と対比します。

Edition binding (版とじ)

印刷された用紙が16ページまたは32ページの折り込まれる製本のタイプです。最初と最後の折り丁の外側に、4ページの見返しが貼り付けられます。折り丁はその後、マシンでソートされ、特殊なマシンを使用して綴じられます。*Perfect binding* (無線とじ)、*Spiral binding* (ら旋とじ)、*Wire-o binding* (二重ら旋とじ)と対比します。

Electronic document (電子文書)

紙に印刷される代わりに、コンピューター上に保存される文書です。

Electronic mail (電子メール)

ネットワーク上のワークステーション間で送信されるメッセージ形態での通信です。*Email* (Eメール) の同義語です。

Electrophotographic (電子写真)

紙にイメージを作成する印刷技法の一種です。この方法では、光伝導体を均等に帯電させ、光伝導体上に電気的なイメージを作成し、マイナス帯電したトナーを光伝導体の放電された部分に引き寄せ、そのトナーを用紙に転写して融着させます。

em

組版において、設定されたフォントのポイントサイズと幅、高さが一致する単位です。この名前は、初期の活字書体における「M」という文字が一般に正方形に鋳造されていた事実に由来しています。

Eメール

Electronic mail (電子メール/Eメール) の略です。

Email destination (Eメール宛先)

InfoPrint Managerでは、Eメールシステムを表す宛先です。

Email destination support system (Eメール宛先サポートシステム)

InfoPrint Managerでは、Eメール宛先をサポートする宛先サポートシステムです。

embellishments (装飾データ)

集められたすべてのページに追加する変数データのこと、その単位が全体としてまとまって見えるようにします。たとえば、ヘッダー、フッター、目次、章の区切りページなどがあります。

en

組版において、emのちょうど半分を指します。

Enable (使用可能)

InfoPrint Managerでは、宛先、キューまたはサーバーがジョブを受け入れ可能となるか、ログが情報の受け入れ可能となるアクションを指します。

End sheet (エンドシート)

ジョブの直後に配置できる用紙（白紙の場合もそうでない場合もあります）です。*Auxiliary sheet*（補助シート）も参照してください。

Enhanced X-Windows (拡張X Windowシステム)

仮想端末上に表示された複数のウィンドウ内で複数のアプリケーションプロセスを実行できるように設計されたツールです。*X-Windows*を参照してください。

Environment variable (環境変数)

オペレーティングシステムの実行方法と、オペレーティングシステムが認識するデバイスを記述した任意の数の変数です。

Error log (エラーログ)

後でアクセスするためにエラー情報が保存される製品またはシステム内のデータセットまたはデータファイルです。

Estimate (見積もり)

印刷ジョブに対するお客様の価格見積もり要求に答えて、印刷ショップによって行われる専門的なコスト分析です。

event (イベント)

InfoPrint Managerでは、たとえば、コマンドの完了など、操作中に印刷システム内で発生することを指します。

event log (イベントログ)

InfoPrint Managerでは、発生したイベントに関するメッセージの集合です。

Event notification (イベント通知)

イベントに関してInfoPrint Managerによって送信される通知です。

F

Federated Authentication (フェデレーション認証)

外部のIDプロバイダー (IdP) に依存して、InfoPrint Managerへのセキュアなアクセスをユーザーに付与する技術。InfoPrint Managerシステム内でユーザー認証情報を個別に管理する代わりに、フェデレーション認証を使用すると、ユーザーは信頼できるサードパーティーサービスの既存のアカウントを使ってログインできます。

FIFO (先入れ先出し法)

InfoPrint Manager におけるキューイング技法の 1 つ。最も長い時間キューの先頭に割り当てられ、次に取り出される。InfoPrint Manager は、受け取った順にジョブを処理します。締切、ジョブ優先順位、最大ジョブ先出し、および最小ジョブ先出しと対比します。

File-reference document (ファイル参照文書)

InfoPrint Manager では、その他のファイル名が入っているファイルを指します。ファイル名は別々の行に入力する必要があります。このファイルは、ジョブ実行依頼者が `file-reference` の文書タイプを指定したときに印刷用に渡されます。InfoPrint Manager は、参照文書の中に記載されたファイルを印刷します。

File Transfer Protocol (FTP) (ファイル転送プロトコル)

TCP/IP で、ホストコンピューターとの間のデータ転送と、間接的な外部ホストの使用を可能にするアプリケーションプロトコルです。

Finisher (フィニッシャー)

プリンターに接続されたハードウェアです。印刷されたページを折りたたむ、またはステープルなどを行います。

Finishing (フィニッシング、仕上げ)

印刷ショップにおける印刷物への最終的な作業です。「ステープル」、「トリミング」、「パンチ」、「折り」、「エンボス加工」、「ワニス仕上げ」、「背固め」、「収縮包装」、「ミシン目」、「ラミネート処理」、「丁合」などがあります。

flag (フラグ)

コマンドの修飾子です。コマンドのアクションを指定します。通常は、フラグの前にハイフンが入れられます。「*option* (オプション)」と同義語です。「*Keyword* (キーワード)」も参照してください。

FOCA

Font object content architecture (フォントオブジェクトコンテンツアーキテクチャー) の略です。

Folder (フォルダー)

InfoPrint Manager GUI では、類似した一連のオブジェクトを入れるコンテナを表すオブジェクトです。たとえば、「保持ジョブ」フォルダーには保持するジョブを保存します。

Font (フォント)

提供されたサイズとスタイルを備えた文字のセットです。たとえば、9ポイントの Helvetica があります。

特定のタイプセットにおける1つのサイズ、または1つの書体 (文字、数字、句読点、特殊文字、合字など) です。

文字セットとコードページを組み合わせて、テキスト文字列の印刷で一緒に使用できるようにしたものです。2バイトフォントは、文字セットとコードページの複数のペアから構成できます。

Form definition (書式定義)

用紙または印刷メディアの特性を定義した、InfoPrint Manager が使用するリソースオブジェクトです。使用するオーバーレイ、給紙ユニット (カット紙プリンターの場合

合)、両面印刷、テキスト抑止、合成テキストデータの用紙上の位置などがあります。

Forward space (前送り)

InfoPrint Managerでは、ジョブの印刷を指定されたページ数分スキップするアクションです。

FPO

最終イメージを表すためにダミーに配置される、低品質のイメージ(ときに写真)です。デスクトップパブリッシングソフトウェアは、イメージを表示画面の解像度のFPOとして配置します。

Front panel (フロントパネル)

CDEでは、実行可能な様々なタスクを表すコントロールとワークスペーススイッチを含むワークスペース領域を指します。

FST

Files and Sockets Transport (ファイルとソケットトランスポート)は、InfoPrint Managerのローカルセキュリティー実装です。ユーザー資格情報にローカルなネームスペースを使用しており、ライトウェイトセキュリティープロトコルです。

FTP

File Transfer Protocol (ファイル転送プロトコル)の略です。

G

GCR

Gray component replacement (グレーコンポーネントの置き換え)の略です。

GIF

Graphics Interchange Format (グラフィック交換形式)の略です。

Global change (一括変更)

InfoPrint Manager GUIでは、いくつかのオブジェクトに入っている複数の属性に一度に変更を加えるアクションです。同じオブジェクトクラスの複数のオブジェクトに対し、同時に同じアクションを実行することもできます。同じオブジェクトクラスの複数のオブジェクトに、同じアクションを実行することもできます。たとえば、複数の宛先を同時に使用不可にします。

Global character (グローバル文字)

検索文字列内にある未知の数の文字セットを指定するために使用される文字です。InfoPrint Managerでは、グローバル文字はアスタリスク(*)で表されます。

Global ID (グローバルID)

Global job identifier (グローバルジョブID)の略です。

Global job identifier (グローバルジョブID)

固有のジョブIDです。InfoPrint Managerでは、ジョブを管理するサーバーの名前の後に、コロン(:)と生成された整数を付けて表示されます。このIDによって、InfoPrint Managerサーバー内のジョブが固有のものとして識別されます。

Glyph (絵文字)

イメージフォント (通常は文字) です。

GOCA

Graphics object content architecture (グラフィックスオブジェクトコンテンツアーキテクチャー) の略です。

Graphic character (図形文字)

制御文字以外の文字の視覚的表現です。通常は書き込み、印刷、表示を行うことによって作成されます。

Graphical User Interface (グラフィカルユーザーインターフェース)

高解像度モニターを利用したり、図形を組み合わせたりすることでオブジェクト操作の共通パターンを実行し、ポインティングデバイス、メニューバー、重複できるウィンドウ、アイコンを使用するタイプのユーザーインターフェースです。 *Command Line Interface* (コマンド行インターフェース) と対比します。

Graphics Interchange Format (グラフィック交換形式)

インターネット上で広く使われている圧縮グラフィックス形式です。

Gray component replacement (グレーコンポーネントの置き換え)

Under color removal (下色除去) の同義語です。

Gray scale (グレースケール)

白色から黒色までの範囲の、標準グレーの色調を示すストリップです。原稿コピーの横に配置され、取得した色合いの範囲とコントラストを測るのに使用されます。

GUI

Graphical User Interface (グラフィカルユーザーインターフェース) の略です。

Gutter (ノド)

印刷区域から縁までの空白域または内側の余白です。

H

Halftone (ハーフトーン)

長方形の格子に展開されたさまざまなサイズのドットを使用し、連続した色調のシェーディングをシミュレートする印刷技法です。大きなドットは暗いトーンをシミュレートし、小さなドットは明るいトーンをシミュレートします。通常の格子前送りと後送りは、85行/inch (lpi) (新聞と同等の品質)、133 lpi (低品質)、150 lpi (中間品質)、175以上lpi (高品質) となります。

Help (ヘルプ)

InfoPrint Manager GUIでは、特定のテンプレート、オブジェクト、アクション、ボタン、コントロール、アプリケーションウィンドウ内のエリアに関するオンラインヘルプを表示するために使用されるオプションです。

オンラインヘルプへアクセスするために使用されるボタンの名前です。

Hold (保留)

job-hold属性によって決定される指示項目です。ジョブをキューに保持し、InfoPrint Managerがそのジョブをスケジュールしないようにします。

Host name (ホスト名)

ネットワーク上のデバイス (コンピューター、サーバー、ルーターなど) に割り当てられ、デバイスの識別に使用される一意のラベル。シンプルな名前 (*laptop-01* など)、または完全修飾ドメイン名 (FQDN) の一部 (*server.example.com* など) にすることができます。これにより、デバイスが相互に検索して通信できるようになります。

Hot folder (ホットフォルダー)

ユーザーがジョブをコピーし、印刷するために実行依頼するワークステーションディレクトリーです。

Hypertext (ハイパーテキスト)

ある情報と別の情報間の接続をオンラインで表示する方法です。それらの接続はハイパーテキストリンクと呼ばれます。*Hypertext link* (ハイパーテキストリンク) も参照してください。

Hypertext link (ハイパーテキストリンク)

ある情報と別の情報間の接続です。リンクを選択すると、対象情報が表示されます。

|

Icon (アイコン)

画面上に表示されるグラフィック記号です。ユーザーがクリックし、機能やソフトウェアアプリケーションを呼び出すことができます。

Image (イメージ)

1つのパターンで配列された、色調の有無が指定されたピクセルです。

Image data (イメージデータ)

イメージを定義するラスター情報の長方形配列です。

Imagesetter (イメージセッター)

アルゴン (緑色) レーザーを利用してデジタル入力によりフィルムに書き込みを行う、高解像度 (1270 dpi ~ 3600+ dpi) のプリンターです。イメージセッティングは、クロマリンのプルーフと製版の前の段階です。

Imposition (面付け)

最終的な断裁、折り、製本が正しい順序で行われるように、版下のページを配置する処理です。電子組版では、版下は RIP 時に自動的に組まれ、製版ですぐに使用できるよう形式設定されたフィルムが出力されます。

InfoPrint

印刷ショップのオフセット印刷機やコピー機を、高品質で非衝撃式の、モノクロまたはプロセスカラーのプリンターで補ったり置き換えたりすることができるハードウェア製品のソリューションです。

InfoPrint Manager

AIX、Linux、またはWindowsのオペレーティングシステム上で動作する印刷管理製品。InfoPrint Managerは印刷ジョブおよび関連リソースファイルのスケジューリング、アーカイブ、取得、およびアセンブリーを処理します。印刷された製品の仕上げおよび梱包の追跡も行います。

InfoPrint Manager Select

*InfoPrint Select*の同義語。

InfoPrint Manager Submit Express

*InfoPrint Submit Express*の同義語。

InfoPrint Network (InfoPrintネットワーク)

TCP/IPプロトコルで稼働するローカルエリアネットワークで、InfoPrint Managerがサーバーや、クライアント、出力装置間で通信するために使用されます。

InfoPrint Select

InfoPrint Managerのコンポーネントでは、使用しているシステムから、InfoPrint Managerによって管理される宛先にジョブを実行依頼して追跡できます。

InfoPrint Submit Express

InfoPrint Managerのコンポーネントです。これによりジョブチケット付きのジョブをWindowsワークステーションから実行依頼して追跡できます。

InfoPrint 4000

両面印刷、モノクロ、連続紙のプリンターで、600 dpiの解像度があります。

Initial value document (初期値文書)

Default document (デフォルト文書) の同義語です。

Initial value job (初期値ジョブ)

Default job (デフォルトジョブ) の同義語です。

Initial value object (初期値オブジェクト)

Default object (デフォルトオブジェクト) の同義語です。

Initially settable attribute (初期設定可能属性)

オブジェクトを作成するときには値を設定できても、その後で再設定や変更はできない属性です。*Resettable attribute* (設定可能属性) も参照してください。*Non-settable attribute* (設定不能属性) と対比します。

input focus (入力フォーカス)

キーボードまたはマウスからユーザーが対話できるウィンドウ区域です。

Input tray (給紙トレイ)

プリンターの場合、印刷出力先となるメディアを保留するコンテナです。

Intelligent Printer Data Stream (IPDS)

ユーザーがテキスト、イメージ、グラフィックスを印刷対象ページの定義済みの地点に配置することを可能にする、全点アドレス可能のデータストリームです。

ホストがIPDSプリンターに送信する情報です。通常、この情報には、基本形式設定、エラーリカバリー、文字データが入っており、プリンターでそれらを判断できます。

データ（テキスト、イメージ、グラフィックス、バーコードなど）とそのデータの表示方法を定義するデータと制御の両方が含まれている、ホスト/プリンター間の設計されたデータストリームです。IPDSは、全点アドレス可能(APA)プリンターを制御/管理するための装置独立のインターフェースを提供します。

International Organization for Standardization（国際標準化機構）

さまざまな国の国内規格制定団体からなる組織です。商品とサービスの国際的な交換を容易にする規格の開発を促進し、知的、科学、技術、経済の各活動における協力を進めるために設立されました。

Internet（インターネット）

産業、教育、行政、研究における数千もの分散したネットワークを接続した広域ネットワークです。インターネットのネットワークでは、情報送信のプロトコルとしてTCP/IPが使用されます。

Internet Protocol（インターネットプロトコル）

インターネット環境で、データを、発信元から宛先へ経路指定する方法を設定した規則のセットです。

Intervening jobs（ジョブ介入）

InfoPrint Managerでは、キュー内にあり、対象のジョブの前に印刷がスケジュールされキューに入っているジョブの数です。

IOCA

Image object content architecture（イメージオブジェクトコンテンツアーキテクチャー）の略です。

IP アドレス

IPv4またはIPv6のアドレスです。

IPDS

Intelligent Printer Data Stream（インテリジェントデータストリーム）の略です。

ISO

International Organization for Standardization（国際標準化機構）の略です。

J

Job（ジョブ）

InfoPrint Managerでは、1つまたは複数の文書を単一セッションでまとめて印刷または送信するための要求を表すオブジェクトです。ジョブには、印刷または送信されるデータとリソース（フォント、イメージ、オーバーレイなど）があります。ジョブの実行依頼方法によって、ジョブチケットが含まれる場合もあります。*Job bundle*（ジョブバンドル）と*Print job*（印刷ジョブ）の同義語です。

Job bundle（ジョブバンドル）

Job（ジョブ）の同義語です。

Job data（ジョブデータ）

直接、または参照によってジョブ内の文書を構成する、ページ記述、組み合わせデータ、装飾データです。

Job ID (ジョブID)

ジョブ実行依頼者、管理者、オペレーター、InfoPrint Managerにジョブを識別する、ローカルまたはグローバルなIDです。「*Local job identifier (ローカルジョブID)*」と「*Global job identifier (グローバルジョブID)*」を参照してください。

job-priority (ジョブ優先順位)

InfoPrint Managerにおけるキューイング技法の1つです。優先順位が最も高いジョブがキューの先頭に次のジョブとして割り当てられます。「*Deadline (締切)*」、「*FIFO (先入れ先出し)*」、「*Longest-job-first (最大ジョブ先出し)*」、「*Shortest-job-first (最小ジョブ先出し)*」と対比します。

Job submitter (ジョブ実行依頼者)

InfoPrint Managerでは、印刷のためのジョブの実行依頼をする人です。印刷データを生成するアプリケーションの保守担当者であるアプリケーションプログラマーが、ジョブの実行依頼者となることが多くあります。

Job ticket (ジョブチケット)

直接、または参照によって印刷ジョブを記述しているすべての変数を列挙している、ハードコピーまたは電子的なお客様の指示です。印刷ショップでは、ジョブチケットに仕様を追加することや、ハードコピーが必要な場合はチケットを印刷することもできます。

Joint Photographic Experts Group (JPEG)

インターネット上で広く使われている圧縮グラフィックス形式です。

JPEG

Joint Photographic Experts Groupの略です。

K

Kerning (カーニング)

植字において、2つの文字の相対的な間隔を調整することで、外観や読みやすさを改善することです。カーニングのペアは、相対的な間隔が組み込まれている特定の文字セットになります。活字書体の中には100のカーニングのペアを持つものもあります。

Keyword (キーワード)

パラメーターを識別する名前または記号です。

特定の文字ストリング (DSNAME=など) から成るコマンドオペランドの一部です。

Kitting (製本)

印刷ショップの環境では、完成した発行物に付いているバインダーや、タブ、ディスクケット、その他の備品や情報などをパッケージすることです。仕上がった製品を出荷する前に行います。

L

LAN

Local Area Network (ローカルエリアネットワーク) の略です。

Laser, light amplification by stimulated emission of radiation (レーザー、誘導放出を用いた光の増幅)

InfoPrintプリンターでは、コヒーレント光のビームを放射して光伝導体上にイメージを形成する装置のことで、このイメージが後で用紙に転写されます。

Late binding (実行時バインディング)

InfoPrint Managerでは、ジョブを処理するまで、実宛先へのジョブの割り当てを待つことです。実行時バインディングを使用すると、InfoPrint Managerが使用可能になった最初の適切な実宛先にジョブをルーティングできます。「*Early binding* (早期バインディング)」と対比します。

LDAP

Lightweight Directory Access Protocolは、InfoPrint Managerのネットワークセキュリティ実装です。ユーザー資格情報にLDAPやActive Directoryサーバーを使用し、お客様の環境で統一されたセキュリティを実現しています。

LED

Light-emitting diode (発光ダイオード) の略です。

Light-emitting diode (発光ダイオード)

電子写真用印刷単位の画像処理デバイスエレメントです。

lines per inch (行/inch)

スペースハーフトーンドットに対して使用される格子の密度の尺度です。通常の格子前送りと後送りは、85行/lpi (新聞と同等の品質)、133 lpi (低品質)、150 lpi (中間品質)、175以上lpi (高品質) となります。

Linux

Linuxは、UNIX系オープンソースオペレーティングシステムです。複数のディストリビューションがありますが、InfoPrint ManagerはAlmaLinux、Red Hat Enterprise Linux (RHEL)、Rocky Linux、SUSE Linux Enterprise Server (SLES) でサポートされています。

Local Area Network (ローカルエリアネットワーク) (**LAN**)

地理的に範囲が限定されたコンピューターネットワークで、互いに接続して通信する装置から構成されます。このネットワークをより大きなネットワークへ接続することもできます。

Local ID (ローカルID)

ローカルジョブIDです。

local job identifier (ローカルジョブID)

InfoPrint Managerでは、サーバーによって自動的に生成されるジョブIDで、ジョブ実行依頼者がジョブを識別できます。InfoPrint Managerは、ローカルジョブIDをグローバルジョブIDにマッピングします。

locale (ロケール)

ユーザーに提示される情報の言語と文字セットです。

InfoPrint Managerでは、InfoPrint ManagerInfoPrint Managerを通知およびエラーメッセージを送信するときまたは表示するときグラフィカルユーザーインターフェースが使用する言語です。

log (ログ)

アカウントिंगまたはデータ収集の目的でファイルへ追加されるメッセージまたはメッセージセグメントの集合です。

ファイルにメッセージを記録することを指します。

Logical destination (論理宛先)

InfoPrint Manager における、ユーザーが実行依頼対象とするオブジェクトです。論理宛先は、ジョブを出力装置（プリンターや電子メールシステムなど）を表す宛先にルーティングします。論理的プリンター、実宛先との対比も参照してください。

logical printer (論理プリンター)

InfoPrint Managerでは、論理宛先のタイプです。論理プリンターは、プリンターを表す物理プリンターにジョブをルーティングします。

Logical unit (論理装置)

ネットワークアクセス可能なユニットのタイプの1つです。エンドユーザーがネットワークリソースにアクセスして互いに通信できます。

Logical unit 6.2 (論理装置6.2)

論理装置のタイプの1つです。分散処理環境でプログラム間の一般通信をサポートします。LU 6.2は(a)セッション相手側との対等な関係、(b)複数処理用セッションの使用効率、(c)包括的な端末互間のエラー処理、(d)製品の機能に関連付けられた広範囲の構造化されたverbにより構成された汎用アプリケーションプログラムインターフェース(API)を特徴とします。

longest-job-first

InfoPrint Managerでは、キューイング技法の1つです。キュー中の最大のジョブがキューの先頭に次のジョブとして割り当てられます。「Deadline (締切)」、「FIFO (先入れ先出し)」、「Job-priority (ジョブ優先順位)」、「Shortest-job-first (最小ジョブ先出し)」と対比します。

lpi

Lines per inch (行/inch) の略です。

LU

Logical unit (論理装置) の略です。

M

Magnetic Ink Character Recognition (磁気インク文字認識)

磁気物質の粒子を含むインクで印刷された文字を識別することです。

Mainframe processor (メインフレームプロセッサ)

複数のコンピューターが接続された大型コンピューター内で、接続されたコンピューターがメインフレームの提供する機能を共用できるように命令を解釈し、実行する機能単位です。

Makeready (最終的準備)

印刷を実行できるよう印刷物を準備することに関係したすべてのセットアップ作業を指します。

Manage (管理)

InfoPrint Manager GUIでは、対象オブジェクトのアイコンに状況の変化を反映させるために使用するアクションです。

Mechanical (貼り込み紙)

製版可能なレイアウトを指します。貼り込み紙は、使用されるスポットまたはプロセスカラーごとに複数の用紙やオーバーレイによって構成できます。仕上がりイメージに後で貼り込みを行わない場合は、仕上がりサイズにし、正確な行頻度で切り抜いて網掛けされます。

Media (メディア)

InfoPrint Managerでは、ジョブを印刷する物理的素材を表すオブジェクトです。

merge data (マージデータ)

文書の各部数に固有で、その文書をカスタマイズするデータです。たとえば、シリアル番号や郵便情報があります。マージデータは通常、文書のデータ全体に占めるパーセント数としては小さいです。

Message catalog (メッセージカタログ)

アプリケーションの処理中に表示される可能性があるすべてのメッセージが入ったファイルを指します。

MICR

Magnetic ink character recognition (磁気インク文字認識) の略です。

Mixed Object Document Content Architecture (MO:DCA)

文書を交換するための、装置独立の設計済みデータストリームです。

MO:DCA-P

Mixed Object Document Content Architecture Presentationの略です。

Modify (変更)

InfoPrint Managerでは、オブジェクト属性の値を変更するアクションです。

Moire (モアレ)

ハーフトーンのドットアングルが不正確に上重ね印刷された2つのハーフトーン画面によって生じる、望ましくない干渉パターンです。

Monospaced (モノスペース)

植字において、すべての文字の幅が等しくなる書体です。モノスペースは作図に役立ちます。

Multiple Virtual Storage (多重仮想記憶)

IBMが開発したオペレーティングシステムの1つです。MVSの設計には、システムの個別のジョブへ固有なアドレススペースを提供するアドレッシングアーキテクチャーが組み込まれています。

MVS

Multiple Virtual Storage (多重仮想記憶) の略です。

N

N_UP (Nアップ)

1つのレイアウトに同時に配置する用紙の数です。代表的なレイアウトは2アップ、4アップ、8アップ、16アップなどです。Nアップ印刷では、印刷用紙を最大限に使用します。

Namespace (ネームスペース)

すべてのユーティリティとAPI手順から使用できるグローバルなネームリポジトリです。ネームスペースには、オブジェクト名から他の関連オブジェクトへのマッピングが含まれています。たとえば、ネームスペースは論理宛先からそのプリンターがあるサーバーへのマッピングを提供します。

Network File System (ネットワークファイルシステム)

インターネットプロトコルを使用し、連携する1組のコンピューターがお互いのファイルシステムへローカルファイルシステムとまったく同じようにアクセスできます。

Newline options (改行オプション)

プリンターが文書データストリーム内でどのように行がを区切られるかを決定するさまざまな方法です。

NFS

Network File System (ネットワークファイルシステム) の略です。

Non-process-runout (空送り)

最後に印刷された用紙をプリンター装置のスタッカーに移動するプリンター機能です。

Non-settable attribute (設定不可属性)

初期設定も再設定もできない属性です。これらの属性の値は、InfoPrint Managerによって制御されます。「*Initially settable attribute* (初期設定可能属性)」と「*Resettable attribute* (再設定可能属性)」と対比します。

Notification (通知)

イベントの発生を報告する動作です。

InfoPrint Managerでは、イベントの通知はイベントログ内のメッセージか、管理者、オペレーター、ジョブ実行依頼者へ送信されるメッセージとして表現されます。InfoPrint Manager GUIでは、イベントの通知はアイコンの外観の変化としても表現されます。

notification-profile

InfoPrint Managerでは、オブジェクトに関連付けられた属性の1つです。この中には、InfoPrint Managerによるそのオブジェクトのイベントに関する通知の送信先、送信するイベント情報、情報の送信方法について指定した情報が入っています。

NPRO

Non-process-runout (空送り) の略です。

O

Object (オブジェクト)

印刷システム内の物理または論理エンティティを表す属性の集まりです。たとえば、ある特定のプリンターは宛先（物理プリンター）オブジェクトによって表されます。オブジェクトは、そのオブジェクト名によって識別されます。オブジェクトは、クラスにグループ化されています。*Object class* (オブジェクトクラス) も参照してください。

Object class (オブジェクトクラス)

共通の定義を共有するので、共通のプロパティ、操作、属性として定義された動作を共有するオブジェクトグループです。たとえば、InfoPrint Managerのキューオブジェクトはすべて同じオブジェクトクラスに属し、各キューは同じキュー属性を持ちます。ただし、属性の値は、キューオブジェクトクラスの中のキューごとに異なる場合があります。

Object Identifier (オブジェクトID)

アーキテクチャーにおいて、オブジェクトまたは文書コンポーネントへグローバルに固有のIDを割り当てる表記です。この表記は、国際標準ISO/IEC 8824(E)に定義されています。

Object name (オブジェクト名)

オブジェクトを識別する英数字の用語です。

Object state (オブジェクトの状態)

オブジェクトの状態は、そのオブジェクトの機能を実行するためにオブジェクトが使用可能であるか、または使用する準備ができていどうかを示します。オブジェクトは、準備完了、使用中、不明などの状態のうちのいずれかにあります。

OCR

Optical character recognition (光学式文字認識) の略です。

Octet (オクテット)

8桁 (ビット) の2進数からなる1バイトです。

offset stacking (オフセットスタッキング)

特定のプリンターで、印刷ジョブを分割しやすくするために印刷出力ページをオフセットできる機能です。

OID

Object Identifier (オブジェクトID) の略です。

Open destinations window (宛先ウィンドウを開く)

InfoPrint Manager GUIでは、1つのキューへ関連付けられている論理宛先と実宛先を表示する新しいアプリケーションウィンドウを開くアクションです。

Open Prepress Interface (OPI)

レビュー用文書の低解像度のイメージを高品質な最終出力に必要な高解像度イメージに置き換えるための業界規格です。

Open Software Foundation (オープンソフトウェアファウンデーション) (**OSF**)

オープンシステム市場でソフトウェアを開発するために協力している各社のコンソーシアムによって設立された非営利の研究開発機関です。

OpenType フォント (OTF)

以下の機能が追加された拡張TrueTypeフォントです。

- PostScriptアウトラインのサポート
- 国際文字セットのよりよいサポート
- 拡張書体制御のより広範囲なサポート

Open window (ウィンドウを開く)

InfoPrint Manager GUIでは、現在開いているアプリケーションウィンドウ内に表示されているオブジェクトを表す新しいアプリケーションウィンドウを開くアクションです。

Operation (操作)

1つまたは複数のデータ項目に対して実行されるアクションです。

operator (オペレーター)

InfoPrint Managerでは、プリンターの操作を担当する人です。オペレーターは、InfoPrint Managerのキューと実宛先に関連するタスクのサブセットと、一部のジョブ関連タスクも実行します。

OPI

Open Prepress Interfaceの略です。

Optical character recognition (光学式文字認識)

スキャンされたテキストを編集可能なASCII文字に変換することです。

option (オプション)

コマンドの修飾子です。コマンドのアクションを指定します。通常は、オプションの前にダッシュが入れられます。「*flag* (フラグ)」と同義語です。「*Keyword* (キーワード)」も参照してください。

Orphan logical destination (孤立論理宛先)

InfoPrint Manager GUIでは、既存のキューに関連付けられていない論理宛先を表すオブジェクトです。

Orphan logical printer (孤立論理プリンター)

InfoPrint Manager GUIでは、既存のキューに関連付けられていない論理プリンターを表すオブジェクトです。

OSF

Open Software Foundation (オープンソフトウェアファウンデーション) の略です。

overlay (オーバーレイ)

行、シェーディング、テキスト、枠、ロゴなどの固定データの集まりです。これはホストプロセッサ内で電子的に構成されてライブラリー内に保存され、印刷するときに変数データと組み合わせることができます。

OTF

OpenType font (OpenTypeフォント) の略です。

P

PAC

Privilege Attribute Certificate (特権属性認証) の略です。

Page definition (ページ定義)

行データ用の形式設定制御文字が含まれるリソースです。

InfoPrint Managerでは、行データを合成ページとテキスト制御に変換する規則を定義したリソースです。

Page segment (ページセグメント)

合成したテキストとイメージが入っており、形式の前に準備されて印刷時に組み込まれるリソースです。

Pane (ペイン)

InfoPrint Manager アドミニストレーション GUIの作業領域で、特定のタイプのオブジェクトのグループが入っている領域です。たとえば、実宛先ペインなどがあります。

Parent/child relationship (親子関係)

InfoPrint Managerでは、サーバー、キュー、宛先は互いに親子の関係で関連付けられます。たとえば、サーバーはそのサーバー内にあるすべてのキューの親であり、それらのキューはその子になります。

Pass through (パススルー)

InfoPrint Manager において、ジョブと一緒に渡され、InfoPrint Manager でなくデバイスドライバによって使用されるオプションを指します。InfoPrint Manager は、この情報の処理や妥当性検査を行わず、この情報をデバイスドライバへ引き渡します。*Printer driver* (プリンタードライバ) を参照してください。

Path (パス)

ファイルを見つけるために使用される経路、またはファイルの保存場所も指します。完全修飾パスは、ドライブIDや、ディレクトリー名、サブディレクトリー名、ファイル名とそれに関連した拡張子で構成されます。

Pause (一時停止)

InfoPrint Managerでは、実宛先上のジョブの印刷または転送や、サーバーまたはキューからのジョブの送信を一時的に停止するアクションです。

pdcreate

InfoPrint Managerでは、新しいオブジェクトを作成し、その属性を指定された値に設定するコマンドです。

PDF

Portable Document Format (ポータブルドキュメント形式) の略です。

プリンター記述ファイルです。

pdmsg

InfoPrint Managerでは、メッセージに関する情報を表示するユーティリティです。

pdpr

InfoPrint Managerでは、1つまたは複数の文書からなるジョブを作成し、そのジョブを印刷または転送用サーバーに実行依頼するコマンドです。

Perfect binding (無線とじ)

ページを接着のりでとじ合わせる製本のタイプです。*Edition binding* (版とじ)、*Spiral binding* (ら旋とじ)、*Wire-o binding* (二重ら旋とじ) と対比します。

Permissions (許可)

AIXでは、ファイルにアクセスできるユーザーと、そのファイルに対して実行できる操作を決定するコードです。

Physical printer (物理プリンター)

InfoPrint Managerでは、プリンターを表す実宛先です。「*Printer device* (プリンター)」も参照してください。

piobe

AIXが印刷に使用する標準プリンター入出力バックエンドプログラムです。*ainbe*も参照してください。

pipe-pull

InfoPrint Managerでは、文書転送方式の1つです。InfoPrint Managerは文書をファイルに保管し、そのファイルのアドレスをサーバーへ転送します。サーバーから要求があったときに、InfoPrint Managerはそのファイルをサーバーへ転送します。これは大型ジョブにとって効率的な転送方式であり、ジョブ実行依頼時のデフォルトの転送方式です。*With-request* (要求時) と対比します。

Plex (プレックス)

文書または実宛先の属性で、ページ上の出力イメージの配置を定義するために使用されます。プレックス値の*Simplex* (片面) と*Tumble* (反転) を参照してください。

Portable Document Format (PDF)

表示や印刷が可能なAdobe PostScriptのデータ形式です。

Portable Operating System Interface for Computer Environments (POSIX)

コンピューターオペレーティングシステムに関する米国電気電子学会(IEEE)規格の1つです。

POSIX (ポシックス)

Portable Operating System Interface for Computer Environmentsの略です。

PostScript

Adobeのページ記述言語です。PostScriptはグラフィックデザインやレイアウトのソフトウェアで標準となっています。PostScriptファイルには、ベクトルデータとラスターデータの両方を含めることができます。フォントはPostScriptのコーディングにより記述されます。デスクトップパブリッシングシステムの多くは、出力データストリームとしてPostScriptデータを生成します。

PostScript printer description (PostScript プリンター記述)

各種のプリンターにPostScriptデータを印刷するためにオプションを組み込んだファイルです。

PPD

PostScript printer description (PostScriptプリンター記述) の略です。

Prefix lengths (プレフィックス長)

同じネットワーク上にあるIPv6アドレスの範囲を特定します。

Preflight (プリフライト)

実際の印刷が行われる前に、ジョブに対するすべてのリソースを確認することです。

Prepress (プリプレス)

データや、アートの作成、ページの組版、色の修正、電子編集、ページのレイアウトなど、ジョブの印刷前に印刷ショップで行われる作業です。

Print database (印刷データベース)

論理宛先、キュー、実宛先など、すべての印刷オブジェクトの属性用に永続的なリポジトリを提供するディスクにあるファイルセットです。

Print job (印刷ジョブ)

Job (ジョブ) の同義語です。

Print Quality Enhancement (印刷品質改善機能)

対角線に沿ったエッジの平滑化、高精度の保護、独立した太さ制御などを備えているプリンターの機能です。

Print Services Facility (PSF)

PSF for AIX、PSF/MVS、PSF/VM、PSF/VSEを含むいくつかのプログラムのいずれかを指します。このプログラムに送信されたデータからプリンターコマンドを作成します。

Print system (印刷システム)

プリントサーバーとプリンターからなるグループです。これは、地理的に同じ場所にある場合もそうでない場合もあります。印刷システムのコンポーネントはいずれかの方法で相互に接続されており、印刷クライアントにネットワークインターフェースを提供し、コンポーネントが相互に連携して定義された文書印刷サービスを提供します。(D)

Printable document (印刷可能文書)

InfoPrint Managerでは、ジョブが印刷するテキストまたはデータを表すオブジェクトです。「*Resource document* (印刷リソース文書)」と対比します。

Printer description file (プリンター記述ファイル)

特定のプリンターにPostScriptデータを印刷するためのオプションを含んだファイルです。

Printer device (プリンター)

印刷機能を実行する物理出力装置です。*Physical printer* (物理プリンター) も参照してください。

Printer driver (プリンタードライバー)

プリンターなどの周辺装置の物理的特性を記述するファイルです。印刷時または作図時にグラフィックスとテキストを装置固有のデータへ変換するために使用されます。*Device driver* (デバイスドライバー) の同義語です。

Priority (優先順位)

InfoPrint Managerでは、ジョブに割り当てられ、印刷の優先順位を決定する番号です。優先順位番号が高いジョブは、優先順位番号の低いジョブより前に処理されます。

Process color (プロセスカラー)

指定色をシミュレートするCMYKインクを構成する色です。これは、連続した色調のカラーイメージを再現する従来からの方法です (色分解)。カラーインクの性質上、ある種のインクではあまりよく再現されません。

Processor (プロセッサー)

コンピューターにおいて、命令を解釈して実行する機能単位です。プロセッサーは、命令制御装置と演算/論理装置で構成されます。(T)

Promote (プロモート)

InfoPrint Managerでは、1つのジョブをキューの先頭まで移動し、ジョブを処理できる、次に使用可能なプリンターで印刷できるアクションです。

Protocol (プロトコル)

通信を実行するときに、機能単位の動作を決定する意味を持つ一連の構文規則です。

pSeries

IBMのPOWERアーキテクチャーを基礎としたワークステーションとサーバーのグループです。主にAIXオペレーティングシステムを使用したマルチユーザー数値計算アプリケーションを実行するために設計されています。

PSF

Print Services Facilityの略です。

PSF destination support system (PSF宛先サポートシステム)

InfoPrint Managerでは、PSF for AIXと通信してジョブを印刷する宛先サポートシステムです。

PSF physical printer (PSF物理プリンター)

InfoPrint Managerでは、PSF宛先サポートシステムを使用するプリンターを表すオブジェクトです。

Q

Queue (キュー)

InfoPrint Managerでは、印刷を待っているジョブの集まりを管理するオブジェクトです。キューは論理宛先からジョブを受け取り、実宛先にジョブを送信します。

処理を待機している項目で形成される行またはリストです。

R

Raster (ラスター)

変化するデータの奥行きで構成されるドットのパターンです。モノクロイメージは1ビット（オン/オフ）、グレースケールイメージは8ビット（256レベル）、RGBイメージは24ビット、CMYKイメージは32ビットで表されます。

Raster image processor (ラスターイメージプロセッサ)

PostScriptデータストリームがドットパターンに変換されるプロセッサです。変換されたドットパターンは最終印刷メディアに転送されます。InfoPrint ManagerはAdobe RIPを使用し、InfoPrint 4000などのプリンター用のIPDSに、PostScriptを変換します。

rc.pd

InfoPrint Manager において、`/etc/pd.servers` ファイルに表示されている InfoPrint Manager サーバーを起動するユーティリティです。

read-only (読み取り専用)

InfoPrint Managerでは、ユーザーが設定できず、他の活動に基づいて変更される場合がある属性値を説明する用語です。

ready (準備完了)

タスクを実行する準備ができており、実行する能力をもつオブジェクトの状態を指します。

`media-ready`属性値のような使用可能なリソースです。*Supported* (サポート済み) と対比します。

Red, Green, Blue (赤、緑、青)

CRTディスプレイ蛍光体の色です。RGBイメージはスクリーン表示専用です。印刷する前にCMYKイメージに変換する必要があります。

Registration (位置決め)

用紙の端に相対する用紙上の印刷正確度です。

ブラックに相対する単一色（シアン、マゼンタ、またはイエロー）の印刷正確度です。

ページの反対面への印刷に相対するページの片面に印刷する正確度です。

Reprographics (複写)

文書や情報のコピーまたは複製を作成する処理です。

Requested (要求済み)

InfoPrint Managerでは、ジョブが実行依頼されたときに、そのジョブが要求した特定の属性値に関する表現です。ジョブの要求済み属性値は、実宛先用のサポート済み属性値と照合して妥当性が検査され、そのプリンターがそのジョブを処理できるかどうか判別されます。*Supported* (サポート済み) と対比します。

Resettable attribute (再設定可能属性)

オブジェクトを作成した後に、値を設定するか変更できる属性。そのオブジェクトが変更するのに適切な状態にあることが前提となります。*Initially settable*

attribute (初期設定可能属性) も参照してください。 *Non-settable attribute* (設定不能属性) と対比します。

Resource (リソース)

AFPにおいて、ジョブの印刷時に使用される印刷指示の集まりが入っているファイルです。リソースには、フォント、オーバーレイ、書式定義、ページ定義、ページセグメントが含まれます。

Resource context (リソースコンテキスト)

InfoPrint Managerでは、ディレクトリーパス情報が入っているオブジェクトです。この情報は、プリンターでのジョブの印刷に必要なリソースを印刷システムが見つけるのに役立ちます。リソースには、フォント、オーバーレイ、書式定義、ページ定義、ページセグメントが含まれます。

Resource document (リソース文書)

InfoPrint Managerでは、印刷可能文書の印刷にジョブが使用するリソース (グラフィックスやフォントなど) を表すオブジェクトです。「*Printable document* (印刷可能文書)」と対比します。

Resubmit (再実行依頼)

InfoPrint Managerでは、保留中のジョブまたは保持されたジョブを、そのジョブを最初に行った論理宛先とは別の論理宛先に再転送するアクションです。

Resume (再開)

InfoPrint Managerでは、一時停止したジョブの印刷、または休止したサーバーやキューに入っているジョブの配布を再開するアクションです。

Retained job (保持ジョブ)

InfoPrint Managerでは、通常は印刷が完了した後で、指定された時間の間、印刷システムに保存されているジョブを表すオブジェクトです。保持ジョブは、キュー内にはありません。

Retention (保持)

プロセスの完了後にデータを一定の期間保存するプロセスです。

Retrieval (取得)

保存されたデジタルデータを記憶装置から取り出し、再使用のためにオンラインメモリーに持ってくるプロセスです。*Archiving* (アーカイブ) も参照してください。

RGB

Red, Green, Blue (赤、緑、青) の略です。

RIP

Raster image processor (ラスターイメージプロセッサ) の略です。

ラスターイメージプロセッサを使って、データをドットパターンに変換することです。

rootユーザー

AIX 環境において、最大の権限を持つシステムユーザー。システムユーザーは、ログイン、制限付きコマンドの実行、システムのシャットダウン、保護ファイルの編集や削除を行えます。*Superuser*（スーパーユーザー）の同義語です。

RPC

Remote Procedure Call（リモートプロシージャコール）の略です。

RPM

Red Hat Package Management は、Linux Standard Base ディストリビューションのベースラインパッケージ形式です。

S

Scanner（スキャナー）

データの再入力を避けるため、ハードコピーのソースデータをデジタル形式（ハーフトレードット）に変換する装置です。

Scheduler（スケジューラー）

InfoPrint Managerでは、ジョブを実宛先へ割り当てるときに、キューが使用するスケジューリング方法です。

Separator sheet（セパレーターシート）

ジョブにある文書を区切る用紙（空白の場合もそうでない場合もあります）です。*Auxiliary sheet*（補助シート）も参照してください。

Server（サーバー）

InfoPrint Managerでは、構成、管理、印刷要求を受け入れ、要求された操作を実行し、操作結果として応答を返します。

Settable attribute（設定可能属性）

Initially settable attribute（初期設定可能属性）、*Resettable attribute*（再設定可能属性）を参照してください。

Severity（重大度）

エラー状態がどの程度重大であるかを示したものです。

Shell（シェル）

AIXオペレーティングシステムにおいて、ユーザーとオペレーティングシステム間のインターフェースとして活動するコマンドインタープリターです。InfoPrint Manager文書では、すべてのシェル例はKornシェルを使用します。

Shift-out, shift-in code（シフトアウト、シフトインコード）

2バイトの表意文字で構成された文字列の始めと終わりを示す制御文字です。

Shortest-job-first（最小ジョブ先出し）

InfoPrint Managerでは、キューイング技法の1つです。キュー内の最小のジョブがキューの先頭に次のジョブとして割り当てられます。「*Deadline*（締切）」、「*FIFO*（先入れ先出し）」、「*Job-priority*（ジョブ優先順位）」、「*Longest-job-first*（最大ジョブ先出し）」と対比します。

Shut down（シャットダウン）

InfoPrint Managerでは、サーバーまたは実宛先のすべてのプロセスを、サーバーまたは実宛先を削除せずに停止するアクションです。

Signature (折り丁)

印刷、折り、断裁、製本が全体として行われるページのグループです。折り丁のページを手動で配置する場合は、折り用のダミーを使用して位置を決定します。

Simplex (片面)

InfoPrint Manager において、文書または実宛先の *plex* 属性値。その出力イメージがメディア上に先頭と先頭が合うように配置されることを示す。このためイメージの先頭の位置は、どのページでも同じになります。文書または実宛先の *sides* 属性値によって、文書は用紙の一方の面または両面に印刷することができます。「*Tumble* (反転印刷)」と対比します。「*Simplex printing* (片面印刷)」と「*Duplex printing* (両面印刷)」も参照してください。

Simplex printing (片面印刷)

用紙の片面だけに印刷することです。*Duplex printing* (両面印刷) (1)と対比します。

用紙の片面または両面に印刷し、先頭と先頭が合った形式でメディア上で出力イメージを配置します。このためイメージの先頭の位置は、どのページでも同じになります。*Tumble duplex printing* (反転両面印刷) と対比します。*Duplex printing* (両面印刷) (2)も参照してください。

SMIT

System Management Interface Tool (システム管理インターフェースツール) の略です。

SNA

Systems Network Architecture (システムネットワークアーキテクチャー) の略です。

Spiral binding (ら旋とじ)

ワイヤーまたはプラスチックの巻線が、とじしろの一連の穴 (丸穴または角穴) に通されるタイプの製本です。*Edition binding* (版とじ)、*Perfect binding* (無線とじ)、*Wire-o-binding* (二重ら旋とじ) と対比します。

Spot color (スポットカラー)

指定色と正確に一致するよう個別に調合されたカラーインクです。スポットカラーは、CMYKプロセスカラーでは良好な複製を作成できない、または鮮明な色が必要な場合に使用されます。さらに、スポットカラーは蛍光色やメタル色が必要な場合にも使用されます。

Spread (スプレッド)

カラー印刷において、それと他のカラーとの間の空白を削除するために寸法を拡大したエリアです。*Choke* (チョーク) と対比します。

Start sheet (スタートシート)

ジョブの前に配置できる用紙 (空白の場合もそうでない場合もあります) です。*Auxiliary sheet* (補助シート) も参照してください。

State (状態)

Object state (オブジェクトの状態) の同義語です。

Stripping (ストリッピング)

原板のレイアウトへフィルムを機械的に組み込んでいく処理です。ページの組版は、ストリッピング時に行われます。

Subnet mask (サブネットマスク)

同じネットワーク上にあるIPv4アドレスの範囲を特定します。

Subnetwork (サブネットワーク)

ノードの任意のグループです。同一ネットワークIDなど共通特性があります。

AIXオペレーティングシステムでは、TCP/IPで作成可能なネットワークなど、別ネットワークの複数論理部のグループの1つです。

Subtractive color system (減法混色システム)

白い用紙に適切な量のシアン、マゼンタ、イエローのペイントを混合 (追加) することで、イメージを再現するシステムです。これらのペイントは他の色を反映、つまり、吸収し、減色します。*Additive color system* (加算混色システム) と対比します。

Superuser (スーパーユーザー)

*root*ユーザーの同義語です。

Supported (サポート済み)

InfoPrint Manager において、実宛先がジョブの妥当性検査時に受け入れることのできる特定のジョブ属性値に関する表現です。InfoPrint Manager は、実宛先のサポート済み属性値と照合してジョブの要求済み属性値の妥当性を検査し、その実宛先がそのジョブを処理できるかを判別します。要求済みと対比します。

Synchronous (同期)

特定のアクションとの間に規則的または予測可能な時間的關係を伴って発生する性質を指します。*Asynchronous* (非同期) と対比します。

System administrator (システム管理者)

Administrator (管理者) の同義語です。

System Management Interface Tool (SMIT)

AIXオペレーティングシステムにおいて、インストール、保守、構成、診断の作業のためのインターフェースツールです。SMITによって、コマンドを入力しないでタスクを実行できます。

Systems Network Architecture (システムネットワークアーキテクチャー)

IBMが作成した、ネットワークを使用した送信単位とネットワークの構成と操作に対する、論理構造、形式、プロトコル、操作シーケンスに関する記述です。

T

Table reference character (テーブル参照文字)

印刷データセット内のオプションの制御文字です。TRCはレコードの印刷に使用するフォントを識別し、印刷中のフォントを選択できます。

Tagged Image File Format (TIFF)

スキャンしたイメージを保存するためのデジタル形式です。TIFFファイルはラスター形式ファイルとも呼ばれます（ベクトル形式ファイルに対して）。TIFFファイルをデスクトップパブリッシングで使用する場合は、TIFFファイルには低解像度のFPOイメージのみが入れられており、高解像度のデータはハードディスク上に置かれています。

Tast help (タスクヘルプ)

選択したオブジェクトを使用して実行できるタスクのリストを提供するオンラインヘルプです。タスクを選択すると、そのタスクの実行方法に関して手順を追った説明が表示されます。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol（伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル）の略です。

TCP/IP 接続プリンター

TCP/IPプロトコルを使用した通信回線を通してpSeriesコンピューターに接続されたプリンターです。

InfoPrint Managerでは、TCP/IP 接続プリンターを表すPSF物理プリンターです。「*AIX-attached printer* (AIX接続プリンター)」、「*Direct-attached printer* (直接接続プリンター)」、「*Upload-TCP/IP-attached printer* (アップロードTCP/IP接続プリンター)」も参照してください。

Template (テンプレート)

InfoPrint Manager アドミニストレーション GUIでは、実宛先などの特定のタイプのオブジェクトを作成するために定義された1組のデフォルト属性値を表すオブジェクトです。

Ticket (チケット)

ジョブチケットを参照してください。

TIFF

Tagged Image File Format（タグイメージファイル形式）の略です。

Transmission Control Protocol/Internet Protocol（伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル）

インターネットや、米国国防総省のインターネットワークプロトコル用の規格に従ったネットワークで使用される一連の通信規則です。TCPはパケット交換通信ネットワーク内の、またネットワークの相互接続システム内のホスト間で、信頼性のあるホスト間プロトコルを提供します。インターネットプロトコル(IP)が基礎のプロトコルとなっていることを想定しています。*Internet Protocol*（インターネットプロトコル）も参照してください。

Trapping (トラッピング)

デスクトップパブリッシングで、重ね印刷するカラーを重ねさせる部分の大きさです。トラッピングは、位置決めで通常の誤差のために生じるすき間から白紙部分が見えるのを防ぎます。枚葉給紙の印刷機の場合は、トラッピングは通常0.25ポイントにします。*Choke*（チョーク）と*Spread*（スプレッド）も参照してください。

TRC

Table Reference Character (テーブル参照文字) の略です。

TrueType font (TrueType フォント)

柔軟な指示で拡大/縮小しやすいアウトラインテクノロジーに基づくフォント形式です。絵文字の形状は2次曲線に基づきます。このフォントは、TrueTypeフォントファイルに含まれるテーブルのセットで表されます。

TTF

TrueType font (TrueTypeフォント) の略です。

Tumble (反転印刷)

InfoPrint Managerでは、文書または宛先のplex属性値で、その出力イメージがメディア上に先頭と末尾が合うように配置されます。このためイメージの先頭的位置は、次のイメージの末尾と同じ端になります。用紙の両面に印刷する必要があります。Simplex (片面印刷) と対比します。

Tumble duplex printing (反転両面印刷)

用紙の両面に印刷し、先頭と末尾が合うように出力イメージを配置します。このためイメージの先頭的位置は、次のイメージの端と同じになります。Simplex printing (片面印刷) (2)、Duplex printing (両面印刷) (2)と対比します。

U

UCR

Under color removal (下色除去) の略です。

Under color removal (下色除去)

CMYインクの使用の削減、トラッピングの改善、セットアップ時間の削減を目的とし、無色の区域を黒色に変換することです。UCRは一般にイメージスキャンの時点で行われますが、処理中にUCRを実行するものもあります。Gray component replacement (グレーコンポーネントの置き換え) の同義語です。

Unmanage (非管理)

InfoPrint Manager アドミニストレーション GUIでは、対象オブジェクトのアイコンに状況の変化を反映させないように使用するアクションです。

Upload printer (アップロードプリンター)

Upload-TCP/IP-attached printer (アップロードTCP/IP接続プリンター) を参照してください。

upload-TCP/IP-attached printer (アップロード TCP/IP 接続プリンター)

InfoPrint Manager では、MVS システムを介して接続されたプリンターを表す PSF 物理プリンターで、PSF/MVS により管理されます。InfoPrint Manager は TCP/IP ネットワークを介して、MVS システムと通信します。AIX 接続プリンター、直接接続プリンター、TCP/IP 接続プリンターも参照してください。

V

Validate (検証)

InfoPrint Managerでは、ジョブが要求した属性値を、システムにある実宛先のサポート済み属性値と比較し、そのジョブを印刷または送信できる実宛先があるかどうかを判断することです。

Value (値)

属性の特性です。

Variable (変数)

プログラムの実行中に値を変更できるデータ項目を表す名前です。

Variable data (変数データ)

文書のコピー間で変更が可能なデータです。たとえば、定形文のレター（定数データ）をお客様の名前や住所などの変数データと組み合わせて、個人宛ての文書のコピーを作成できます。

Varnish (ワニス)

完成した用紙に塗布される保護層です。通常は写真に使用しますが、反射する特質を持っているためデザイン要素に使用することもあります。ワニスには着色することもできます。

Vector (ベクトル)

空間上の絶対座標の点と線です。PostScriptファイルには、ベクトルのアートワークを含めることができます。ベクトルファイルはRIP処理時にラスターに変換されます。

Velox

ハーフトーンのネガから作ったモノクロの写真です。校正刷りとして使用されます。

Vignette (ビネット)

輪郭をぼかしたイメージです。

Virtual Machine (仮想マシン)

単一のコンピューターのリソースを管理し、複数のコンピューターシステムが存在するように見える製品です。

特定のユーザーのための排他的処理であるかに見えますが、その実データ処理システムのリソースを共用することによって機能が実現されている仮想データ処理システムです。(T)

Virtual Storage Extended (仮想マシン拡張)

正式名称がVirtual Storage Extended/Advanced Functionであるプログラムです。プログラムの実行を制御するソフトウェアオペレーティングシステムです。

Visual Systems Management (仮想システム管理)

AIXにおけるグラフィカルユーザーインターフェースのタイプの1つです。オブジェクトの直接操作によりシステムを管理できます。

VM

Virtual Machine (仮想マシン) の略です。

VSE

Virtual Storage Extended (仮想マシン拡張) の略です。

VSM

Visual Systems Management（仮想システム管理）の略です。

W

Web（ウェブ、用紙、ロール紙）

輪転機による印刷で使用するロール紙です。

Well（ウェル）

InfoPrint Manager アドミニストレーション GUIでは、ペイン内のオブジェクトに関連したオブジェクトのグループが入っている、ペイン中の領域です（たとえば、サーバーペインの中にあるキューウェルなど）。

what you see is what you get（ウィジウィグ/WYSISYG）

コンピューターワークステーションの画面に表示された複合イメージが、最終的な印刷イメージと見た目が同じになるようにすることです。

Window（ウィンドウ）

画面の長方形区域です。移動したり、他のウィンドウの上や下に重ねて置いたり、アイコンに最小化できます。

Wire-o binding（二重ら旋とじ）

冊子のとじ部分に沿って開いている溝の部分に、連続したワイヤーの二重ループを通すことです。*Edition binding*（版とじ）、*Perfect binding*（無線とじ）、*Spiral binding*（ら旋とじ）と対比します。

With-request（要求時）

InfoPrint Managerでは、クライアントがサーバーへ文書を直接転送する転送方式です。「*Pipe-pull*（パイププル）」と対比します。

Workstation（ワークステーション）

通常は、メインフレームかネットワークへ接続されている端末またはマイクロコンピュータを指します。ユーザーはここからアプリケーションを使用できます。

Write access（書き込みアクセス）

データを変更する能力を付与する認証レベルです。

WYSIWYG（ウィジウィグ）

What you see is what you get（見たままが得られる）の略です。

X

X-Windows

MITによって開発されたネットワーク透過型のウィンドウ操作システムです。これはAIXオペレーティングシステムで実行される拡張X Windowシステムの基礎となっています。

Xerography（ゼログラフィー）

潜像を保持するためにコロナ帯電された光伝導体面を使用する乾式印刷プロセスです。潜像は乾式トナーを使用して現像され、紙に転写された後、熱で融着させられます。

Xstation (Xステーション)

ネットワークを使用してpSeriesコンピューターに接続された端末です。このターミナルでは、ユーザーはコマンド行関数を実行したり、X Windowシステムベースのアプリケーションを実行したりできます。

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1-3-6 〒143-8555
<http://www.ricoh.co.jp/>



お問い合わせ

お買い上げいただきました弊社製品についての操作方法に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

転居の際は、販売店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店をご紹介します。